

## 参考資料

- 資料 1 障害者施策に関する法整備など…………… 参考- 1
- 資料 2 障害者に関する県民意識調査の結果…………… 参考- 4
- 資料 3 障害者団体等との意見交換会での意見等…………… 参考-38
- 資料 4 次期障害者プラン策定に係る  
当事者アンケート調査の結果について…………… 参考-44



## 資料1 障害者施策に関する法整備など

年	内容
平成 17 年	<p><b>4 月 発達障害者支援法の施行</b> 発達障害の定義の明確化。保健、医療、福祉、教育、雇用等の分野を超えて一体的な支援を行う体制の整備など。</p>
平成 18 年	<p><b>4 月 障害者自立支援法の施行</b> 身体障害、知的障害、精神障害の一元化。地域生活移行の推進。就労支援、障害福祉サービス体系の再編など。</p> <p><b>12 月 バリアフリー新法の施行</b> 公共交通機関、道路、建築物、都市公園、路外駐車場を含め、障害のある人が利用する施設や経路を一体的にとらえた総合的なバリアフリー化の推進など。</p> <p><b>12 月 教育基本法の全部改正</b> 教育の機会均等に関する規定に、障害のある者が十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講ずべきことを新たに明記など。</p>
平成 19 年	<p><b>9 月 障害者の権利に関する条約への署名</b> 障害のある人の人権、基本的自由の享有の確保、障害のある人の固有の尊厳の尊重を促進するため、障害のある人の権利を実現するための措置等を規定など。</p>
平成 23 年	<p><b>8 月 障害者基本法の一部を改正する法律の施行</b> 障害者の権利に関する条約の理念に沿った所要の改正。目的規定や障害のある人の定義の見直し、基本的施策に防災、防犯、消費者としての障害のある人の保護を追加など。</p>
平成 24 年	<p><b>10 月 障害者虐待防止法の施行</b> 障害のある人の虐待とその類型等を定義。虐待を受けた障害のある人の保護、養護者に対する支援の措置など。</p>
平成 25 年	<p><b>4 月 障害者総合支援法の施行（※一部は平成 26 年 4 月施行）</b> 障害者自立支援法を障害者総合支援法とし、障害のある人の範囲に難病患者等を追加。重度訪問介護の対象の拡大、ケアホームのグループホームへの一元化など。</p>
平成 25 年	<p><b>4 月 障害者優先調達法の施行</b> 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関し、障害者就労施設等の受注の機会を確保するために必要な事項等を定め、障害者就労施設等が供給する物品等に対する需要の増進を図るなど。</p> <p><b>6 月 障害者差別解消法の成立（※平成 28 年 4 月施行）</b> 障害を理由とした差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関、事業者等における措置等を定め、障害を理由とする差別の解消を推進するなど。</p>
平成 26 年	<p><b>1 月 障害者の権利に関する条約の批准</b> 平成 25 年 6 月の障害者差別解消法の成立をもって、一通りの国内法整備がなされたことから、平成 26 年 1 月 20 日、批准書を国連に寄託。日本は 140 番目の締約国。</p> <p><b>6 月 アルコール健康障害対策基本法の施行</b></p>

年	
平成 27 年	<p>1 月 難病の患者に対する医療等に関する法律の施行</p> <p>2 月 障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針閣議決定</p>
平成 28 年	<p>4 月 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律施行 障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律の一部施行（障害者に対する差別の禁止、合理的配慮の提供義務）</p> <p>5 月 成年後見制度の利用の促進に関する法律施行</p> <p>8 月 発達障害者支援法の一部を改正する法律施行</p> <p>12 月 再犯の防止等の推進に関する法律施行</p>
平成 30 年	<p>4 月 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律の本格施行 改正・障害者の雇用の促進等に関する法律施行令の施行</p> <p>6 月 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の施行 障害者が文化芸術を享受鑑賞し、又は創造や発表等の多様な活動に参加する機会の確保等を通じて、障害者の個性や能力の発揮及び社会参加の促進を図る。</p> <p>10 月 ギャンブル等依存症対策基本法の施行</p>
令和元年 (平成 31 年)	<p>5 月 改元</p> <p>6 月 農福連携等推進ビジョン（農福連携等推進会議決定）</p> <p>6 月 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律の施行 障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与する。</p>
令和 2 年	<p>4 月 障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律の施行 障害者の雇用を一層促進するため、事業主に対する短時間労働以外の労働が困難な状況にある障害者の雇入れ及び継続雇用の支援、国及び地方公共団体における障害者の雇用状況についての的確な把握等に関する措置を講じる。</p>

令和3年	<p><b>6月 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部を改正する法律の公布</b></p> <p>国及び地方公共団体の連携協力の責務の追加、事業者による社会的障壁の除去の実施に係る必要かつ合理的な配慮の提供の義務化、障害を理由とする差別を解消するための支援措置の強化等を明記。</p> <p><b>9月 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行</b></p>
令和4年	<p><b>5月 障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律の施行</b></p> <p><b>6月 山梨県産福連携推進戦略の策定</b></p>

## 資料2 障害者に関する県民意識調査の結果

### 障害者に関する県民意識調査の結果について

#### 1 調査目的

障害や障害のある人に対する県民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。

#### 2 アンケート調査の実施時期

令和5年6月22日（木）～7月3日（月）

#### 3 調査対象者

県政モニター 449人

##### 【県政モニター】

「県政モニター」とは、県政の主要課題や、県民の皆さんの関心が高い施策等についてアンケート調査を行い、幅広い県民の皆さんの声を、県政に反映していく制度です。

無作為に抽出した県民の方々に、「県政モニター」になっていただき、郵送またはインターネットを利用したアンケート調査を行っています。

#### 4 回答者数（回答率）

356人（79.3%）

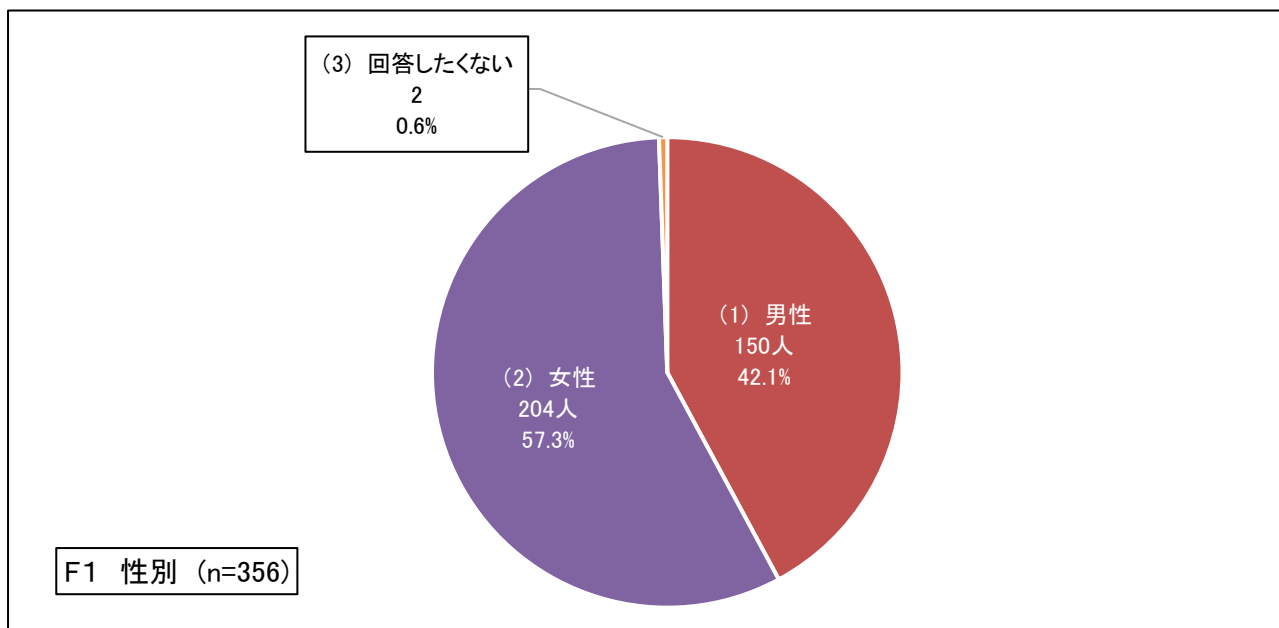
#### 5 集計方法

（1）無回答または不明なものについては、集計に含めていません。

（2）割合については小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

F 1 あなたの性別はどちらですか。

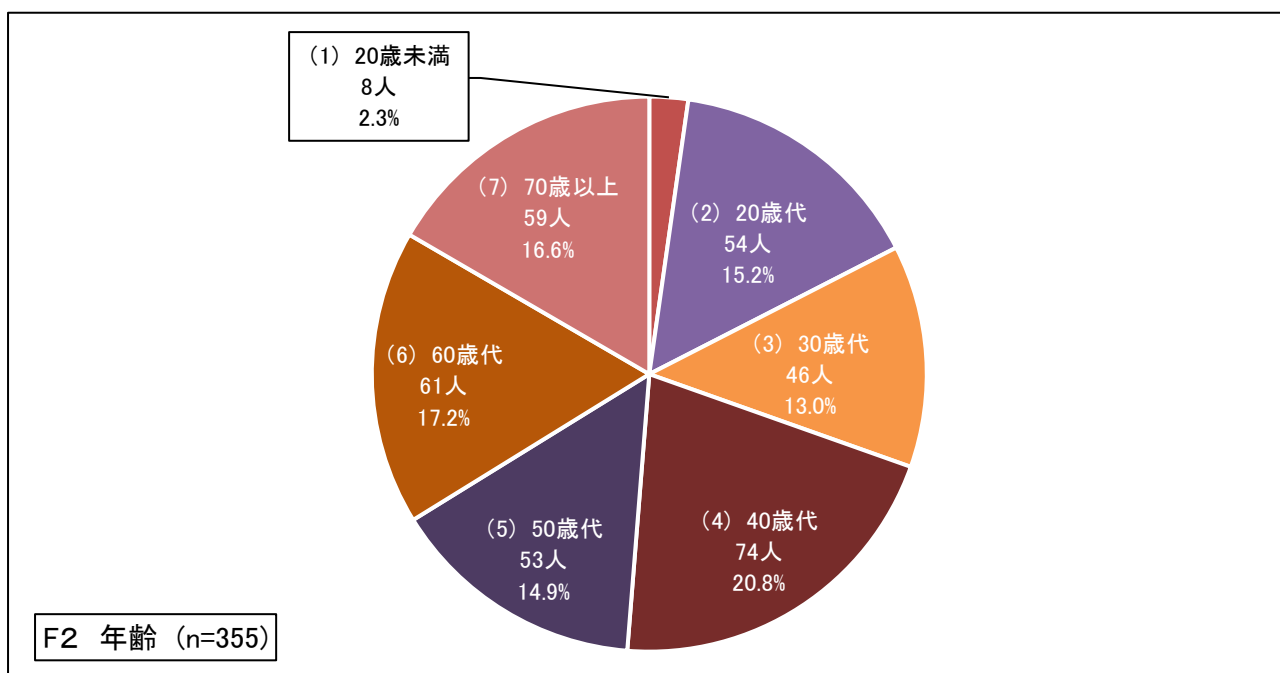
- 1 男性      2 女性      3 回答したくない



本調査の回答者は、男性 150 人 (42.1%)、女性 204 人 (57.3%) であり、ほぼ同じ割合となっている。

F2 あなたの年代を教えてください。

- 1 20歳未満      2 20歳代      3 30歳代      4 40歳代  
5 50歳代      6 60歳代      7 70歳以上

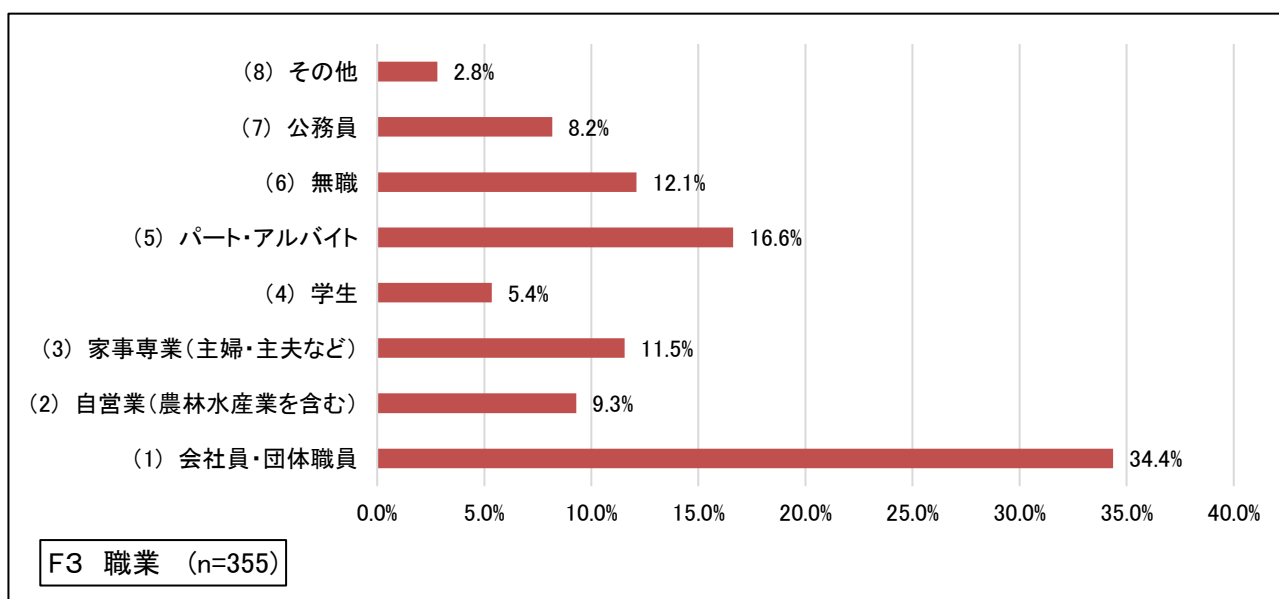


回答者の年齢について、「(4) 40歳代」と答えた人の割合が20.8% (74人) と最も多く、次いで「(6) 60歳代」17.2% (61人)、「(7) 70歳代」16.6% (59人) の順となっており、回答した人のうち40歳台以上が7割近くを占めている。



F3 あなたのお仕事についてお伺いします。

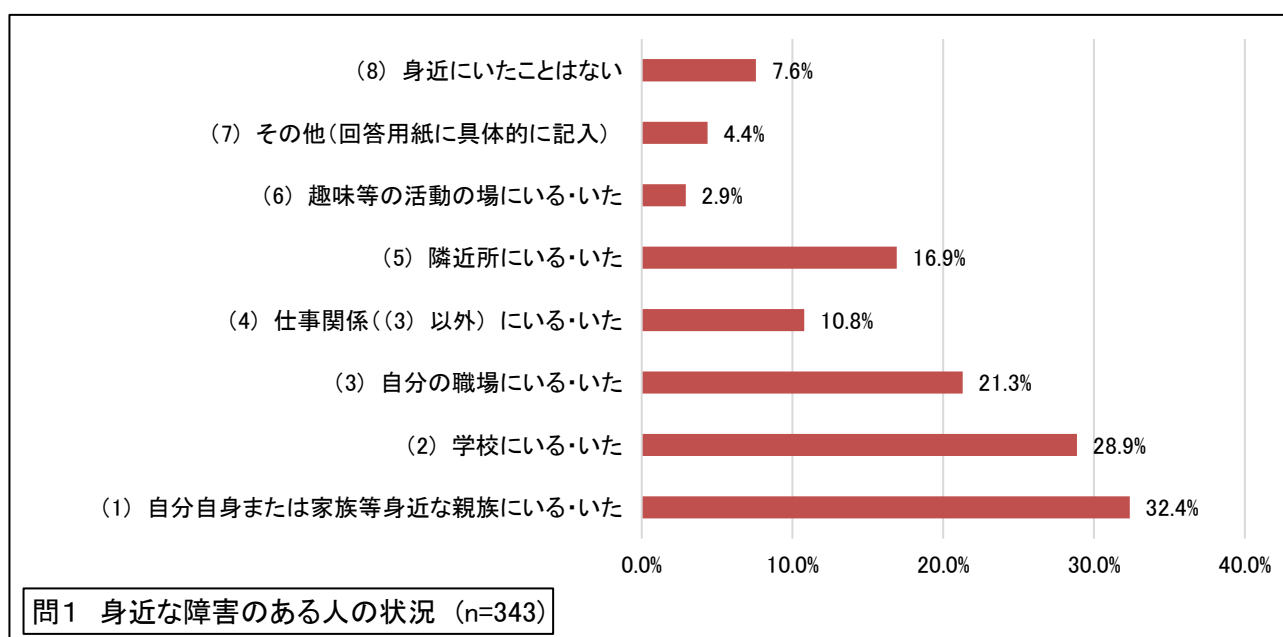
- 1 会社員・団体職員
- 2 自営業（農林水産業を含む）
- 3 家事専業（主婦・主夫など）
- 4 学生
- 5 パート・アルバイト
- 6 無職
- 7 公務員
- 8 その他



回答者の職業について、「(1) 会社員・団体職員」と答えた人の割合が34.4%と最も多く、次いで「(5) パート・アルバイト」(16.6%)、「(6) 無職」(12.1%)の順となっている。

問1 あなたの身近に障害のある人がいますか、または、これまでにいたことがありますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(複数選択可)

- 1 自分自身または家族等身近な親族にいる・いた
- 2 学校にいる・いた
- 3 自分の職場にいる・いた
- 4 仕事関係(3以外)にいる・いた
- 5 隣近所にいる・いた
- 6 趣味等の活動の場にいる・いた
- 7 その他(回答用紙に具体的に記入)
- 8 身近にいたことはない

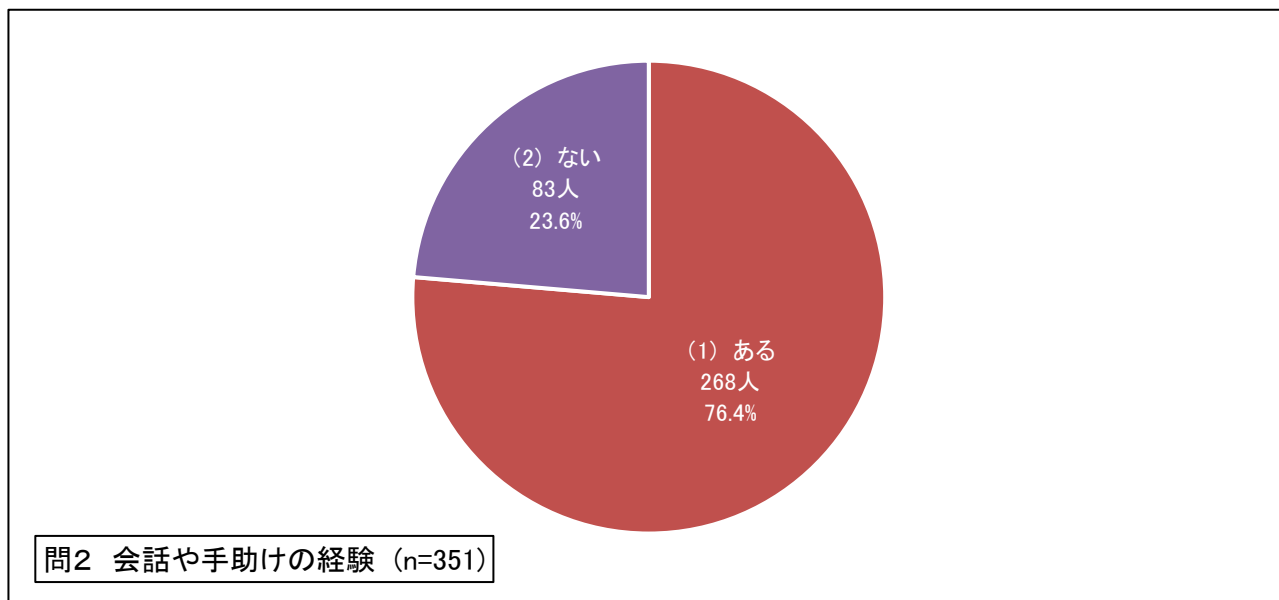


回答者の身近に障害のある人がいるか、または、これまでにいたことがあるか、複数回答可能として尋ねたところ、「(1) 自分自身または家族等身近な親族にいる・いた」と答えた人の割合が32.4%と最も多く、次いで「(2) 学校にいる・いた」(28.9%)、「(3) 自分の職場にいる・いた」(21.3%)の順となっている。

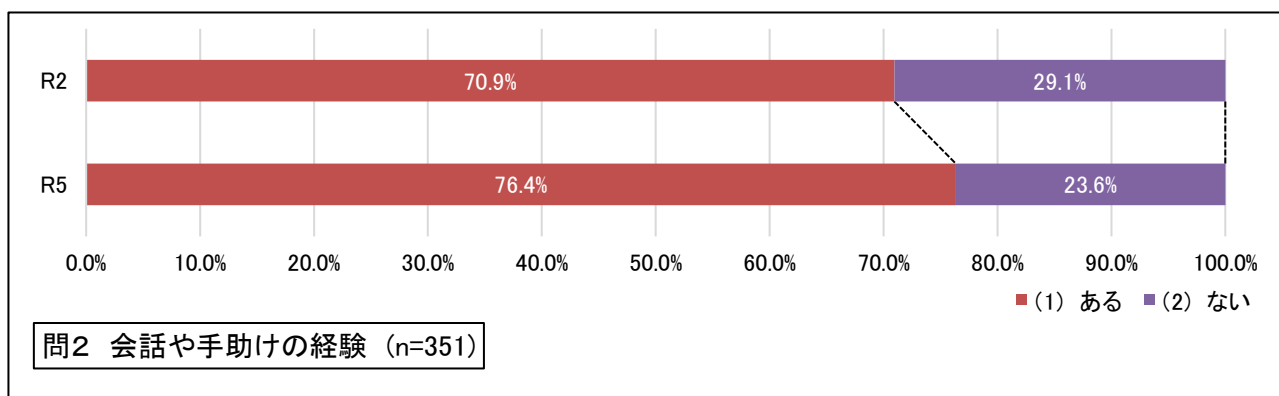
※ 本設問において、「身近」とは、「自分自身または家族等身近な親族」、「学校」、「自分の職場」、「仕事関係」、「隣近所」、「趣味等の活動の場」を指している。

問2 あなたは、障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことがありますか。  
この中から1つだけお答えください。

- 1 ある →問4へ
- 2 ない →問3へ



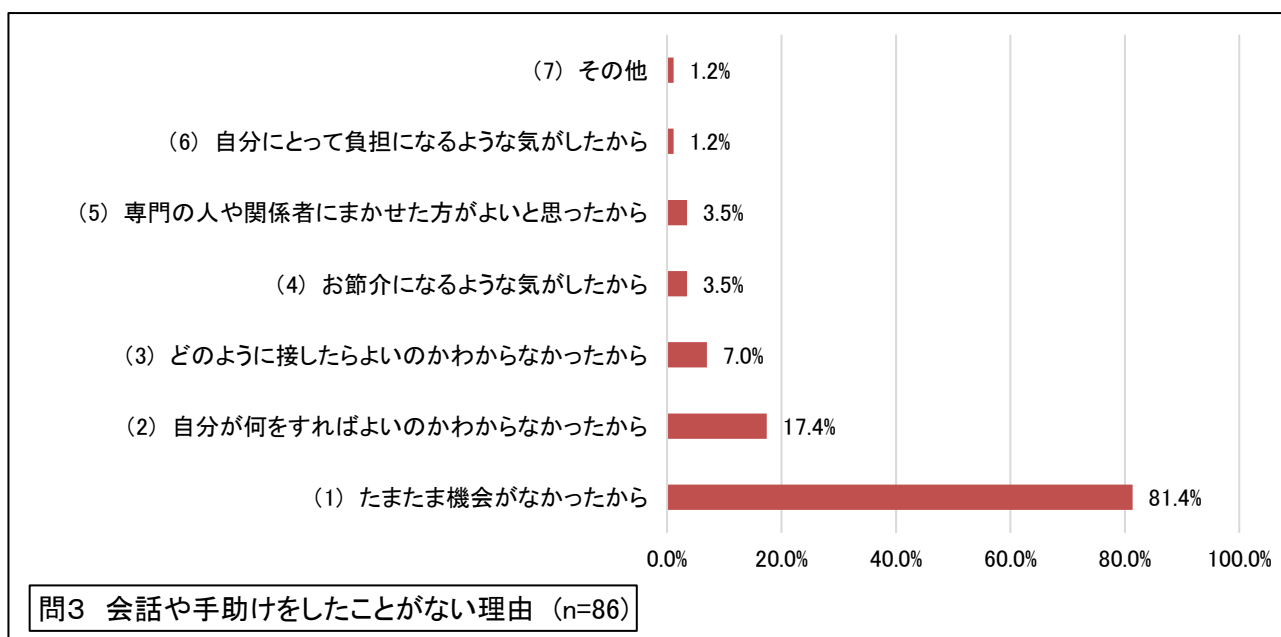
障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことがあるか尋ねたところ、「(1) ある」と答えた人の割合が76.4% (268人)、「(2) ない」と答えた人の割合が23.6% (83人) となっている。



令和2年の調査と比較してみると、「ない」(29.1%→23.6%)と答えた人の割合が5.1ポイント減少している。

問3 問2で「ない」と答えた方に伺います。手助けをしなかったのはどうしてでしょうか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(複数選択可)

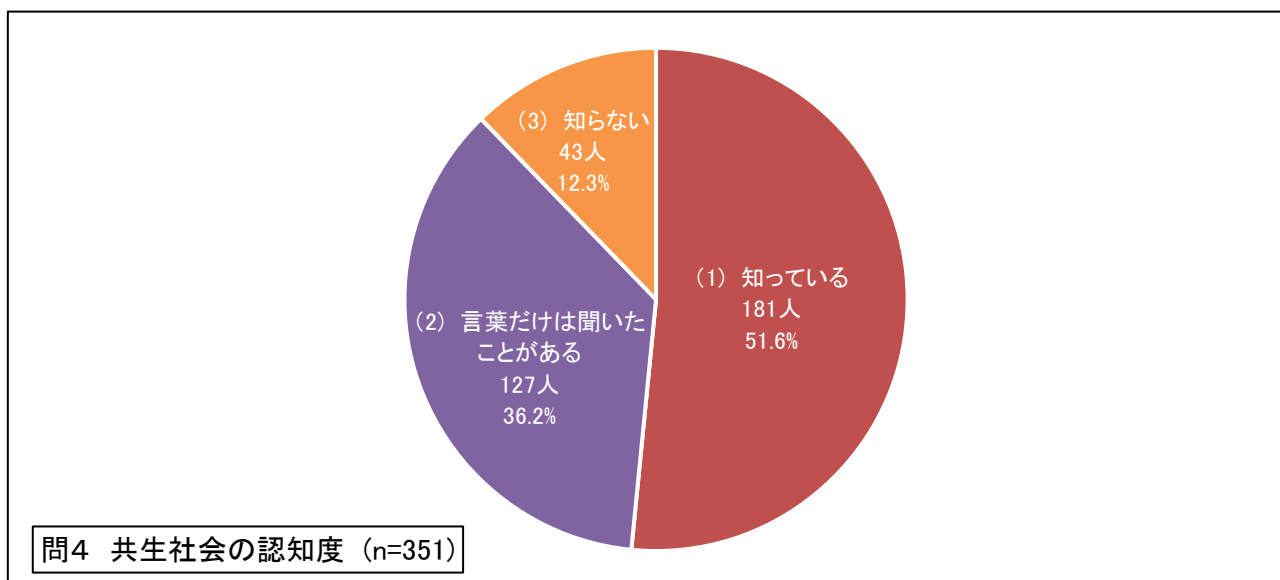
- 1 たまたま機会がなかったから
- 2 自分が何をすればよいのかわからなかったから
- 3 どのように接したらよいのかわからなかったから
- 4 お節介になるような気がしたから
- 5 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから
- 6 自分にとって負担になるような気がしたから
- 7 その他 (回答用紙に具体的に記入)



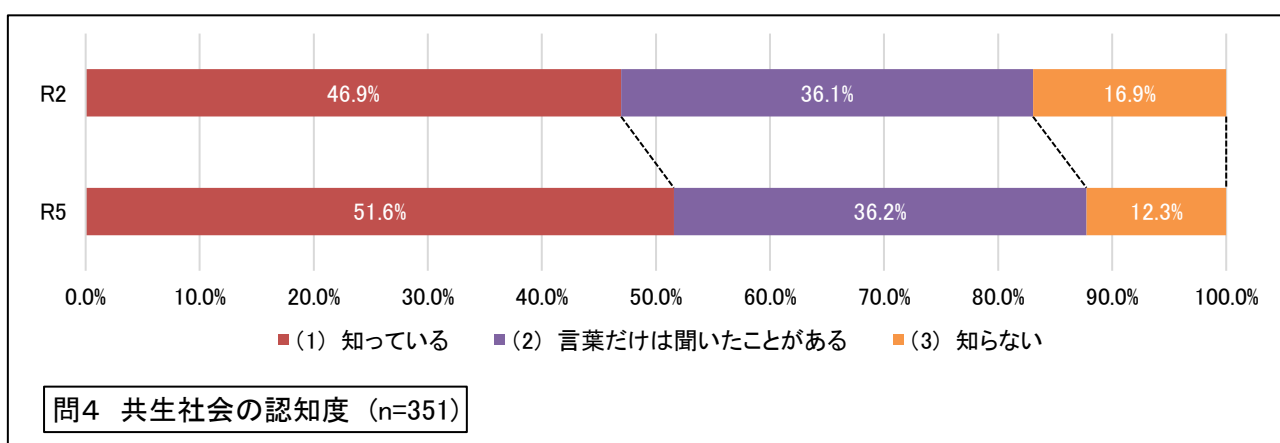
障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことが「ない」と答えた人(86人)に、その理由を尋ねたところ、「(1) たまたま機会がなかったから」と答えた人の割合が81.4%と最も多く、次いで「(2) 自分が何をすればよいのかわからなかったから」(17.4%)、「(3) どのように接したらよいのかわからなかったから」(7.0%)、の順となっている。

問4 あなたは、障害のある人となない人が、お互いの人格と個性を尊重し合いながら、社会の一員として分け隔てなく共に暮らす「共生社会」という考え方を知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 知っている
- 2 言葉だけは聞いたことがある
- 3 知らない



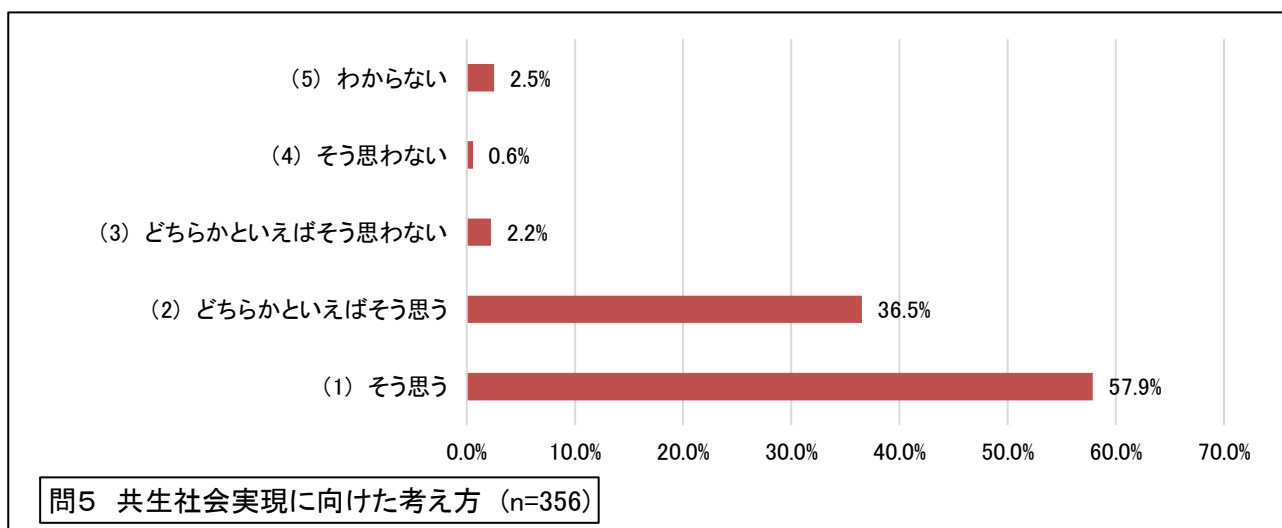
「共生社会」という考え方を知っているかを回答者に尋ねたところ、「(1) 知っている」と答えた人の割合は51.6% (181人)、「(2) 言葉だけは聞いたことがある」と答えた人の割合が36.2% (127人)、「(3) 知らない」と答えた人の割合が12.3% (43人)となっている。



令和2年の調査と比較してみると、「(1) 知っている」(46.9%→51.6%)と答えた人の割合が4.7ポイント増加している。

問5 あなたは、「共生社会を実現すべきだ」という考え方について、どう思いますか。この中から1つだけお答えください。

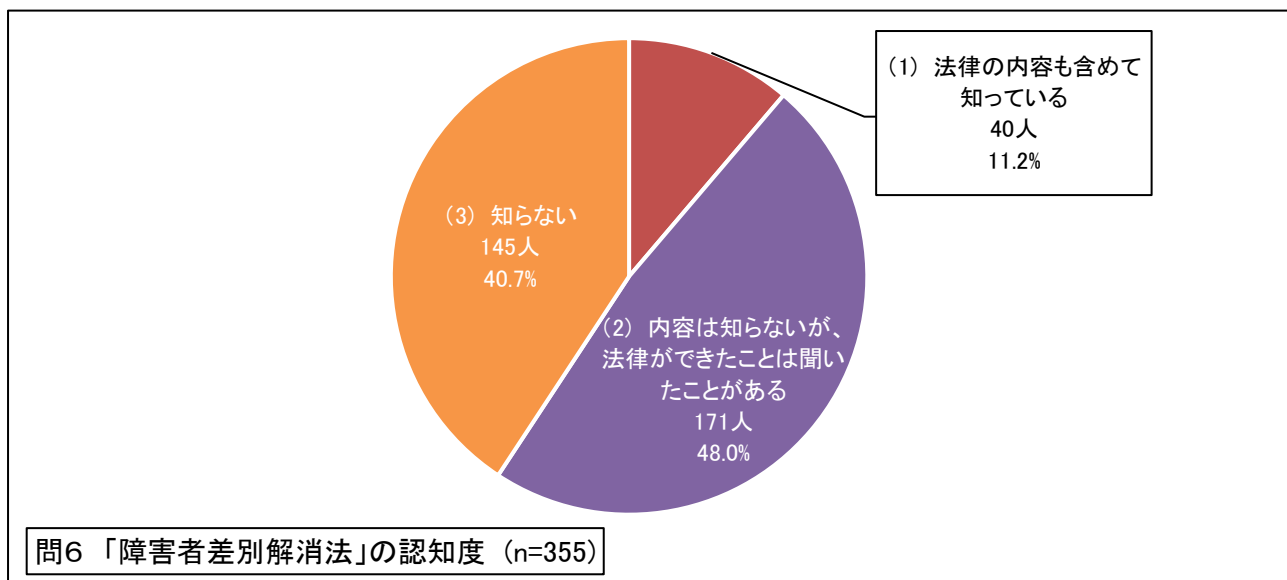
- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない



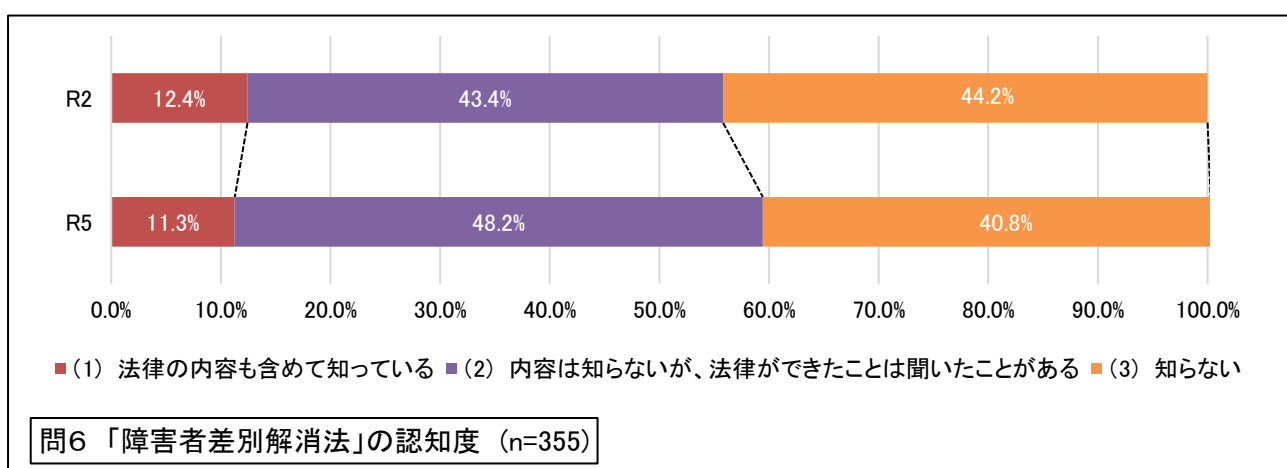
「共生社会を実現すべきだ」という考え方について、回答者にどう思うか尋ねたところ、「そう思う」と答えた人の割合が94.4%（「(1) そう思う」57.9%と「(2) どちらかといえばそう思う」36.5%を合わせたもの。）、「そう思わない」と答えた人の割合が2.8%（「(3) どちらかといえばそう思わない」2.2%と「(4) そう思わない」0.6%を合わせたもの。）、「(5) わからない」と答えた人の割合が2.5%となっている。

問6 あなたは、行政や事業者に対し、障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止や、合理的配慮を求める「障害者差別解消法」があることを知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 法律の内容も含めて知っている
- 2 内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがある
- 3 知らない



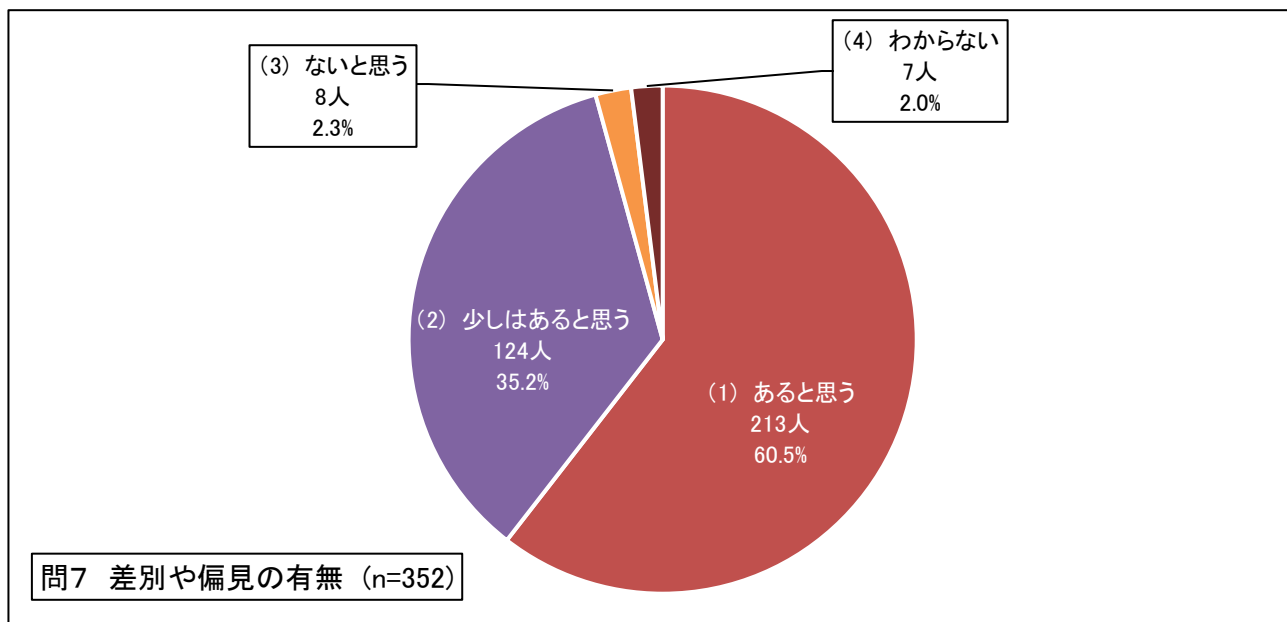
回答者に「障害者差別解消法」について知っているか尋ねたところ、「(1) 法律の内容も含めて知っている」と答えた人の割合が11.2% (40人)、「(2) 内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがある」と答えた人の割合が48.0% (171人)、「(3) 知らない」と答えた人の割合が40.7% (145人)となっている。



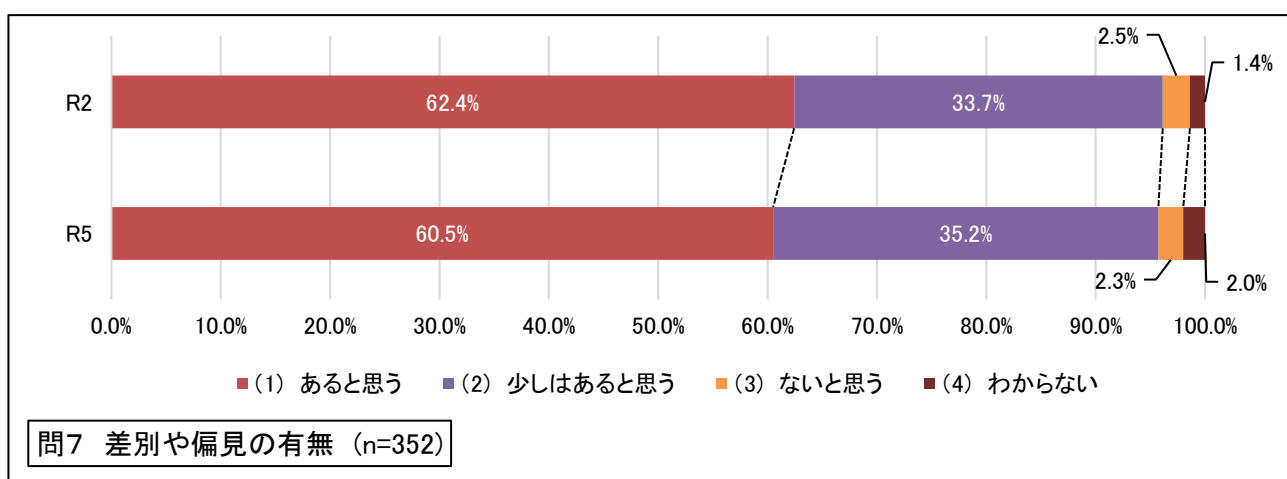
令和2年の調査と比較してみると、「(1) 法律の内容も含めて知っている」(12.4%→11.3%)と答えた人の割合が0.7ポイント減少し、「(2) 内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがある」(43.4%→48.2%)と答えた人の割合が4.8ポイント増加している。

問7 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。  
この中から1つだけお答えください。

- 1 あると思う →問8へ
- 2 少しはあると思う →問8へ
- 3 ないと思う →問9へ
- 4 わからない →問9へ



障害を理由とする差別や偏見があると思うか尋ねたところ、「あると思う」と答えた人の割合が95.7% (337人。「(1) あると思う」60.5% (213人)と「(2) 少しはあると思う」35.2% (124人)を合わせたもの。), 「(3) ないと思う」と答えた人の割合が2.3% (8人), 「(4) わからない」と答えた人の割合が2.0% (7人)となっている。

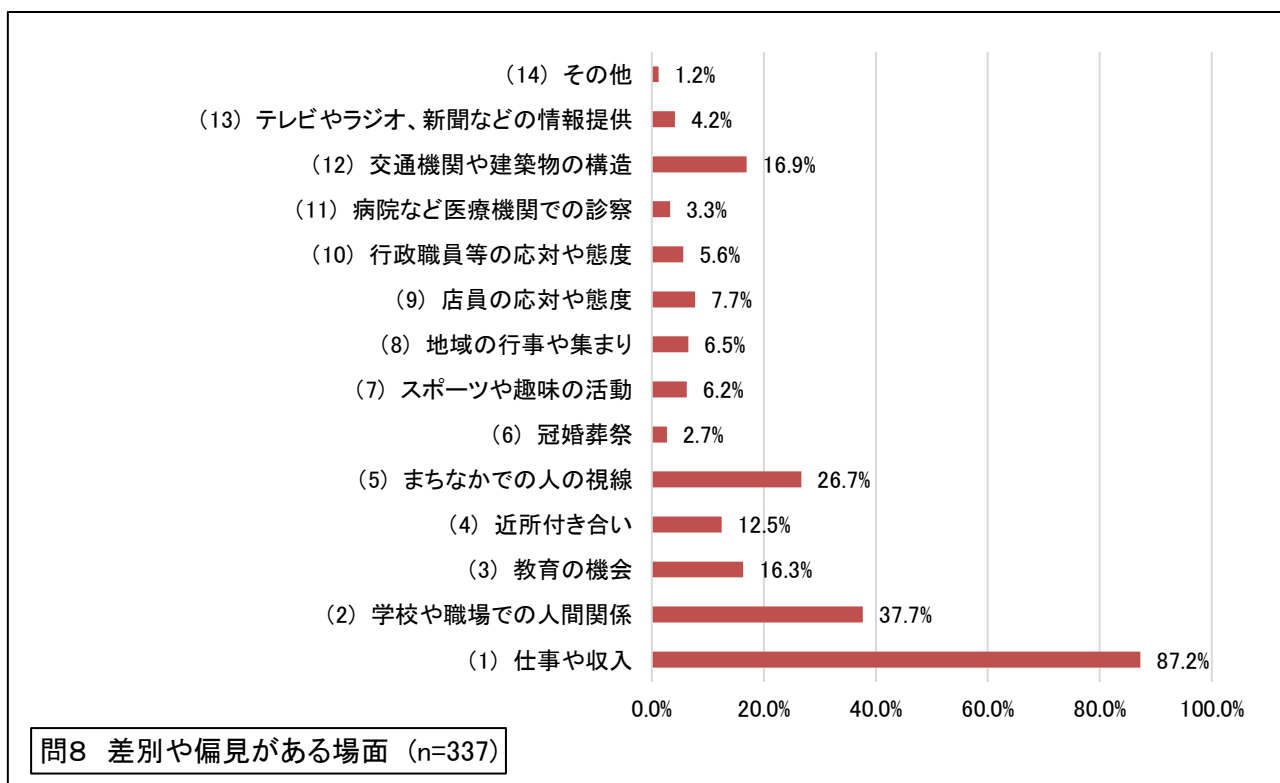


令和2年の調査と比較してみると、「(1) あると思う」(62.4%→60.5%)と答えた人の割合が1.9ポイント減少し、「(2) 少しはあると思う」(33.7%→35.2%)と答えた人の割合が1.5ポイント増加している。



問8 問7で「1あると思う」、「2少しはあると思う」と答えた方に伺います。あなたは、どのような場面で、差別や偏見があると思いますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。（複数選択可）

- 1 仕事や収入
- 2 学校や職場での人間関係
- 3 教育の機会
- 4 近所付き合い
- 5 まちなかでの人の視線
- 6 冠婚葬祭
- 7 スポーツや趣味の活動
- 8 地域の行事や集まり
- 9 店員の対応や態度
- 10 行政職員等の対応や態度
- 11 病院など医療機関での診察
- 12 交通機関や建築物の構造
- 13 テレビやラジオ、新聞などの情報提供
- 14 その他（回答用紙に具体的に記入）

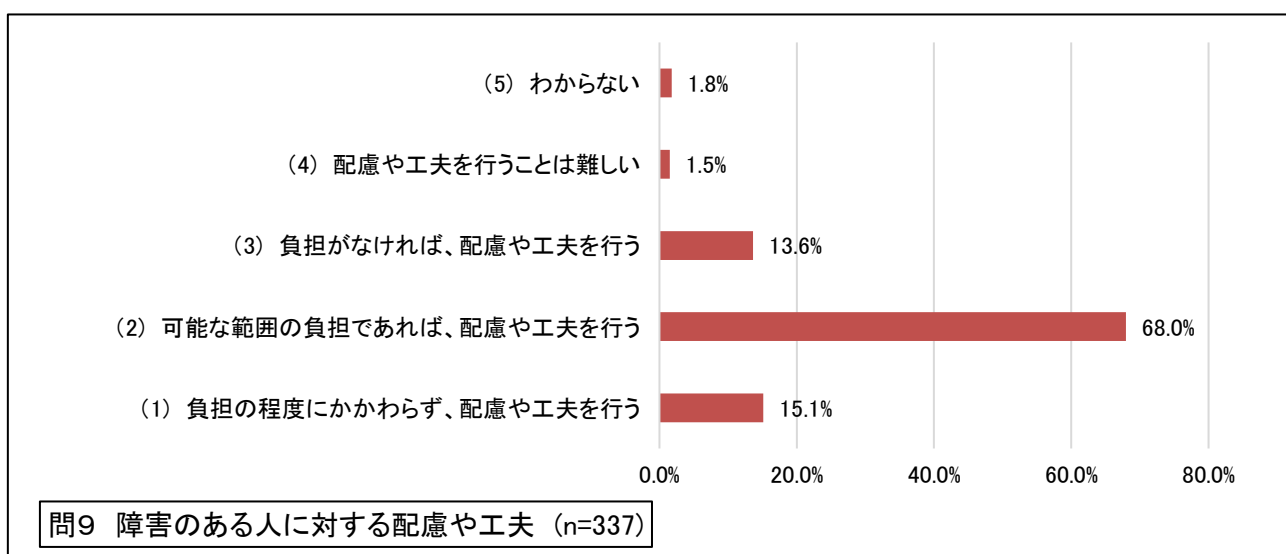


障害を理由とする差別や偏見が「あると思う」または「少しはあると思う」と答えた人（337人）に、どのような場面であると思うか尋ねたところ、「（1）仕事や収入」と答えた人の割合が87.2%と最も多く、次いで「（2）学校や職場での人間関係」（37.7%）、「（5）まちなかでの人の視線」（26.7%）、の順となっている。

問9 障害のある人となない人が同じように生活していくために必要となること（\*）をあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともあります。あなたはどのようにしますか。この中から1つだけお答えください。

（\*）例：商店入口などへのスロープの整備、点字ブロックや音声案内などの設置

- 1 負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行う
- 2 可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う
- 3 負担がなければ、配慮や工夫を行う
- 4 配慮や工夫を行うことは難しい
- 5 わからない

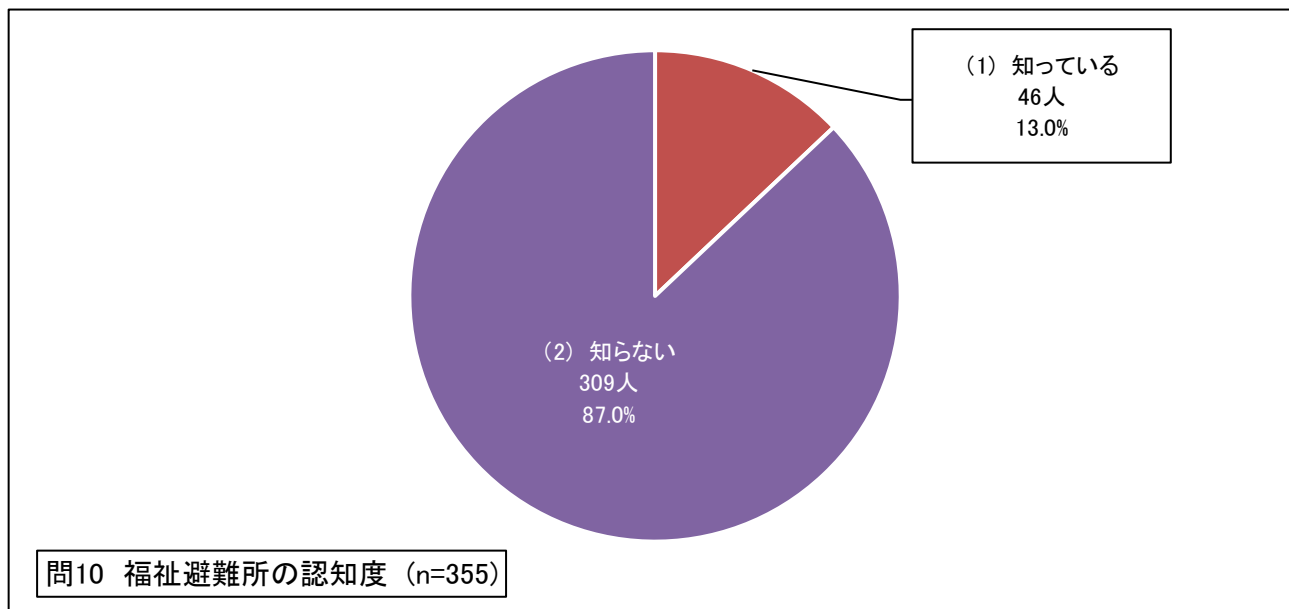


回答者に、障害のある人となない人が同じように生活していくために必要とされる配慮や工夫を求められた場合、経済的な負担を伴うこともあるがどうするか尋ねたところ、「配慮や工夫を行う」と答えた人の割合が96.7%（「(1) 負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行う」15.1%と「(2) 可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う」68.0%と「(3) 負担がなければ、配慮や工夫を行う」13.6%を合わせたもの。）、「(4) 配慮や工夫を行うことは難しい」と答えた人の割合が1.5%、「(5) わからない」と答えた人の割合が1.8%となっている。

問10 あなたは住んでいる市町村の「福祉避難所」がどこにあるのか知っていますか。

この中から1つだけお答えください。

- 1 知っている
- 2 知らない

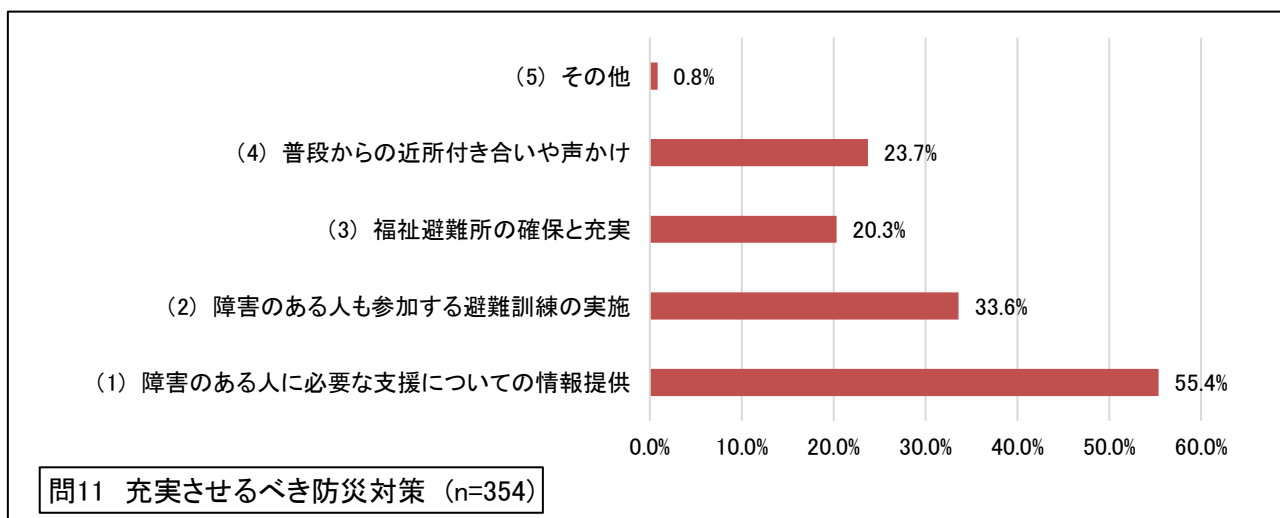


回答者に、「福祉避難所」がどこにあるのか知っているか尋ねたところ、「(1) 知っている」と答えた人の割合が13.0% (46人)、「(2) 知らない」と答えた人の割合が87.0% (309人) となっている。

問 11 障害のある人にとって、最も充実させるべき防災対策とはどのようなことだと思いますか。

この中からあなたの考えに近いものを2つまでお答えください。

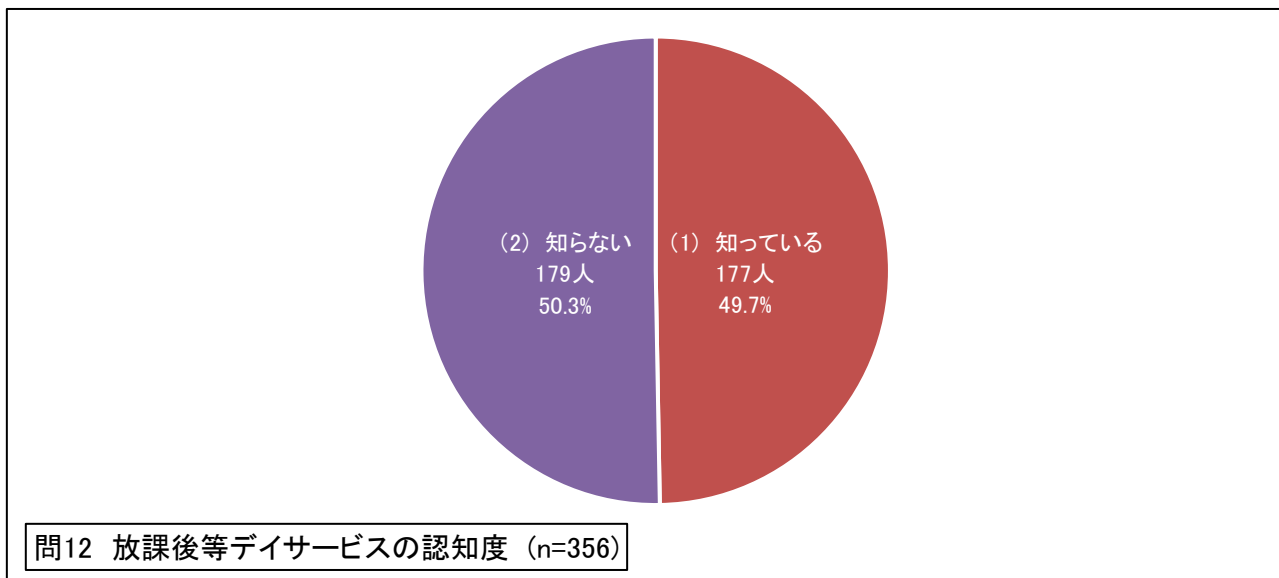
- 1 障害のある人に必要な支援についての情報提供
- 2 障害のある人も参加する避難訓練の実施
- 3 福祉避難所の確保と充実
- 4 普段からの近所付き合いや声かけ
- 5 その他（回答用紙に具体的に記入）



回答者に、充実させるべき防災対策はなにか尋ねたところ、「(1) 障害のある人に必要な支援についての情報提供」と答えた人の割合が 55.4%と最も多く、次いで「(2) 障害のある人も参加する避難訓練の実施」(33.6%)の順となっている。

問 12 障害のある子どもを、日中や放課後、学校休業日に通わせて支援を受けられるサービス（放課後等デイサービス）があることを知っていますか。この中から 1 つだけお答えください。

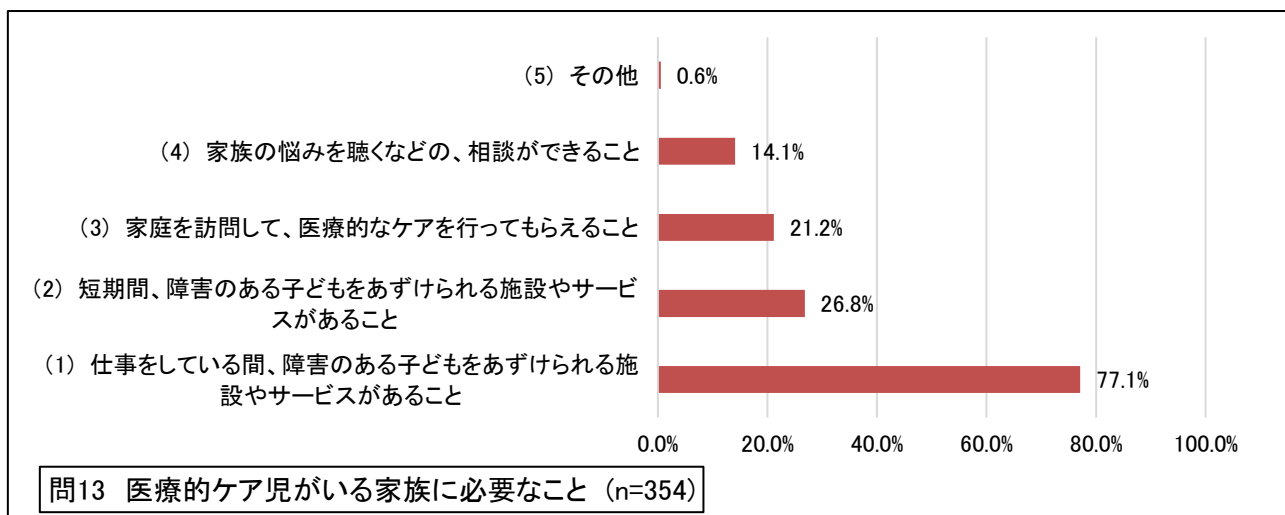
- 1 知っている
- 2 知らない



回答者に、放課後等デイサービスについて知っているか尋ねたところ、「(1) 知っている」と答えた人の割合が 49.7% (177 人)、「(2) 知らない」と答えた人の割合は 50.3% (179 人) となっている。

問 13 障害により、痰の吸引など医療的なケアが必要な子どもがいる家族の負担を軽減するためにどのようなことが必要だと思いますか。この中からあなたの考えに近いものを2つまでお答えください。

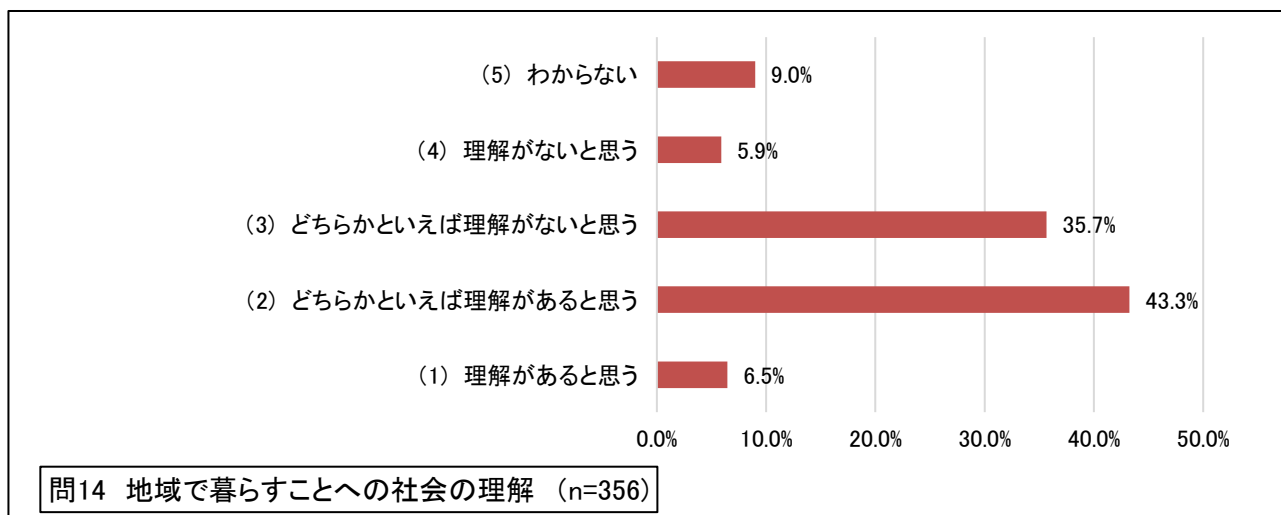
- 1 仕事をしている間、障害のある子どもをあずけられる施設やサービスがあること
- 2 短期間、障害のある子どもをあずけられる施設やサービスがあること
- 3 家庭を訪問して、医療的なケアを行ってもらえること
- 4 家族の悩みを聴くなどの、相談ができること
- 5 その他（回答用紙に具体的に記入）



回答者に、痰の吸引など医療的ケアが必要な子どもがいる家族の負担を軽減するために必要なことはなにか尋ねたところ、「(1) 仕事をしている間、障害のある子どもを預けられる施設やサービスがあること」と答えた人の割合が 77.1%と最も多く、次いで「(2) 短時間、障害のある子どもをあずけられる施設やサービスがあること」(26.8%)の順となっている。

問 14 あなたは、障害のある人が施設や病院を出て地域で暮らすことについて社会の理解があると思いますか。この中から1つだけお答えください。

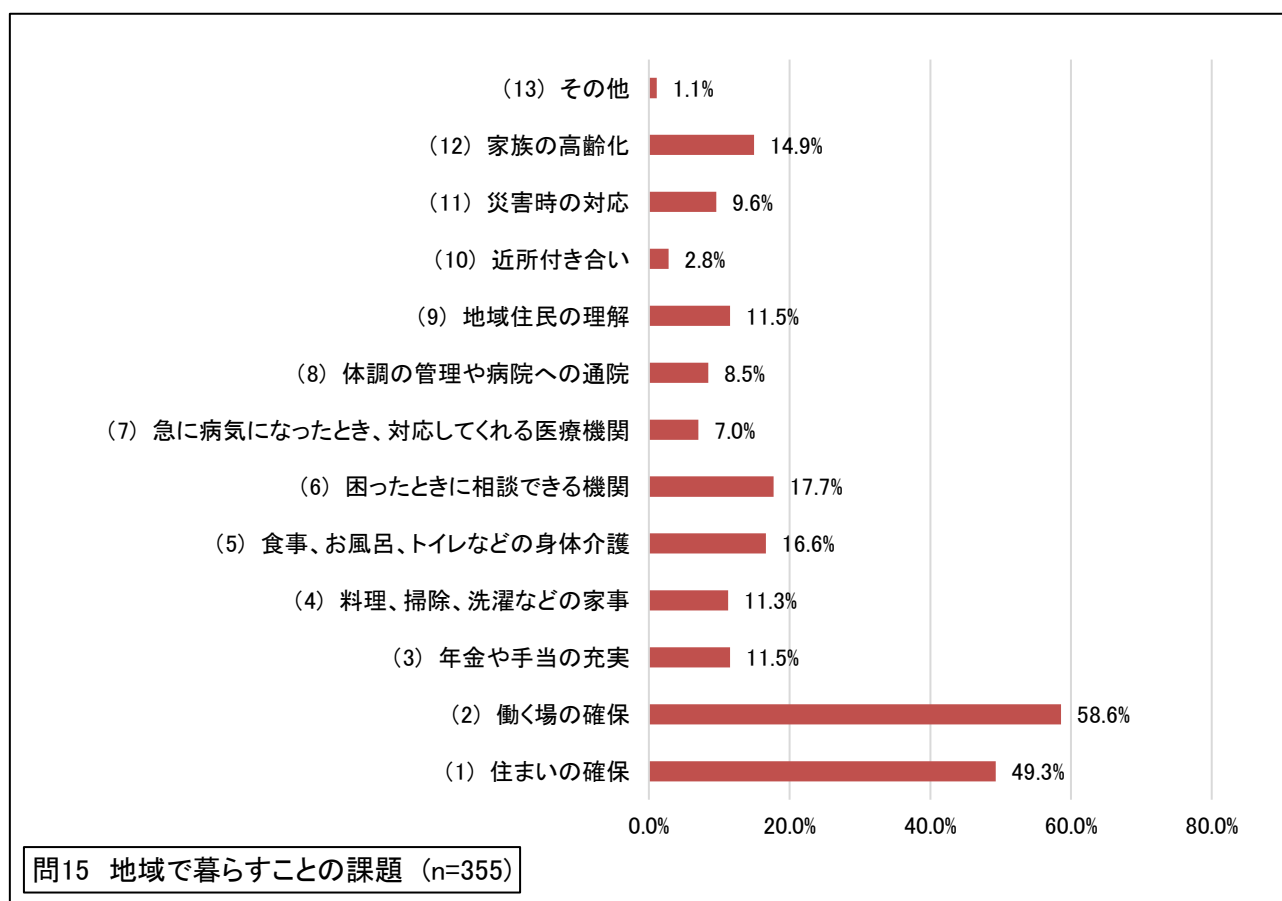
- 1 理解があると思う
- 2 どちらかといえば理解があると思う
- 3 どちらかといえば理解がないと思う
- 4 理解がないと思う



回答者に、障害のある人が施設や病院を出て地域で暮らすことについて社会の理解があると思うか尋ねたところ、「理解があると思う」と答えた人の割合が 49.8%（「(1) 理解があると思う」6.5%と「(2) どちらかといえば理解があると思う」43.3%を合わせたもの。）、「理解がないと思う」と答えた人の割合が 41.6%（「(3) どちらかといえば理解がないと思う」35.7%と「(4) 理解がないと思う」5.9%を合わせたもの。）、「(5) わからない」と答えた人の割合が 9.0%となっている。

問 15 障害がある人が地域で暮らすことについて、どのようなことが課題になると思いますか。この中からあなたの考えに近いものを3つまでお答えください。

- 1 住まいの確保
- 2 働く場の確保
- 3 年金や手当の充実
- 4 料理、掃除、洗濯などの家事
- 5 食事、お風呂、トイレなどの身体介護
- 6 困ったときに相談できる機関
- 7 急に病気になったとき、対応してくれる医療機関
- 8 体調の管理や病院への通院
- 9 地域住民の理解
- 10 近所付き合い
- 11 災害時の対応
- 12 家族の高齢化
- 13 その他（回答用紙に具体的に記入）

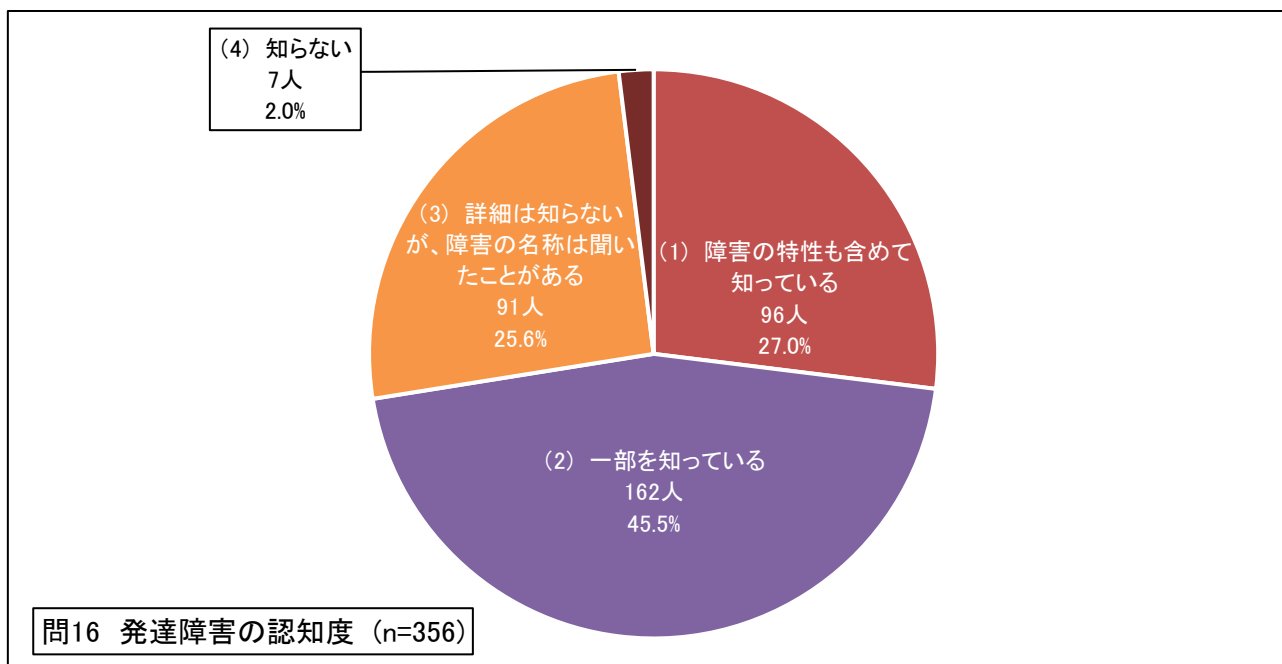


回答者に、障害がある人が地域で暮らすことについて、どのようなことが課題になると思うか尋ねたところ、「(2) 働く場の確保」と答えた人の割合が58.6%と最も多く、次いで「(1) 住まいの確保」(49.3%)、「(6) 困ったときに相談できる機関」(17.7%)の順となっている。

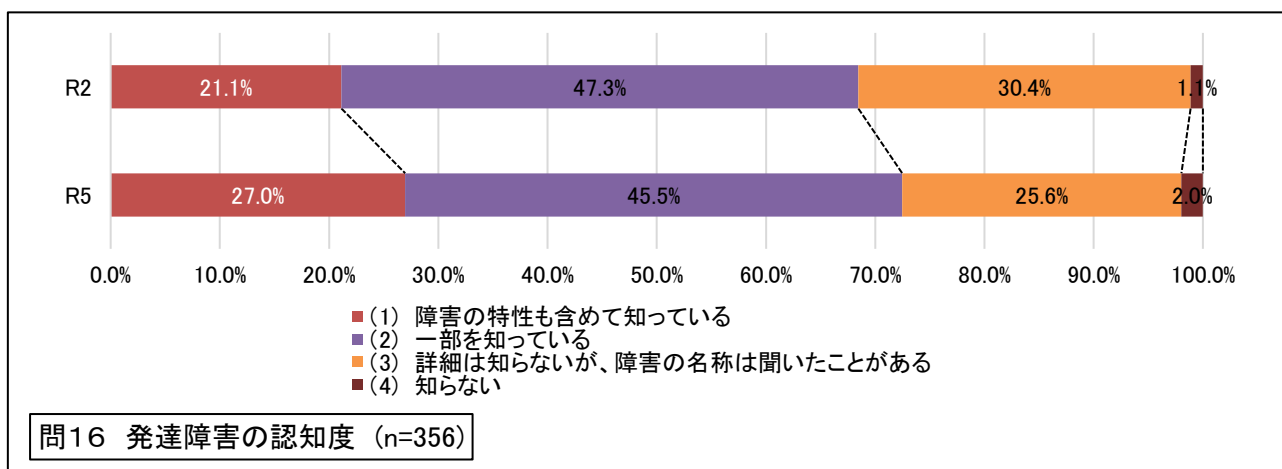


問16 発達障害には、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）、自閉症などがありますが、あなたは発達障害について知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 障害の特性も含めて知っている
- 2 一部を知っている
- 3 詳細は知らないが、障害の名称は聞いたことがある
- 4 知らない



回答者に、発達障害について知っているか尋ねたところ、「知っている」と答えた人の割合が72.5%（（1）「障害の特性も含めて知っている」27.0%と「（2）一部を知っている」45.5%を合わせたもの）、「（3）詳細は知らないが、障害の名称は聞いたことがある」が25.6%、「（4）知らない」と答えた人の割合が2.0%となっている。

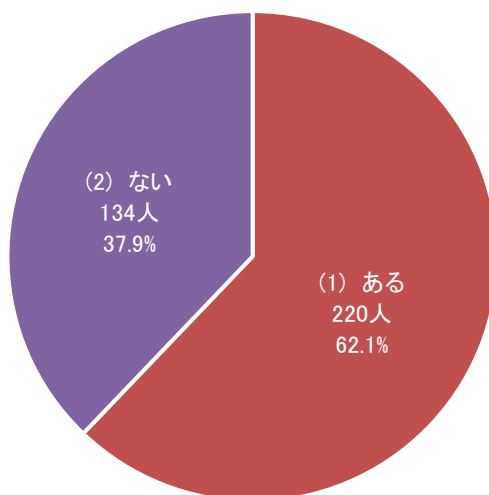


令和2年の調査と比較してみると、「（1）障害の特性も含めて知っている」（21.1%→27.0%）と答えた人の割合が5.9ポイント増加している。

問17 あなたは、これまで精神障害のある人（\*）と出会ったり、接したりしたことはありますか。この中から1つだけお答えください。

（\*）精神障害のある人とは、うつ病、統合失調症のような精神的な病気に悩み日常生活を送る上でさまざまな援助を必要とする人としています。

- 1 ある→問18へ
- 2 ない→問19へ

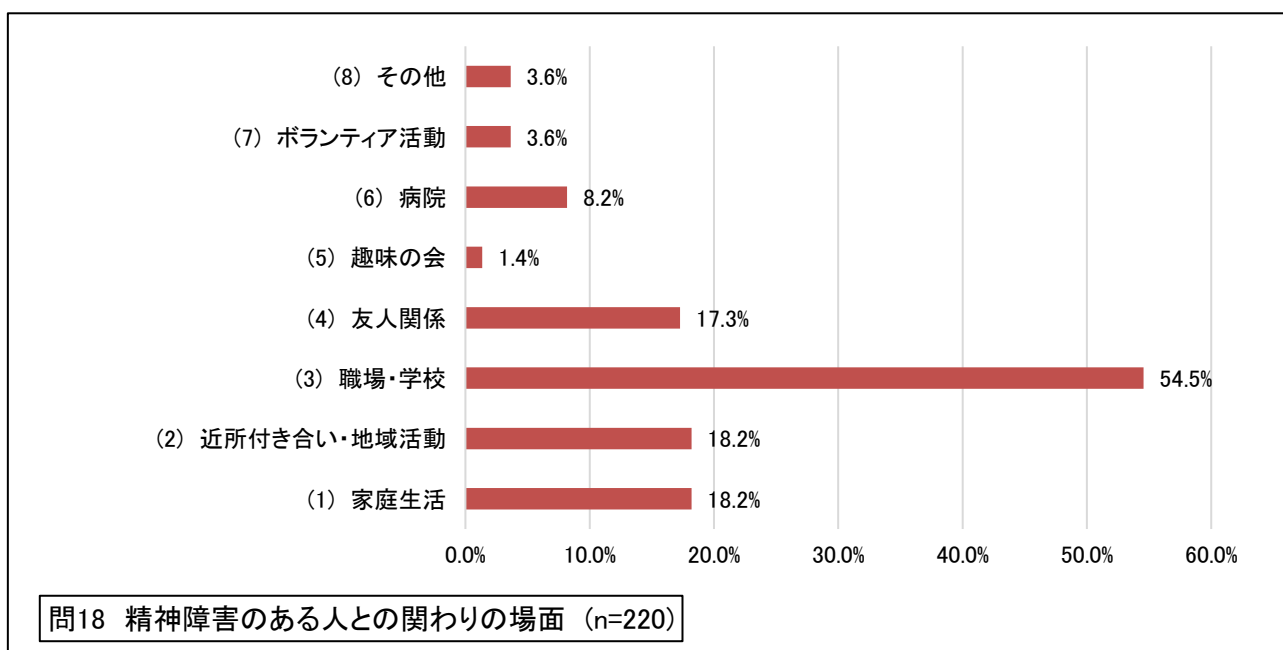


問17 精神障害のある人との関わり (n=354)

回答者に、精神障害のある人と出会ったり、接したりしたことはあるか尋ねたところ、「(1) ある」と答えた人の割合が62.1% (220人)、「(2) ない」と答えた人の割合が37.9% (134人) となっている。

問18 問17で「ある」と答えた方に伺います。あなたは、精神障害のある人とどのような場面で出会ったり接したりしていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(複数選択可))

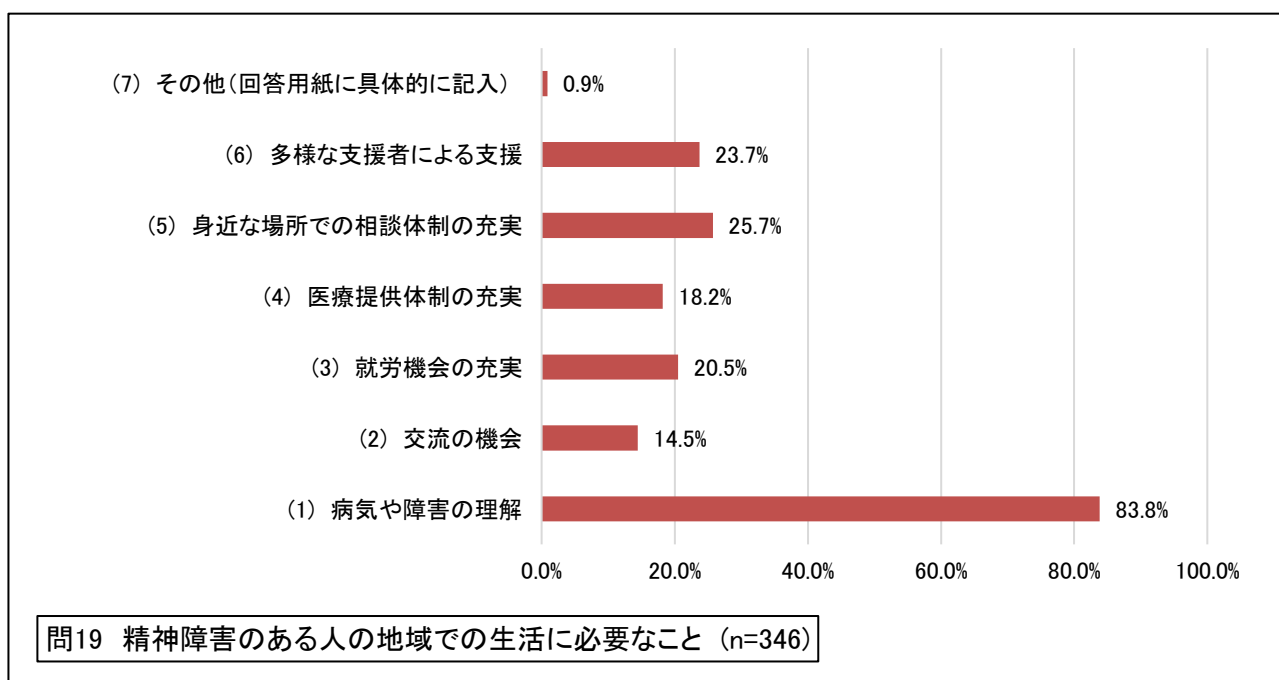
- 1 家庭生活
- 2 近所付き合い・地域活動
- 3 職場・学校
- 4 友人関係
- 5 趣味の会
- 6 病院
- 7 ボランティア活動
- 8 その他 (回答用紙に具体的に記入)



精神障害のある人と出会ったり、接したりしたことが「ある」と答えた人(220人)に、どのような場面か尋ねたところ、「(3) 職場・学校」と答えた人の割合が54.5%と最も多く、次いで「(1) 家庭生活」「(2) 近所付き合い・地域活動」(ともに18.2%)の順となっている。

問 19 精神障害のある人が地域で共に生活できるようになるためには何が必要だと思いますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(複数選択可)

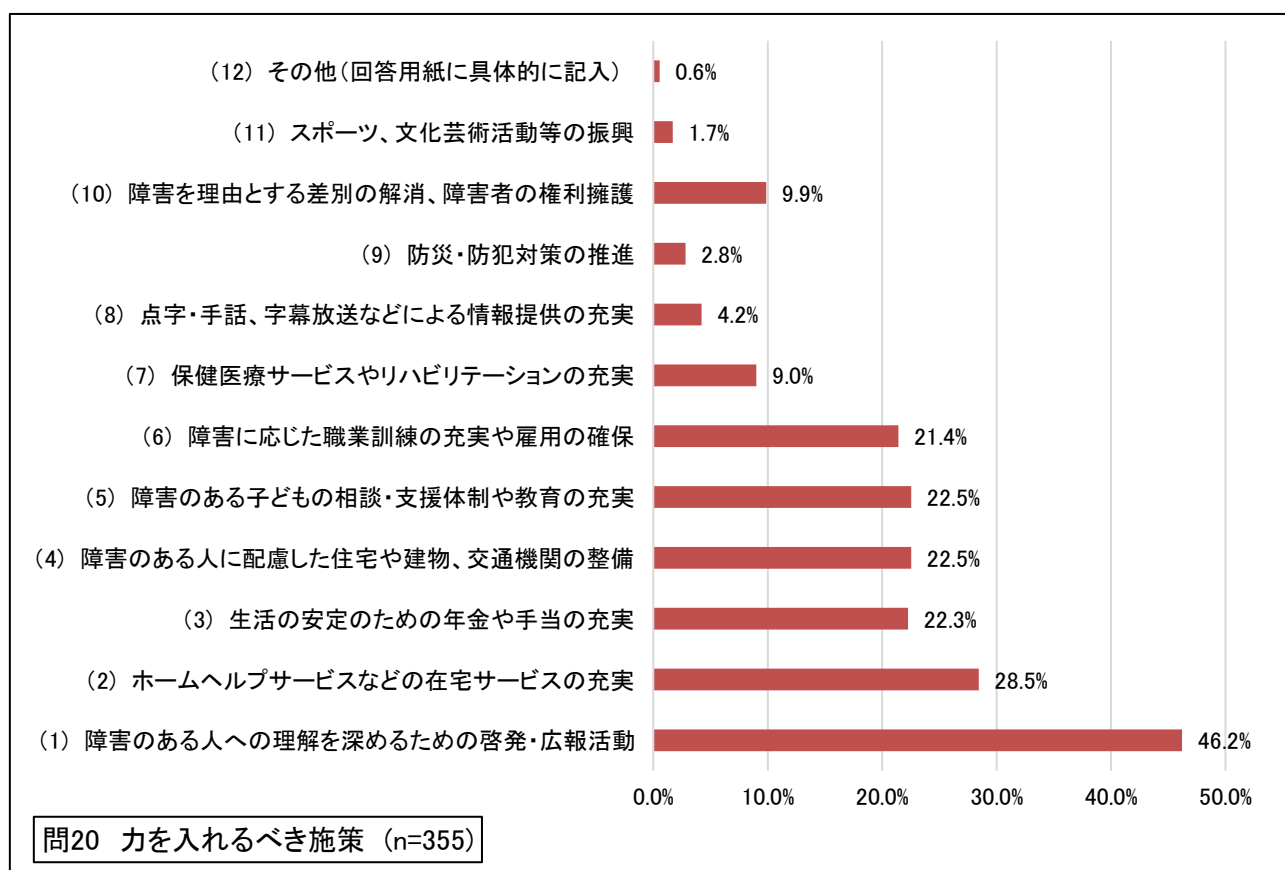
- 1 病気や障害の理解
- 2 交流の機会
- 3 就労機会の充実
- 4 医療提供体制の充実
- 5 身近な場所での相談体制の充実
- 6 多様な支援者による支援
- 7 その他 (回答用紙に具体的に記入)



回答者に、精神障害のある人が地域で共に生活できるようになるためには何が必要だと思うか尋ねたところ、「(1) 病気や障害の理解」と答えた人の割合が 83.8%と最も多く、次いで「(5) 身近な場所での相談体制の充実」(25.7%)、「(6) 多様な支援者による支援」(23.7%) の順となっている。

問 20 障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものを、この中からあなたの考えに近いものを3つまでお答えください。

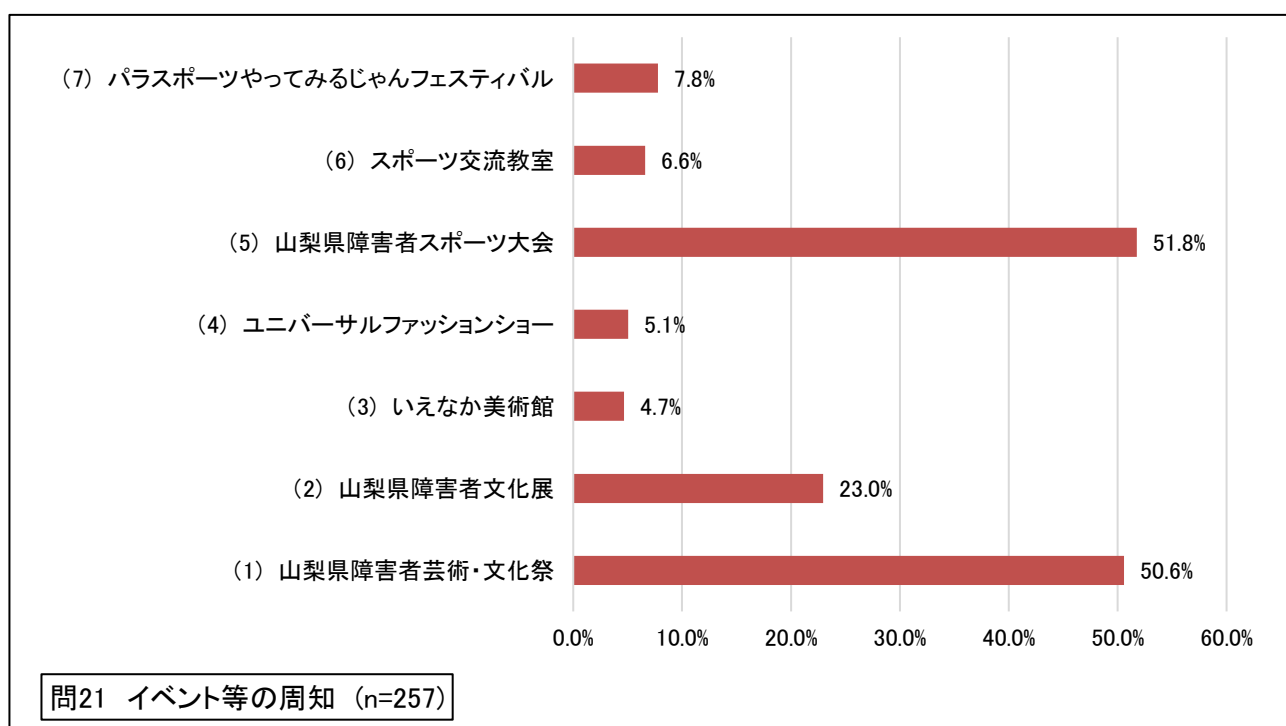
- 1 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動
- 2 ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
- 3 生活の安定のための年金や手当の充実
- 4 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
- 5 障害のある子どもの相談・支援体制や教育の充実
- 6 障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保
- 7 保健医療サービスやリハビリテーションの充実
- 8 点字・手話、字幕放送などによる情報提供の充実
- 9 防災・防犯対策の推進
- 10 障害を理由とする差別の解消、障害者の権利擁護
- 11 スポーツ、文化芸術活動等の振興
- 12 その他（回答用紙に具体的に記入）



回答者に、障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、もっと力を入れる必要があると思うものはなにか尋ねたところ、「(1) 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動」と答えた人の割合が46.2%と最も多く、次いで「(2) ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実」(28.5%)、「(4) 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備」、「(5) 障害のある子どもの相談・支援体制や教育の充実」(ともに22.5%)の順となっている。

問 21 県では、障害のある人の文化芸術活動の充実や、障害者スポーツの推進のため様々なイベント等を開催しております。この中であなたが知っているもの、もしくは見たことがあるものがあればいくつでもお答えください。（複数選択可）

- 1 山梨県障害者芸術・文化祭
- 2 山梨県障害者文化展
- 3 いえなか美術館
- 4 ユニバーサルファッションショー
- 5 山梨県障害者スポーツ大会
- 6 スポーツ交流教室
- 7 パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル



回答者に、県主催の障害のある人の文化芸術活動の充実や、障害者スポーツの推進のためのイベント等について知っている、もしくは見たことがあるものがあるか尋ねたところ、「(5) 山梨県障害者スポーツ大会」と答えた人の割合が51.8%と最も多く、次いで「(1) 山梨県障害者芸術・文化祭」(50.6%)、「(2) 山梨県障害者文化展」(23.0%)の順となっている。

# 【調査票】

# 障害者に関する意識調査

## 【県政モニター用】

### 1 調査の目的

山梨県では、令和3年3月に策定した「やまなし障害児・障害者プラン2021」（計画期間：令和3年度～令和5年度）に基づき、障害の有無にかかわらず、県民誰もが等しく基本的人権を享有するとともに、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、障害福祉施策を推進しています。

今回のアンケート調査は、令和6年度～令和8年度を計画期間とした次期「やまなし障害児・障害者プラン」の策定に当たり、県民の皆さんから障害や障害のある人に対するお考えをお伺いし、今後の県の施策・事業の参考とさせていただくために実施するものです。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解の上、御協力くださいますようお願いいたします。

\*「やまなし障害児・障害者プラン2021」の全文はホームページで公開しています。

<https://www.pref.yamanashi.jp/shogai-fks/plan/shogaishaplan2021.html>

なお、アンケートに御協力いただいた方には年度末に粗品をお送りいたします。

#### 記入上の注意

\* 回答は、別紙「回答用紙」の当てはまる項目に○をお付けください。なお、回答で「その他」を選択した場合は、御自身のお考えを（ ）内にお書きください。

### 2 提出方法

**回答用紙のみを郵送**（同封の返信用封筒を御利用ください）

令和5年6月

山梨県福祉保健部障害福祉課

【お問い合わせ先】〒400-8501

甲府市丸の内一丁目6-1

山梨県福祉保健部障害福祉課 企画推進担当

TEL 055-223-1460





- 1 ある →問4へ
- 2 ない →問3へ

問3 問2で「ない」と答えた方に伺います。手助けをしなかったのはどうしてでしょうか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。（複数選択可）

- 1 たまたま機会がなかったから
- 2 自分が何をすればよいのかわからなかったから
- 3 どのように接したらよいのかわからなかったから
- 4 お節介になるような気がしたから
- 5 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから
- 6 自分にとって負担になるような気がしたから
- 7 その他（回答用紙に具体的に記入）

問4 あなたは、障害のある人とない人が、お互いの人格と個性を尊重し合いながら、社会の一員として分け隔てなく共に暮らす「共生社会」という考え方を知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 知っている
- 2 言葉だけは聞いたことがある
- 3 知らない

問5 あなたは、「共生社会を実現すべきだ」という考え方について、どう思われますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

問6 あなたは、行政や事業者に対し、障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止や、合理的配慮を求める「障害者差別解消法」があることを知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 法律の内容も含めて知っている
- 2 内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがある
- 3 知らない

問7 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 あると思う →問8へ
- 2 少しはあると思う →問8へ
- 3 ないと思う →問9へ
- 4 わからない →問9へ

問8 問7で「1 あると思う」、「2 少しはあると思う」と答えた方に伺います。あなたは、どのような場面で、差別や偏見があると思いますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。（複数選択可）

- 1 仕事や収入
- 2 学校や職場での人間関係
- 3 教育の機会
- 4 近所付き合い
- 5 まちなかでの人の視線
- 6 冠婚葬祭
- 7 スポーツや趣味の活動
- 8 地域の行事や集まり
- 9 店員の応対や態度
- 10 行政職員等の応対や態度
- 11 病院など医療機関での診察
- 12 交通機関や建築物の構造
- 13 テレビやラジオ、新聞などの情報提供
- 14 その他（回答用紙に具体的に記入）

問9 障害のある人とない人が同じように生活していくために必要となること（\*）をあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともあります。あなたはどうしますか。この中から1つだけお答えください。

（\*）例：商店入口などへのスロープの整備、点字ブロックや音声案内などの設置

- 1 負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行う
- 2 可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う
- 3 負担がなければ、配慮や工夫を行う
- 4 配慮や工夫を行うことは難しい
- 5 わからない

問10 あなたは住んでいる市町村の「福祉避難所」がどこにあるのか知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問11 障害のある人にとって、最も充実させるべき防災対策とはどのようなことだと思いますか。この中からあなたの考えに近いものを2つまでお答えください。

- 1 障害のある人に必要な支援についての情報提供
- 2 障害のある人も参加する避難訓練の実施
- 3 福祉避難所の確保と充実
- 4 普段からの近所付き合いや声かけ
- 5 その他（回答用紙に具体的に記入）

問12 障害のある子どもを、日中や放課後、学校休業日に通わせて支援を受けられるサービス（放課後等デイサービス）があることを知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問13 障害により、痰の吸引など医療的なケアが必要な子どもがいる家族の負担を軽減するためにどのようなことが必要だと思いますか。この中からあなたの考えに近いものを2つまでお答えください。

- 1 仕事をしている間、障害のある子どもをあずけられる施設やサービスがあること
- 2 短期間、障害のある子どもをあずけられる施設やサービスがあること
- 3 家庭を訪問して、医療的なケアを行ってもらえること
- 4 家族の悩みを聴くなどの、相談ができること
- 5 その他（回答用紙に具体的に記入）

問14 あなたは、障害のある人が施設や病院を出て地域で暮らすことについて社会の理解があると思いますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 理解があると思う
- 2 どちらかといえば理解があると思う
- 3 どちらかといえば理解がないと思う
- 4 理解がないと思う

5 わからない

問15 障害がある人が地域で暮らすことについて、どのようなことが課題になると思いますか。この中からあなたの考えに近いものを3つまでお答えください。

- 1 住まいの確保
- 2 働く場の確保
- 3 年金や手当の充実
- 4 料理、掃除、洗濯などの家事
- 5 食事、お風呂、トイレなどの身体介護
- 6 困ったときに相談できる機関
- 7 急に病気になったとき、対応してくれる医療機関
- 8 体調の管理や病院への通院
- 9 地域住民の理解
- 10 近所付き合い
- 11 災害時の対応
- 12 家族の高齢化
- 13 その他（回答用紙に具体的に記入）

問16 発達障害には、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）、自閉症などがありますが、あなたは発達障害について知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 障害の特性も含めて知っている
- 2 一部を知っている
- 3 詳細は知らないが、障害の名称は聞いたことがある
- 4 知らない

問17 あなたは、これまで精神障害のある人（\*）と出会ったり、接したりしたことはありますか。この中から1つだけお答えください。

（\*）精神障害のある人とは、うつ病、統合失調症のような精神的な病気に悩み日常生活を送る上でさまざまな援助を必要とする人としてします。

- 1 ある→問18へ
- 2 ない→問19へ

問18 問17で「ある」と答えた方に伺います。あなたは、精神障害のある人とどのような場面で出会ったり接したりしていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。（複数選択可）

- 1 家庭生活
- 2 近所付き合い・地域活動
- 3 職場・学校
- 4 友人関係
- 5 趣味の会
- 6 病院
- 7 ボランティア活動
- 8 その他（回答用紙に具体的に記入）

**問19 精神障害のある人が地域で共に生活できるようになるためには何が必要だと思いますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。（複数選択可）**

- 1 病気や障害の理解
- 2 交流の機会
- 3 就労機会の充実
- 4 医療提供体制の充実
- 5 身近な場所での相談体制の充実
- 6 多様な支援者による支援
- 7 その他（回答用紙に具体的に記入）

**問20 障害のある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものを、この中からあなたの考えに近いものを3つまでお答えください。**

- 1 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動
- 2 ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
- 3 生活の安定のための年金や手当の充実
- 4 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
- 5 障害のある子どもの相談・支援体制や教育の充実
- 6 障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保
- 7 保健医療サービスやリハビリテーションの充実
- 8 点字・手話、字幕放送などによる情報提供の充実
- 9 防災・防犯対策の推進
- 10 障害を理由とする差別の解消、障害者の権利擁護
- 11 スポーツ、文化芸術活動等の振興
- 12 その他（回答用紙に具体的に記入）

問21 県では、障害のある人の文化芸術活動の充実や、障害者スポーツの推進のため様々なイベント等を開催しております。この中であなたが知っているもの、もしくは見たことがあるものがあればいくつでもお答えください。(複数選択可)

- 1 山梨県障害者芸術・文化祭
- 2 山梨県障害者文化展
- 3 いえなか美術館
- 4 ユニバーサルファッションショー
- 5 山梨県障害者スポーツ大会
- 6 スポーツ交流教室
- 7 パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

## 資料3 障害者団体等との意見交換会での意見等

障害のある人やその家族等が抱えている課題を把握するため、障害者団体等に対し、令和5年4月27日から5月31日まで、書面により意見の提出を求めました。

### 1 誰もが暮らしやすい潤いのあるまちをつくるために

#### (1) 相互理解の促進

- ・ 発達障害は治るものではないですし、治そうとするものでもないので、一人一人をどのように理解するかに尽きると思います。そして能力の有無ではなく、特性に気づき、知ることがとても大事なことです。家族会の方々のお話を伺っていると曖昧な診断や発達障害を見逃して、本人の生きづらさの原因を他に求めているケースもあります。そうすると家族も本人も専門家の診断、意見に翻弄されることになります。発達障害の理解をどのような立場の人にも、もっと深めていく必要性を今までもずっと感じてきました。長野で起きたような悲惨な結末を起こさないためにも、発達障害の理解を深める努力と学ぶ機会がもっと必要であると思っています。

#### (2) 民間との協働体制の整備・市町村との連携

- ・ 障害者からの情報発信の機会の提供について  
共生社会の実現のためには、社会全体の理解が不可欠であり、障害者が自ら積極的に情報発信を行うことや、日常的な交流の場の設置が求められている。そのため、  
①企業や団体などが行う紹介・案内・講習・研修等について、障害者を講師として派遣する制度の創設。  
②県のイベント(講演会等)の申込書等に障害の有無の確認欄を設けるとともにその対応の実施等をプランに盛り込みその実施状況を確認していただきたい。

#### (3) 差別の解消及び権利擁護の推進

- ・ 障害者差別解消の啓発の推進について  
この推進はまだ進んでいないと感じています。聞こえないことを理由に各窓口での申し込みを断られることが、2022年度にハローワーク、教習所、免許更新、病院の4件で発生していて、聞こえない人の人権が侵害されています。この差別解消に向け、県・事業者が一体となり、きちんと取り組む必要があります。県が作成した宣伝リーフレットのみ発送するだけでは、差別解消の啓発が浸透されていません。ご検討をお願いいたします。
- ・ 代理代行的な意思決定支援の廃止を視野に入れた障害者本人の意思決定支援の構



築が勧告されたことを受け、成年後見制度の在り方について、本人を抜きに話を進めない、司法後見の利用料の見直し等を図ってほしい。

#### (4) 安全・安心の確保

##### ・防災対策の推進について

豪雨や地震など毎年のように日本各地で住民の避難が求められるような災害が発生している中、避難所の設置については新たに新型コロナウイルス対策など防疫面での対応が求められている状況にある。災害避難所の運営は市町村が行うこととなっているが、情報や経験値が不足している市町村もあることから、問題意識においても大きな格差が生じている。こうしたことから、市町村に対し県がしっかりと情報提供するとともに、個別避難計画の策定状況について情報収集を行い、障害者団体と情報共有を行ってほしい。

## 2 自ら望む地域社会で暮らすために

### (1) 自己選択・自己決定の支援

- ・ 障害の相談支援員の質の低さが目立ちます。もっと障害者の思いを尊重して丁寧に傾聴する姿勢があれば快適な環境で自分らしく暮らすことが出来ると考えます。相談員の質の向上をして欲しい。
- ・ 障害者の暮らしは当事者だけでなく親、兄弟にも大きな影響がある。親は兄弟には負担はかけたくないという思い、兄弟は一緒に年を重ねていく。きっとどこかのタイミングで施設のお世話になっていくが、本人が望む場所＝家族の望むこととは限らない。日中は通所施設に通い、夕食、就寝までの見守り、朝食という流れだが、土日はどのように暮らすのだろうか。親の立場として不安でしかない。入所施設・グループホームという選択になると、確かに安定したサービスの中で暮らしていけるが、快適な環境の中で自分らしく暮らすということに関しては疑問が残る。現状、日中活動のない土日の支援に対しての職員が確保出来るような報酬形態になっているのか。高齢になり日中活動施設に通えなくなった障害者のグループホームでの生活支援における報酬加算も盛り込まれていく必要があると思います。報酬規定の見える化を親は望んでいます。わかりやすくどのような支援を施設ではしてくれるのか、利用者もそこで働く人も快適な環境を望んでいると思います。働きやすい環境、それに見合った報酬改定その充実が障害者の「自分らしく暮らす」につながっていくのではないのでしょうか。
- ・ 家族の形態が変容することで起こる今までの生活からの環境の変化に新たな生きづらさが起こる。普段の生活の中でも本人に寄り添い、自己選択や意思決定が出来るように意思形成支援が必要になっている。
- ・ 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

「精神障害者の精神病床から退院後一年以内の地域における平均生活日数」、地

域生活支援拠点等が有する機能の充実が、国の成果目標には掲げられています。このことを踏まえて、以下の意見を提案します。

- ①地域生活支援拠点は、各市町村で概ね体制整備が行われてきました。ただ精神障害者が退院して、地域生活に移行するためには、柔軟な体制整備が必要と感じます。緊急時対応の対象に、グループホーム利用中の方も短期入所などの施設利用ができるよう県独自の判断を明記していただきたいと願います。精神科病院から退院した場合、グループホームへ退院する方も増えており、グループホーム利用者の増加もしています。精神障害者が、安定して地域で生活していくためには、地域で包括的に支援する体制が必要と考えています。
- ②コロナ感染症の増加などもあり、この3年程地域移行支援の促進が停滞している印象があります。精神科病院への働きかけを官民協働で促してもらえる働きかけが必要だと感じています。
- ③地域活動支援センターは、精神障害者地域生活支援センターの流れをくみ法整備されてきました。現状地域活動支援センターは、市町村の地域活動事業として位置づけられ、委託されている市町村外の障害者の利用に制限があります。地域活動支援センターの利用を希望する障害者が円滑に利用できることを希望します。

・相談支援体制の充実強化等について

主任研修が令和になってから始まり、相談支援専門員の人数の確保、質の向上は非常に大切なことだと感じています。ただ研修を受講することで安易に資格取得ができていく状況なので、一定以上のスキルが無い場合は資格失効の方針も検討願います。

- ・地域の自立支援協議会が、当事者部会を休止してしまい当事者が意見を述べる場がなくなった。再開を申し出たが実現しなかった。当事者が意見を述べる場として当事者部会は必要ですので、県から再開を促すような権限を持った方策を希望します。

## (2) 障害福祉サービスの充実

・高齢聴覚障害者の住まいについて

高齢聴覚障害者が、高齢者介護、デイサービス等施設に入所した場合、お互いに話し合うことができるような手話言語等のコミュニケーション環境と必要な支援体制の確立を希望いたします。

・入浴問題について（あけぼの医療福祉センター）

以前は月・水・金が入浴日として設定されていたが、現在は月・金のみとなっている。看護スタッフの人員確保が第一ですが、全身の血流、皮膚の衛生面からも重要なので、週3回の入浴を再開して欲しい。

- ・壮年期から高齢期のことにもう少し力を入れて欲しい。

障害者の親は成人した我が子と細く長く共に暮らしたいと思っているが、いつまで続けられるか不安である。デイサービスやショートステイの利用量が少ないなど、特に重度の障害者は親の送迎が主流なので、高齢の親にとっては大変な思いをして

いる人が多い。老障介護の現状を理解して、利用しやすいサービスの実現を望みます。

- ・ 障害福祉サービス等の質の向上

サービス管理責任者等も、基礎・実践・更新と研修の体制が増え、それを担う人も増えています。サビ児管の参加を市町村自立支援協議会等に促していただき、山梨県のサビ児管のネットワーク構築を山梨県としても促進させていただきたいと願います。

- ・ 児及び者の施設収容の廃止（入所施設、GH等）の要請を受け、本人自身の意見を組み入れた意思決定支援の構築、入所系の施設が担っている役割（短期を含めた緊急時の受け入れ、行動障害や医ケアの支援等）を継承した住まいを実現するための行政の支援をお願いしたい。
- ・ 障害者が適切に生きていくために必要な保護制度の構築（基礎年金額の増額等）。
- ・ 視覚障害者が日常生活を営むうえで外出（買い物、通院など）する際に利用する福祉サービスとして「同行援護」「地域生活支援事業の移動支援」がある。しかし、制度はあるが市町村によってはこれらのサービスを提供する事業所が無い場合、日常生活に支障をきたしている障害者がいる。やむを得ずタクシーを利用しているが高額なタクシー代を払っているのが現実である。

### （3）保健・医療の充実

- ・ リハビリ訓練について

18歳までのリハビリ訓練は効果があるが、それ以上は効果が少ないとの事で受けられなくなる例が多くなる。成人になると二次被害として筋緊張や側わんがひどくなっていく。現状の機能を維持できるように成人でもリハビリが受けられる病院を確保して欲しい。

- ・ 県内の福祉状況の分析を細部にわたって数値化して問題点を把握する必要がある。

- ①短期入所に関しては手帳で分けると重心の方は療育・身体のカウントがされていると思う。
- ②身体・中途障害に関しても分類して数値化し、ライフサイクルに応じた支援が必要（乳幼児期・幼児期・学童期・青年期・壮年期・高齢期）
- ③難病の方はどうなっているのか

- ・ 障害者医療費無料化に向けた取組

これまでは子供や障害者の医療費の窓口無料化を実施した自治体に対して、補助金の減額がされてきた（いわゆるペナルティ）。新聞報道等によると子ども医療費についてはこのペナルティが廃止されとのことである。障害者は疾患を抱える方も多く、一生負担を続けることになる。障害があっても安心して医療サービスを受けられる体制を整えることが少子化対策にも有効であり、障害者医療費の窓口無料化に向けた取り組みをプランに掲載してもらいたい。

#### (4) 重度障害者への支援体制の充実

- ・ 医療型短期入所（医療型ショートステイ）の拡充を

在宅で生活する重症心身障害児者のショートステイが不足している。在宅生活を維持するためには、家族の休息（レスパイト）や兄弟の行事への参加等の際には、安心して預けられる受け皿となる必要な在宅支援事業です。実施事業者への受け入れ支援や施設拡充の働きかけを願います。

- ・ 居住地近くに短期入所の場合（老障介護の負担について）

我が家には、日中活動を週3日、隔週で短期入所を2泊3日で利用して在宅生活をしている家族がいるが、医療的ケアが大きいウエイトを占めており、夜間の排泄チェック、排泄処理、C-PAP を使っているのも機器のチェック等、主たる介護者の母親の負担は大きく、平均4時間の睡眠のため、心身ともに疲れている日常である。短期入所施設（あけぼの）まで利用日は高速利用で1時間かかりもっと近くに利用できる場があったらと願っている。

- ・ 医療的ケア児（者）の介護職員やヘルパーの不足もあり、住宅での療育が大変。高齢化した親への配慮を忘れないでほしいです。
- ・ 国の「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会」の報告書には次のように都道府県の役割として記述してある。

都道府県が設置する発達障害者支援センター等も活用しながら、高い専門性を有する広域的人材等を配置し、事業所の支援力の向上や集中的支援による困難事案への対応が行われる体制の整備を進めていくことが必要である。また、医療分野の関係機関との連携体制を構築していくことが必要である。強度障害者支援養成研修（基礎・実践）を実施し、人材育成を進めるとともに、管内市町村の支援体制整備を財政面・ノウハウ面から支援していくことも求められる。

以上を踏まえて、山梨県において強度障害者支援に関する協議会の設置について障害者プランに位置付けることを要望する。構成メンバーとして山梨県障害福祉課・障害者相談所・心の発達総合支援センター・県立北病院・支援学校関係者・強度行動障害者支援事業者

### 3 自らの力を高め地域社会でいきいきと活躍するために

#### (1) 教育の充実

- ・ 障害児の教育について、普通教育と特別支援教育が分離しないよう合理的配慮を図り、インクルーシブ教育を誰もが受けられるよう、特別支援教育が担っている役割（手厚い職員配置、専門スキル、少人数対応等）を提供できる教育体制に。
- ・ インクルーシブ教育の更なる推進をプランに盛り込みその実施状況を確認していただきたい。



## (2) 情報の取得利用・意思疎通

- ・ 知事記者会見の手話通訳者配置率の目標値が 100%と示していますが、NHK、YBS、UTY の県内放送のニュースには手話通訳者配置がありません。手話は福祉サービスではなく、聞こえない人たちにとっては命を守る大事な言語として位置づけられています。県内ニュースには、聞こえる人と同じく、聞こえない人たちも知る権利があり、ニュース放送に手話通訳者配置率の目標値を付けていただきたく希望いたします。
- ・ 行政のホームページには、PDF 形式のファイルを多用しているが、記事の中には視覚障害者が利用しているパソコンの音声読み上げソフトで読めないものがある。山梨県のデジタル担当部署が県内の市町村のホームページをパトロールするなどして、問題がある場合には指導できるような方策を希望します。
- ・ 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の確実な推進  
令和4年5月、同法が施行されたが、障害者を取り巻く情報環境に大きな変化はない。そこで、情報発信を行う際に、視覚や聴覚の障害を持つ方のため、電話・メール・ファックスを明記するよう、県が積極的に取り組むとともに、各自治体や民間事業者等に周知する取り組みをプランに盛り込んでもらいたい。また、講演会や舞台表現など対面で行うイベント等には必ず手話通訳の予算を確保し、配置まで責任を持って取り組んでいく体制を整えてもらいたい。

### 4 次期障害者プランの策定に関わること

- ・ 山梨県のプランについては、これまで変わっていないように思われます。サービスがあまりなかった時代に出来た、山梨県幸住条例を基にされていると思うので、ここで新たに細部にわたっての数値化ででてくる問題点が浮かび上がってくると思われるので再検討していただきたい。

### ○ 意見聴取団体一覧（50音順）【37団体中10団体から提出】

- ・ KHJ全国ひきこもり家族会連合会山梨支部 山梨県桃の会
- ・ 視覚障害者の横の会
- ・ 日本ALS協会山梨県支部
- ・ 山梨県自閉症協会
- ・ 山梨県重症心身障害児（者）を守る会
- ・ 山梨県障害者福祉協会
- ・ 山梨県精神障がい者地域生活支援ネットワーク
- ・ 山梨県知的障害者支援協会
- ・ 山梨県聴覚障害者協会
- ・ 山梨県手をつなぐ育成会

## 資料4 次期障害者プラン策定に係る当事者アンケート調査の結果について

### 1 調査目的

広く障害当事者の声を聞き、次期障害者プランの課題や施策を検討する。

### 2 アンケート調査の実施時期

令和5年5月12日（金）～7月14日（金）

### 3 調査方法

各圏域マネージャーを通じて、年齢、障害種別に偏りの出ないように対象者を抽出し、調査を行う。

### 4 調査対象者

障害当事者	212人
（内訳）中北圏域	60人
峡東圏域	50人
峡南圏域	50人
富士・東部圏域	52人

### 5 回収方法

持参およびアンケートフォームにより回答を回収する。

### 6 回答者数（回答率）

201人（94.8%）	
（内訳）中北圏域	60人（100.0%）
峡東圏域	39人（78.0%）
峡南圏域	50人（100.0%）
富士・東部圏域	52人（100.0%）

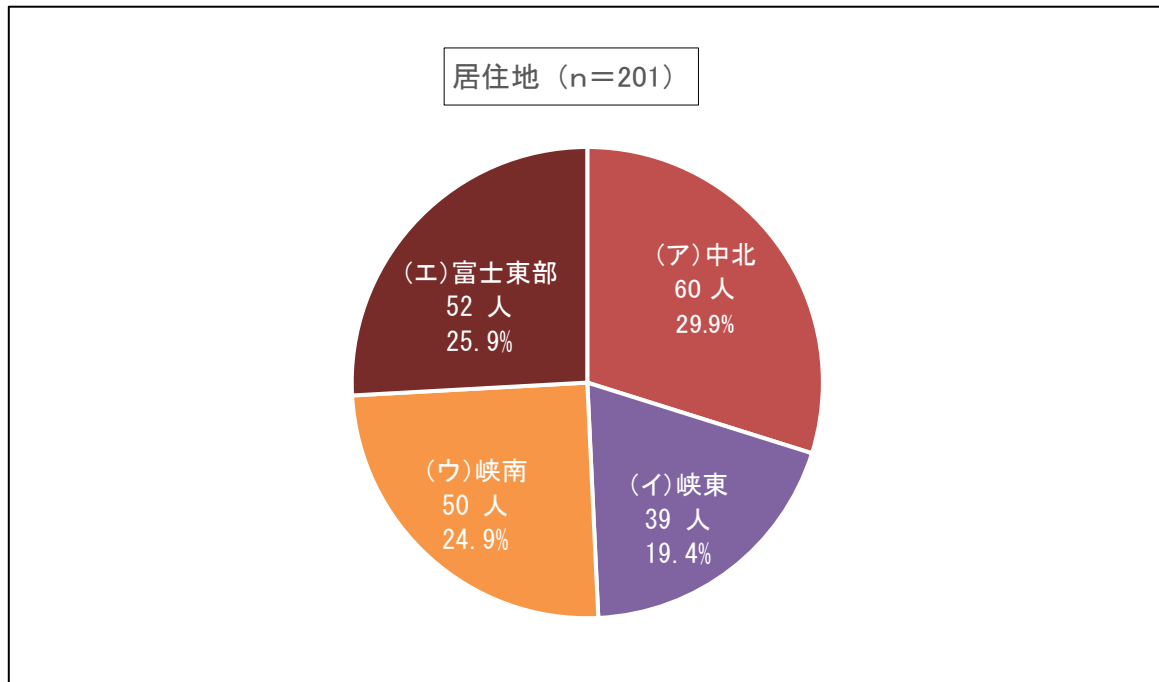
### 7 集計方法

（1）無回答または不明なものについては、集計に含めていません。

（2）割合については小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

問1 回答者の状況

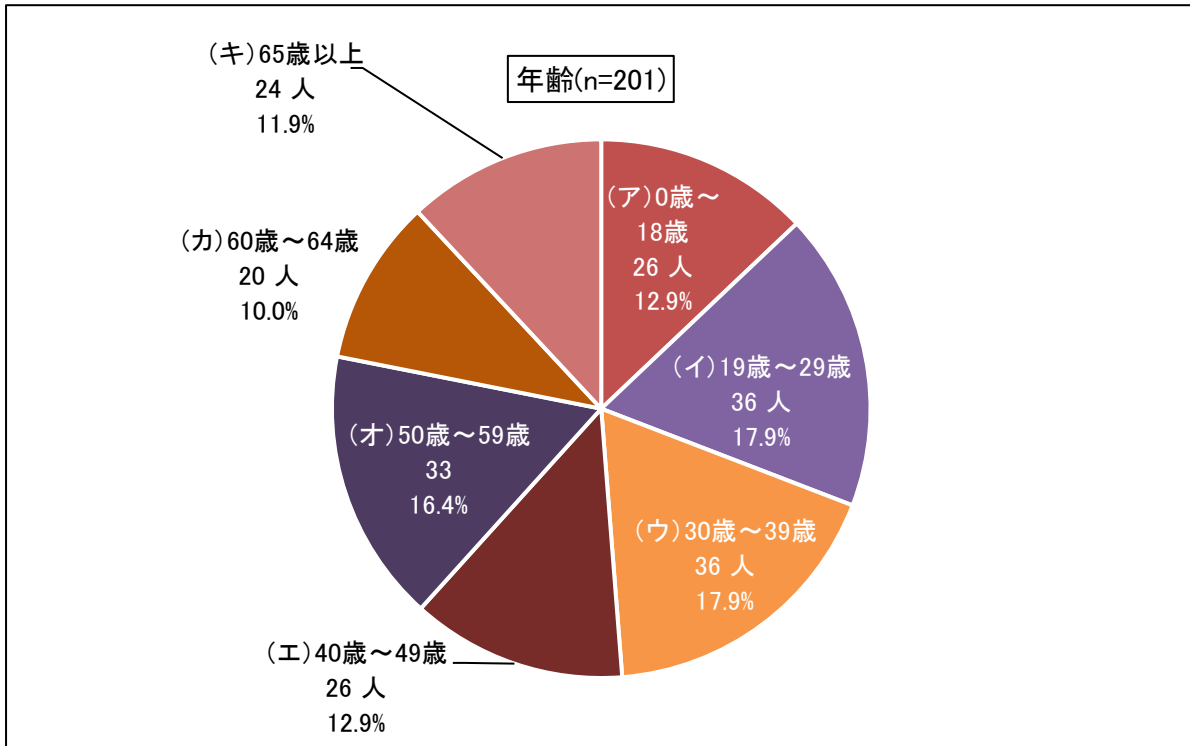
- 1 あなたのお住まいの地域はどこですか。【全員回答】  
次の（ア）～（エ）のうちから1つに○をしてください。  
（ア）中北  
（イ）峡東  
（ウ）峡南  
（エ）富士東部



回答者の居住地について尋ねたところ、中北圏域 29.9%（60 人）、峡東圏域 19.4%（39 人）、峡南圏域 24.9%（50 人）、富士・東部圏域 25.9%（52 人）であった。

2 あなたの年齢についてお答えください。【全員回答】次の（ア）～（キ）のうちから1つに〇をしてください。

- （ア） 0歳～18歳
- （イ） 19歳～29歳
- （ウ） 30歳～39歳
- （エ） 40歳～49歳
- （オ） 50歳～59歳
- （カ） 60歳～64歳
- （キ） 65歳以上

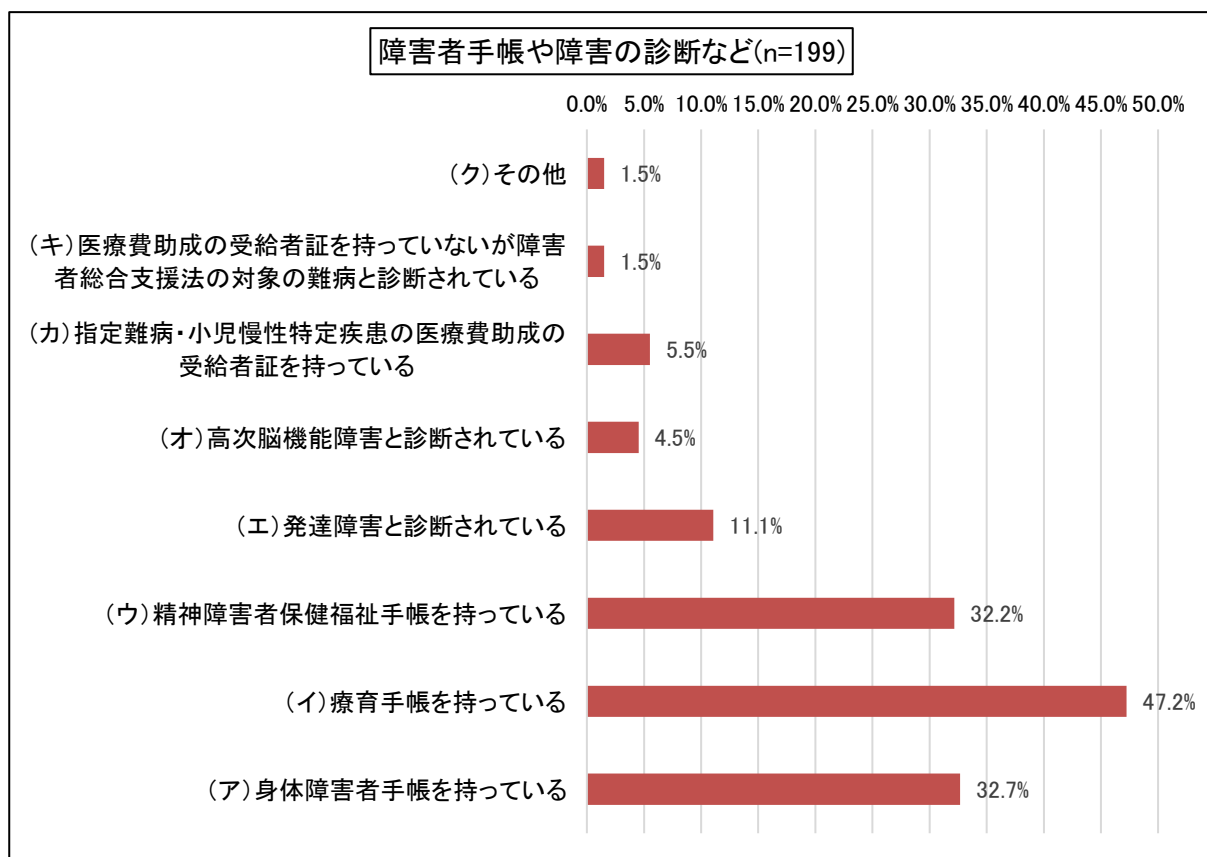


回答者の年齢について尋ねたところ、「19歳～29歳」、「30歳～39歳」と答えた人の割合がともに17.9%（36人）と最も多く、次いで「0歳～18歳」、「40歳～49歳」がともに12.9%（26人）となっており、回答した人のうち40歳台以下が半数以上を占めている。



3 あなたがお持ちの障害者手帳や障害の診断などについてお答えください。【全員回答】  
次の（ア）～（ク）のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- （ア）身体障害者手帳を持っている
- （イ）療育手帳を持っている
- （ウ）精神障害者保健福祉手帳を持っている
- （エ）発達障害と診断されている
- （オ）高次脳機能障害と診断されている
- （カ）指定難病・小児慢性特定疾患の医療費助成の受給者証を持っている
- （キ）医療費助成の受給者証を持っていないが障害者総合支援法の対象の難病と診断されている
- （ク）その他 [具体的に記入： ]



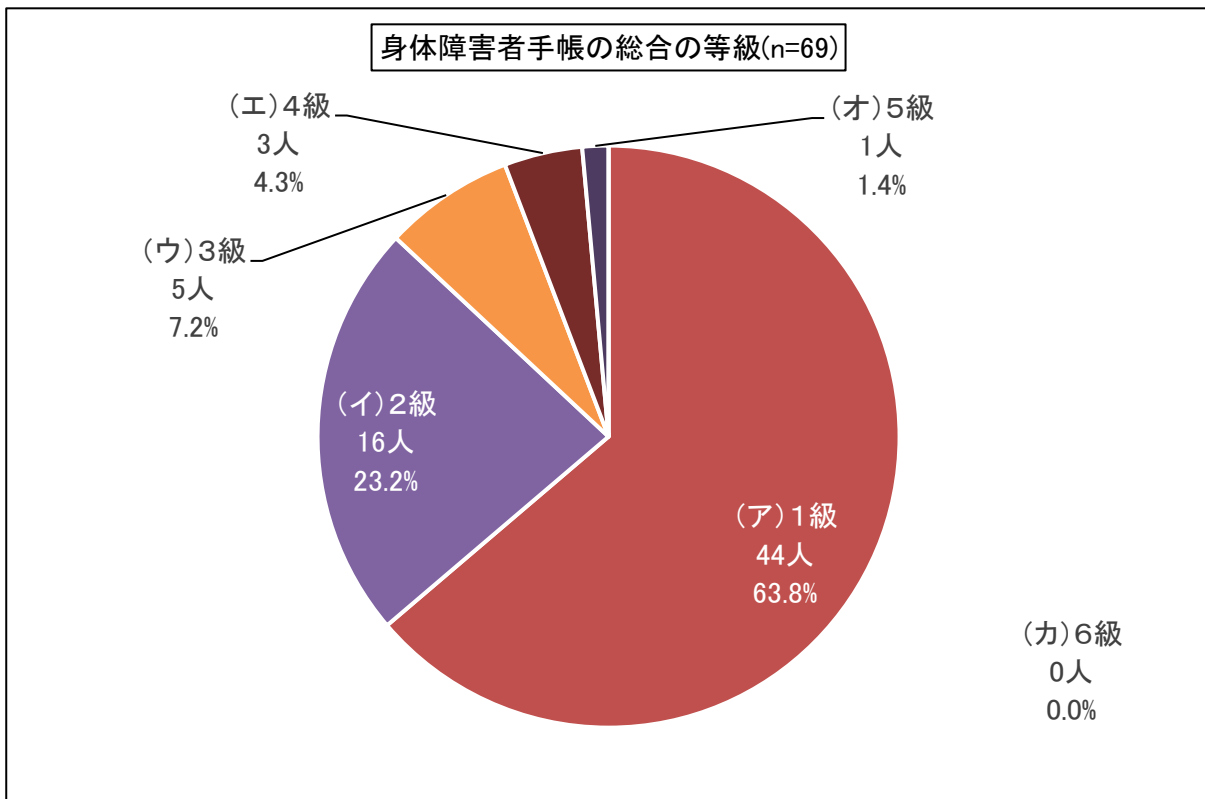
回答者の所持する障害者手帳や障害の診断などについて尋ねたところ、「（イ）療育手帳を持っている」と答えた人の割合が47.2%と最も多く、次いで「（ア）身体障害者手帳を持っている」（32.7%）、「（ウ）精神障害者保健福祉手帳を持っている」（32.2%）の順となっている。

4 身体障害者手帳をお持ちの方は教えてください。

(1) 総合の等級は次のうちどれですか。

次の(ア)～(カ)のうちから1つに○をしてください。

- (ア) 1級
- (イ) 2級
- (ウ) 3級
- (エ) 4級
- (オ) 5級
- (カ) 6級



回答者のうち身体障害者手帳を所持していると答えた人に、身体障害者手帳の総合の等級を尋ねたところ、1級が63.8% (44人)、2級が23.2% (16人)と全体の8割以上を占めている。

(2) 障害の種類は次のうちどれですか。

次の(ア)～(キ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

(ア) 視覚障害

(イ) 聴覚障害

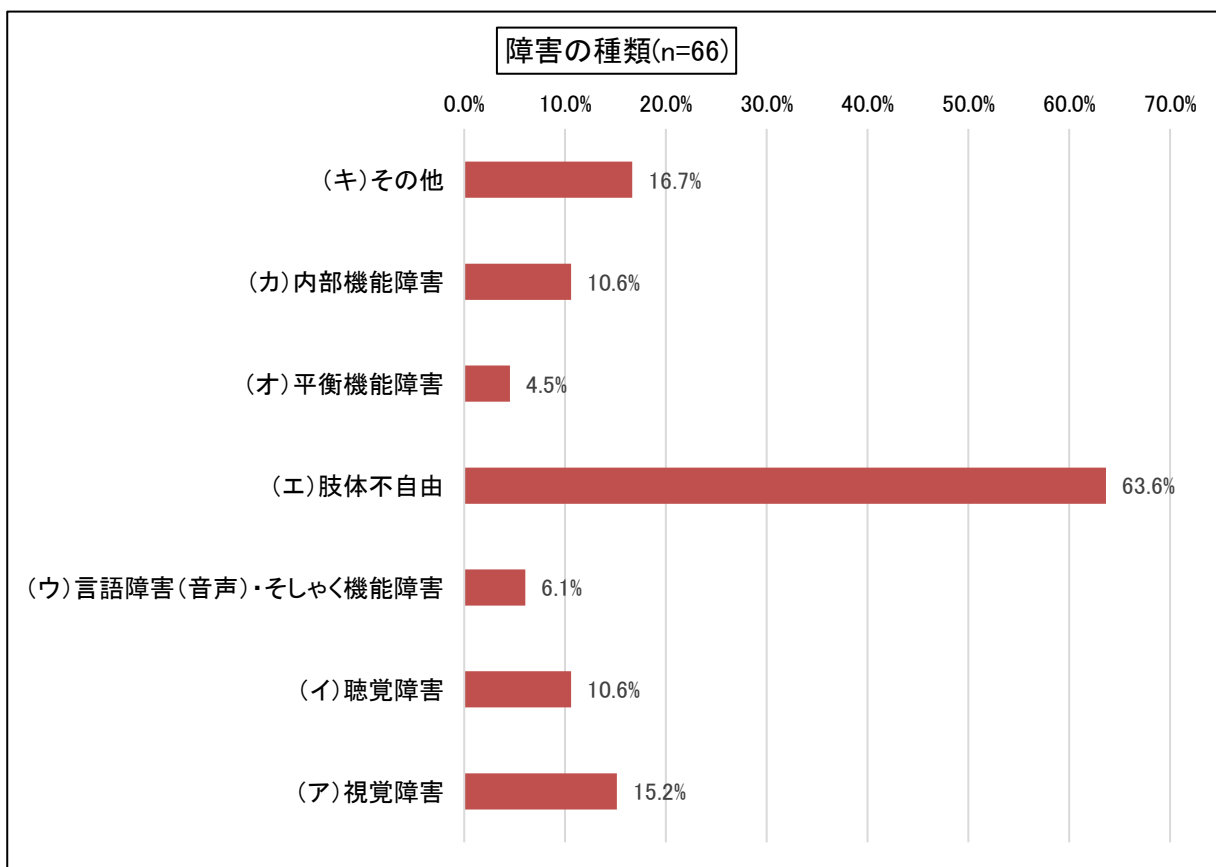
(ウ) 言語障害(音声)・そしゃく機能障害

(エ) 肢体不自由

(オ) 平衡機能障害

(カ) 内部機能障害

(キ) その他 [具体的に記入: ]

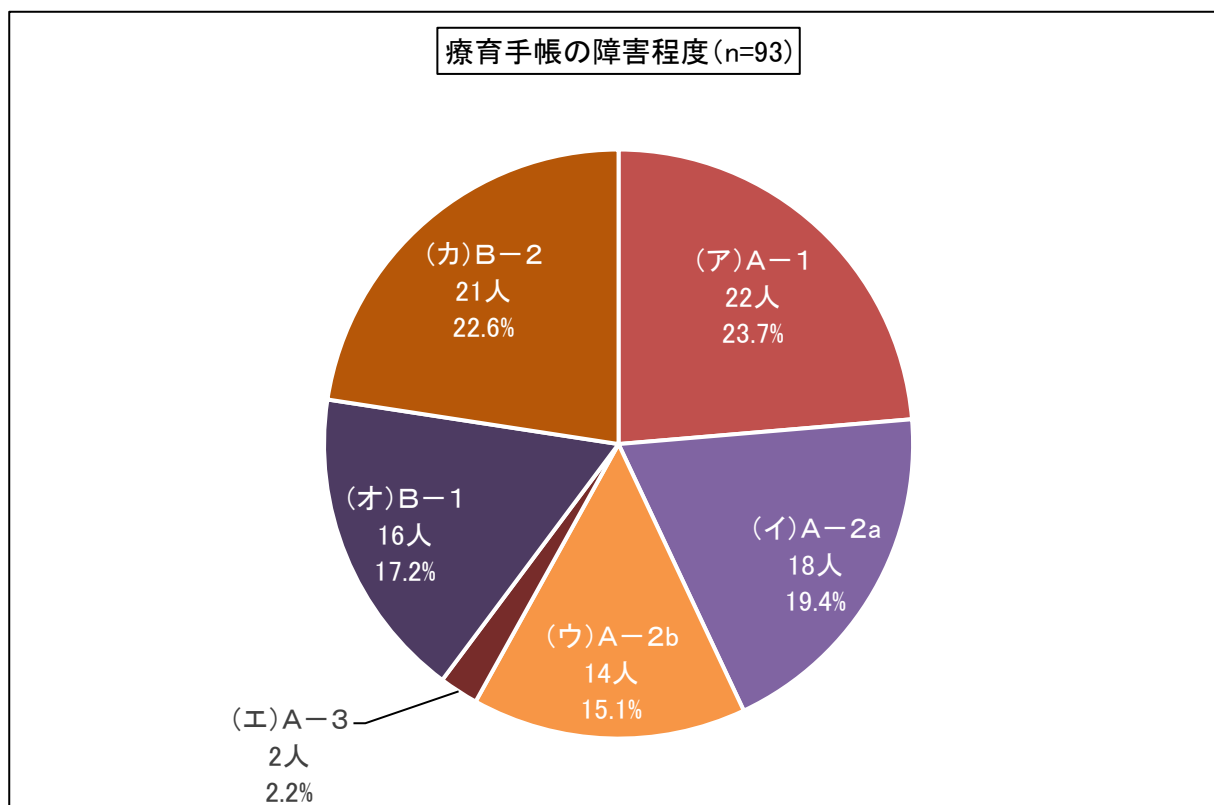


回答者のうち身体障害者手帳を所持していると答えた人に、障害の種別を尋ねたところ、「(エ) 肢体不自由」と答えた人の割合が 63.6%と最も多く、次いで「(ア) 視覚障害」(15.2%)、「(イ) 聴覚障害」、「(カ) 内部機能障害」がともに 10.6%の順となっている。

5 療育手帳をお持ちの方は障害程度についてお答えください。

次の（ア）～（カ）のうちから1つに○をしてください。

- （ア） A－1
- （イ） A－2a
- （ウ） A－2b
- （エ） A－3
- （オ） B－1
- （カ） B－2



回答者のうち療育手帳を所持していると答えた人に、障害程度を尋ねたところ、A－1が23.7%（22人）、B－2が22.6%（21人）とほぼ半数を占めている。

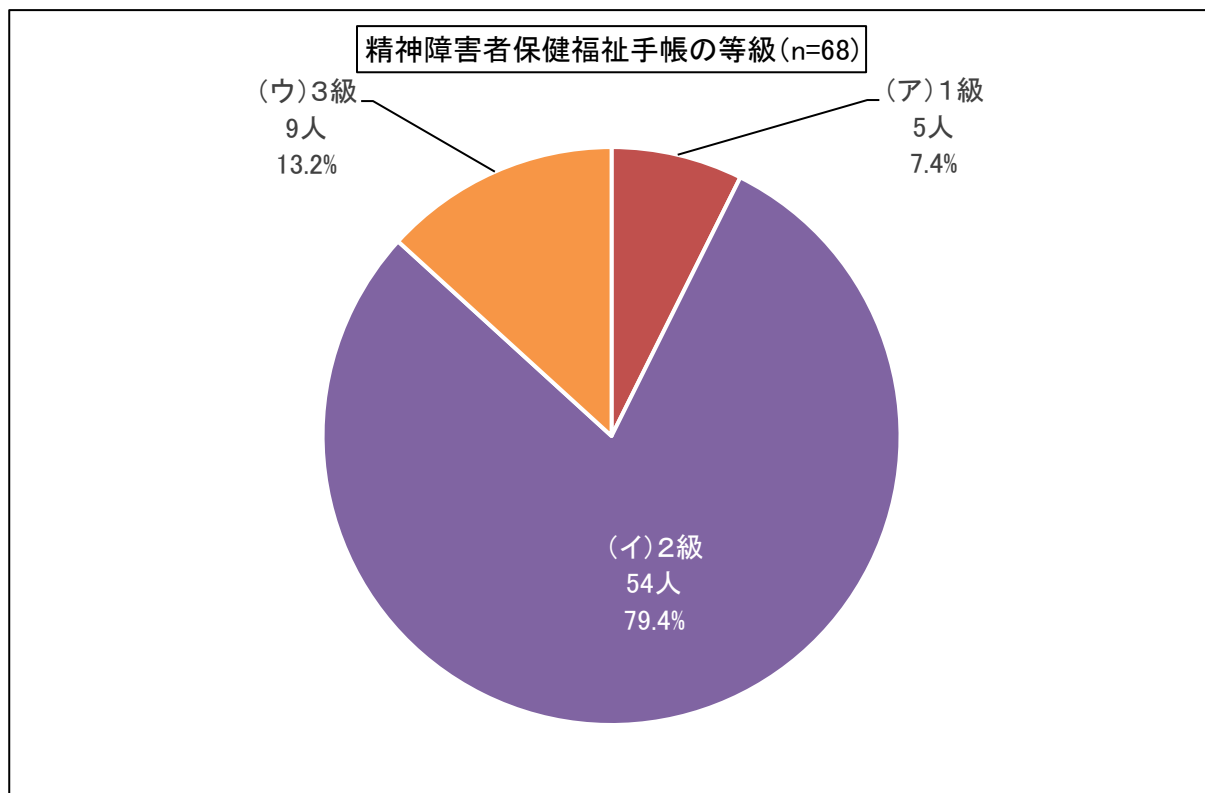
6 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は等級についてお答えください。

次の（ア）～（ウ）のうちから1つに○をしてください。

（ア） 1級

（イ） 2級

（ウ） 3級



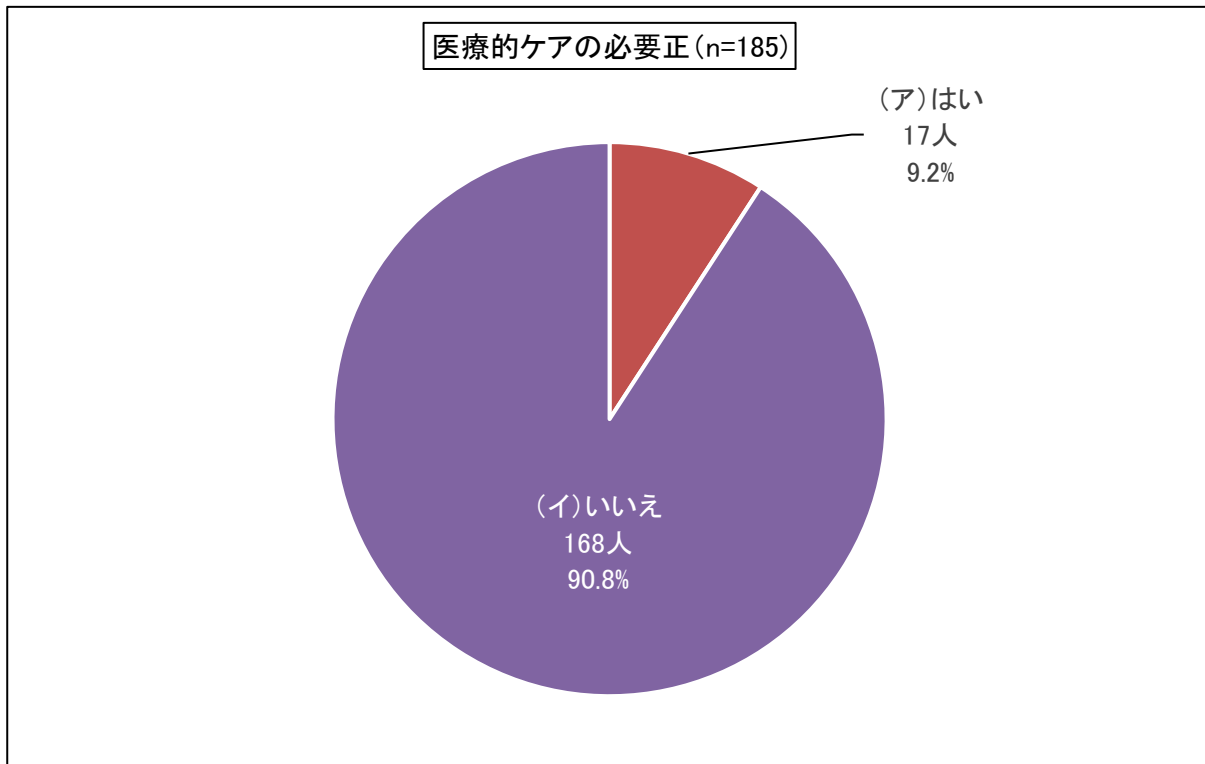
回答者のうち精神障害者保健福祉手帳を所持していると答えた人に、手帳の等級について尋ねたところ、2級が79.4%（54人）、3級が13.2%（9人）、1級が7.4%（5人）となっている。

7 あなたは、日常的に痰<sup>たん</sup>の吸引や胃ろうなどの医療的ケアを必要としていますか。【全員回答】

次の（ア）・（イ）のうちどちらかに○をしてください。

（ア）はい → 8へ進む

（イ）いいえ → 「問2」1へ進む

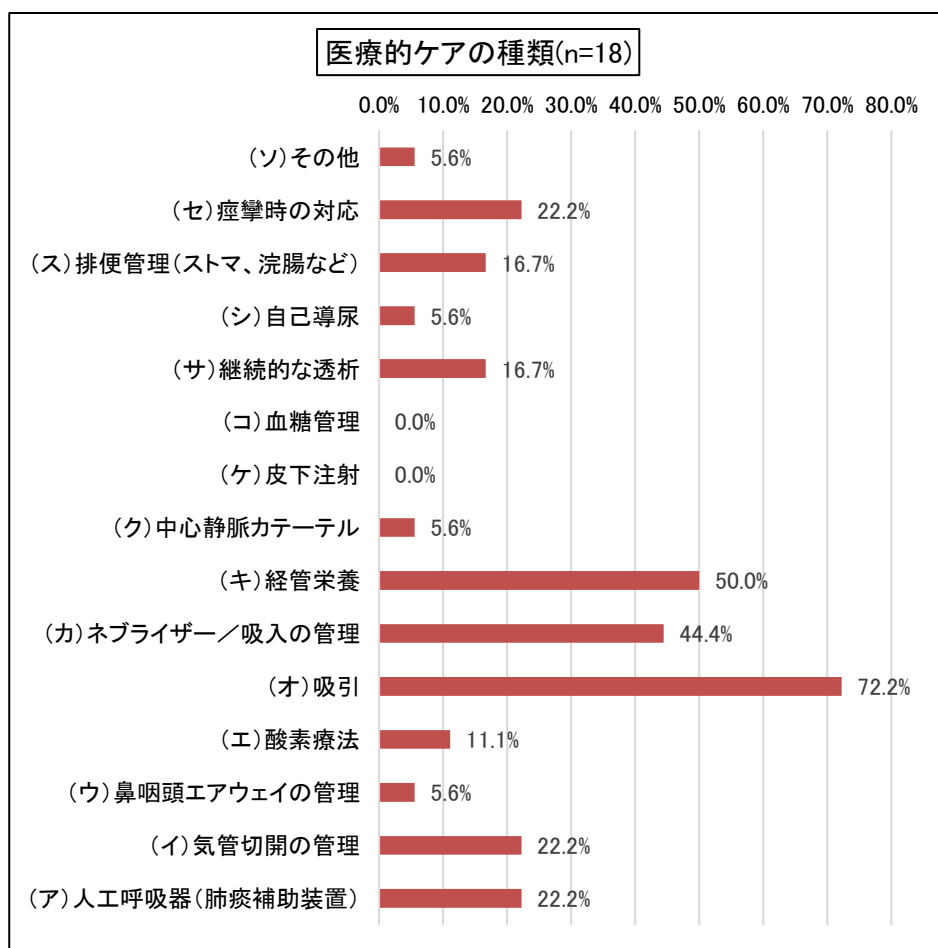


日常的に痰<sup>たん</sup>の吸引や胃ろうなどの医療的ケアを必要としているか尋ねたところ、「必要とする」と答えた人の割合が9.2%、「必要としない」と答えた人の割合が90.8%となっている。

8 7で「(ア) はい」を選択した方のみ、お答えください。

あなたの必要としている医療的ケアはどのようなものですか。次の(ア)～(ソ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 人工呼吸器（肺痰補助装置）
- (イ) 気管切開の管理
- (ウ) 鼻咽頭エアウェイの管理
- (エ) 酸素療法
- (オ) 吸引
- (カ) ネブライザー／吸入の管理
- (キ) 経管栄養
- (ク) 中心静脈カテーテル
- (ケ) 皮下注射
- (コ) 血糖管理
- (サ) 継続的な透析
- (シ) 自己導尿
- (ス) 排便管理（ストマ、浣腸など）
- (セ) 痙攣時の対応
- (ソ) その他〔具体的に記入： ]



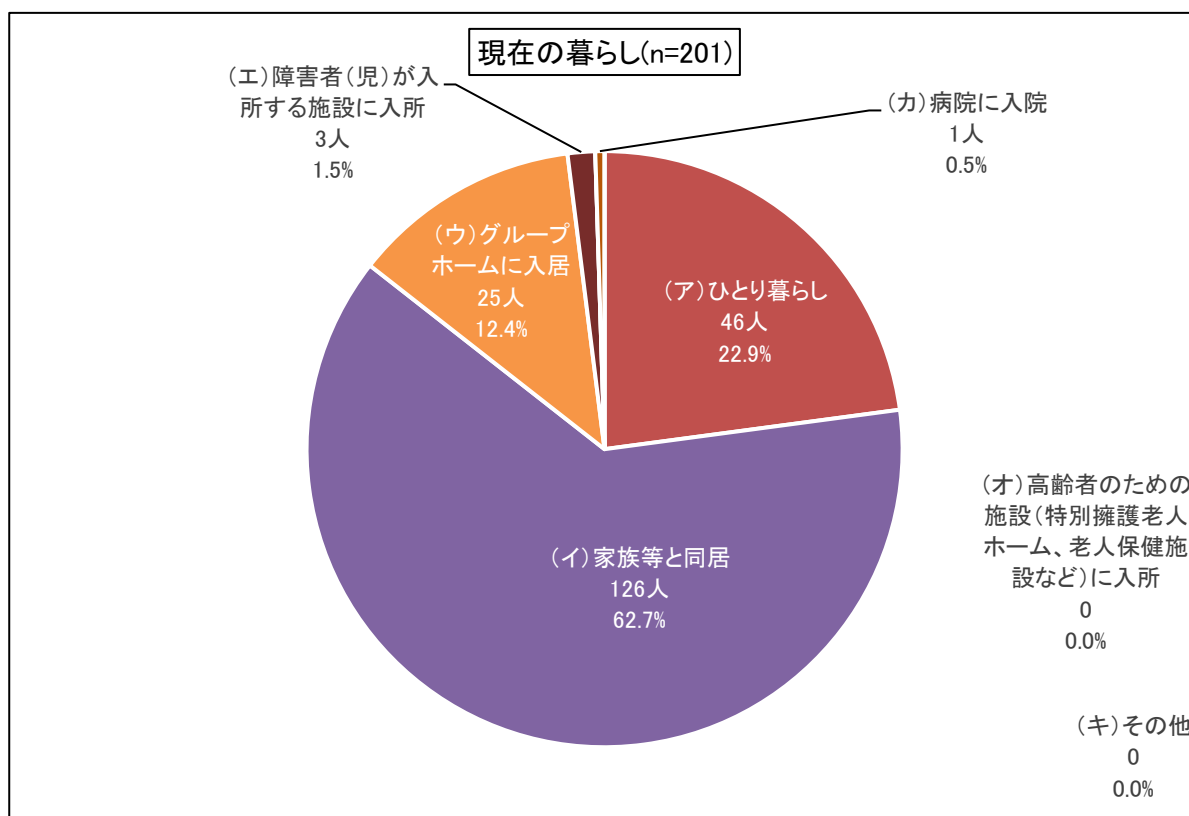
回答者のうち必要としている医療的ケアについて尋ねたところ、(オ) 吸引が 72.2%、(キ) 経管栄養 50.0%、(カ) ネブライザー／吸入の管理 44.4%となっている。

問2 お住まい

1 あなたは、現在どのように暮らしていますか。【全員回答】

次の（ア）～（キ）のうちから1つに○をしてください。

- （ア）ひとり暮らし
- （イ）家族等と同居
- （ウ）グループホームに入居
- （エ）障害者（児）が入所する施設に入所
- （オ）高齢者のための施設（特別擁護老人ホーム、老人保健施設など）に入所
- （カ）病院に入院
- （キ）その他 [具体的に記入： ]



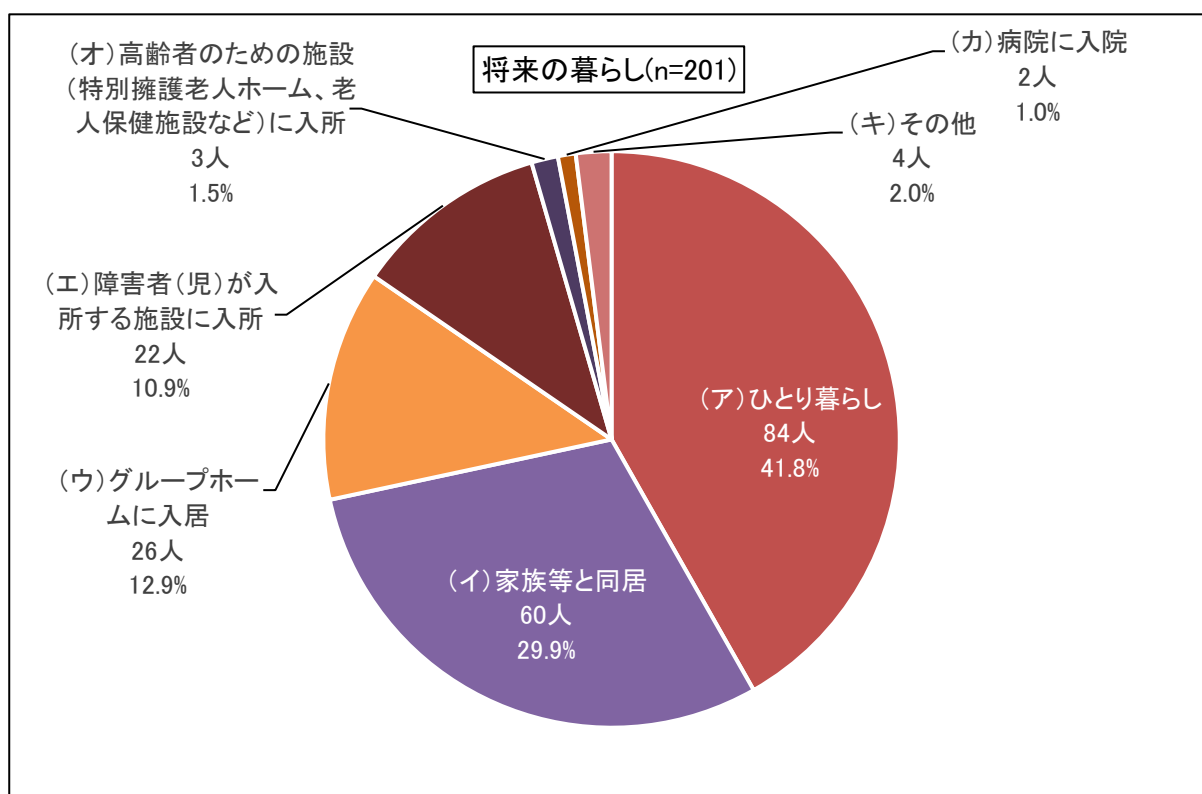
回答者の現在の暮らしについて尋ねたところ、家族等と同居が62.7.0%（126人）、ひとり暮らしが22.9%（46人）と全体の8割以上を占めている。



2 将来どのように暮らしたいですか。【全員回答】

次の（ア）～（キ）のうちから1つに○をしてください。

- （ア）ひとり暮らし
- （イ）家族等と同居
- （ウ）グループホームに入居
- （エ）障害者（児）が入所する施設に入所
- （オ）高齢者のための施設（特別擁護老人ホーム、老人保健施設など）に入所
- （カ）病院に入院
- （キ）その他 [具体的に記入： ]

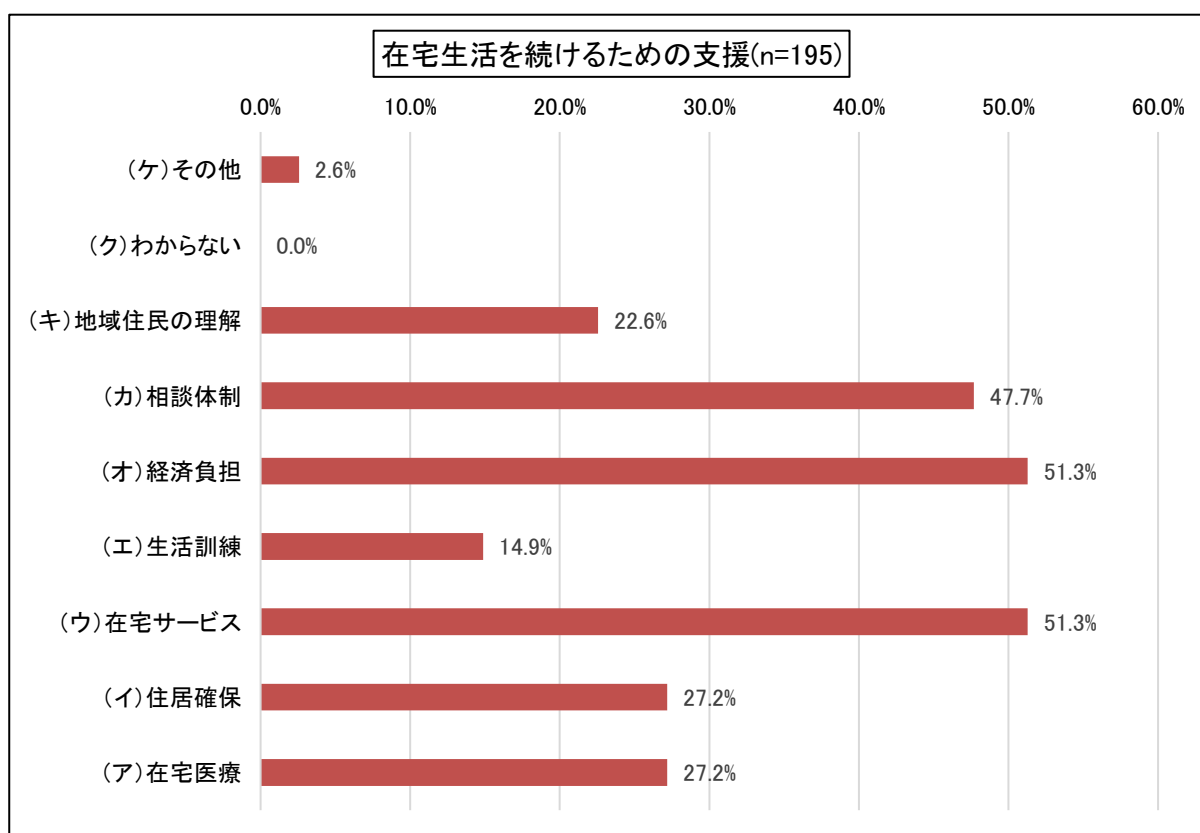


将来の暮らしについて回答者に尋ねたところ、ひとり暮らし 41.8%（84 人）、家族等と同居が 29.9%（60 人）と全体の 7 割強を占めている。

3 在宅生活を続けるためにどんな支援が必要だと思いますか。【全員回答】

次の（ア）～（ク）のうちから3つまで○をしてください。

- （ア）在宅医療
- （イ）住居確保
- （ウ）在宅サービス
- （エ）生活訓練
- （オ）経済負担
- （カ）相談体制
- （キ）地域住民の理解
- （ク）わからない
- （ケ）その他 [具体的に記入： ]



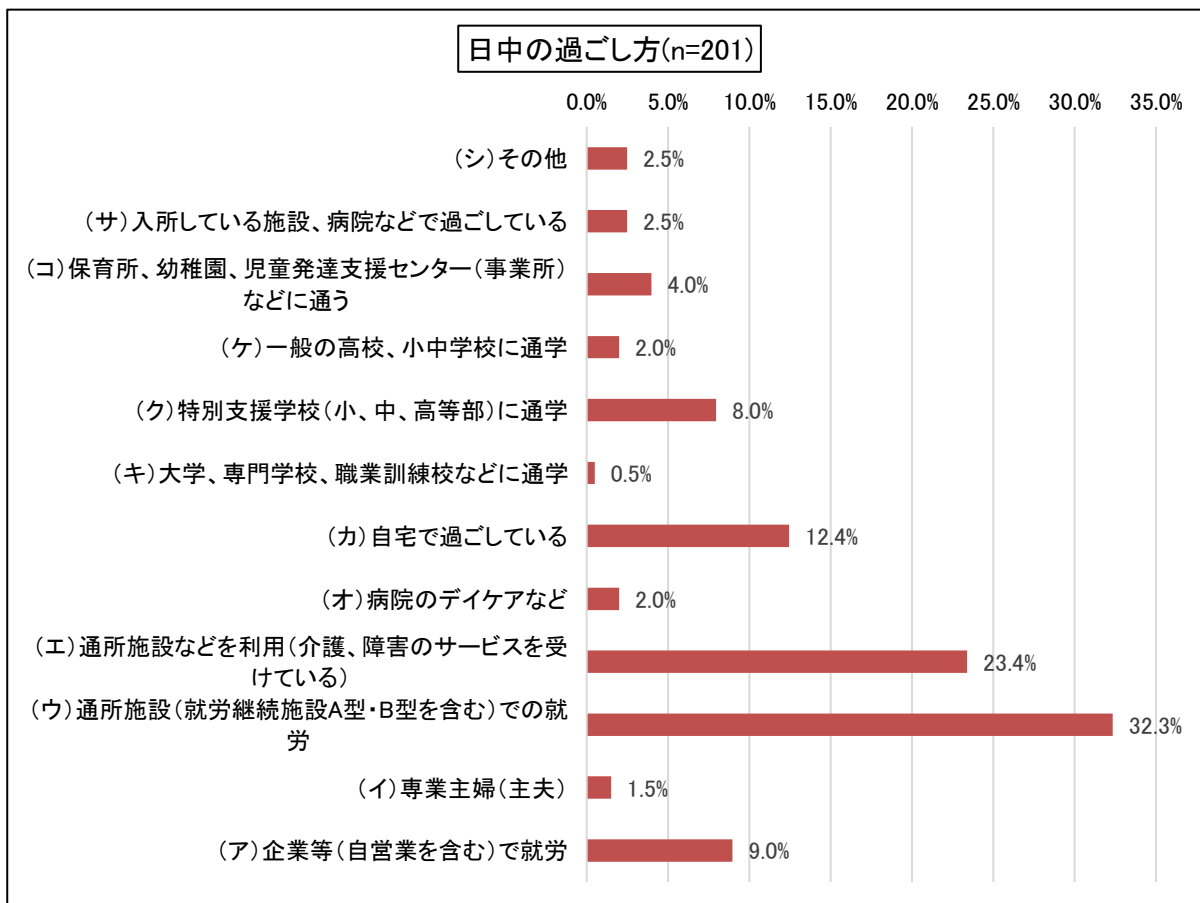
在宅生活を続けるための支援について回答者に尋ねたところ、「(ウ) 在宅サービス」、「(オ) 経済負担」と答えた人の割合がともに 51.3%と最も多く、次いで「(カ) 相談体制」(47.7%) の順となっている。

問3 日常生活

1 日中の過ごし方についてお答えください。

(1) あなたはこの1カ月の平日の日中(昼間)、主にどのようにお過ごしですか。【全員回答】  
次の(ア)～(シ)のうちから1つに○をしてください。

- (ア) 企業等(自営業を含む)で就労
- (イ) 専業主婦(主夫)
- (ウ) 通所施設(就労継続施設A型・B型を含む)での就労
- (エ) 通所施設などを利用(介護、障害のサービスを受けている)
- (オ) 病院のデイケアなど
- (カ) 自宅で過ごしている
- (キ) 大学、専門学校、職業訓練校などに通学
- (ク) 特別支援学校(小、中、高等部)に通学
- (ケ) 一般の高校、小中学校に通学
- (コ) 保育所、幼稚園、児童発達支援センター(事業所)などに通う
- (サ) 入所している施設、病院などで過ごしている
- (シ) その他〔具体的に記入： 〕



日中の過ごし方について回答者に尋ねたところ、「通所施設(就労継続施設A型・B型を含む)での就労」と答えた人の割合が32.3%と最も多く、次いで「通所施設などを利用(介護、障害のサービスを受けている)」(23.4%)、「自宅で過ごしている」(12.4%)の順となっている。

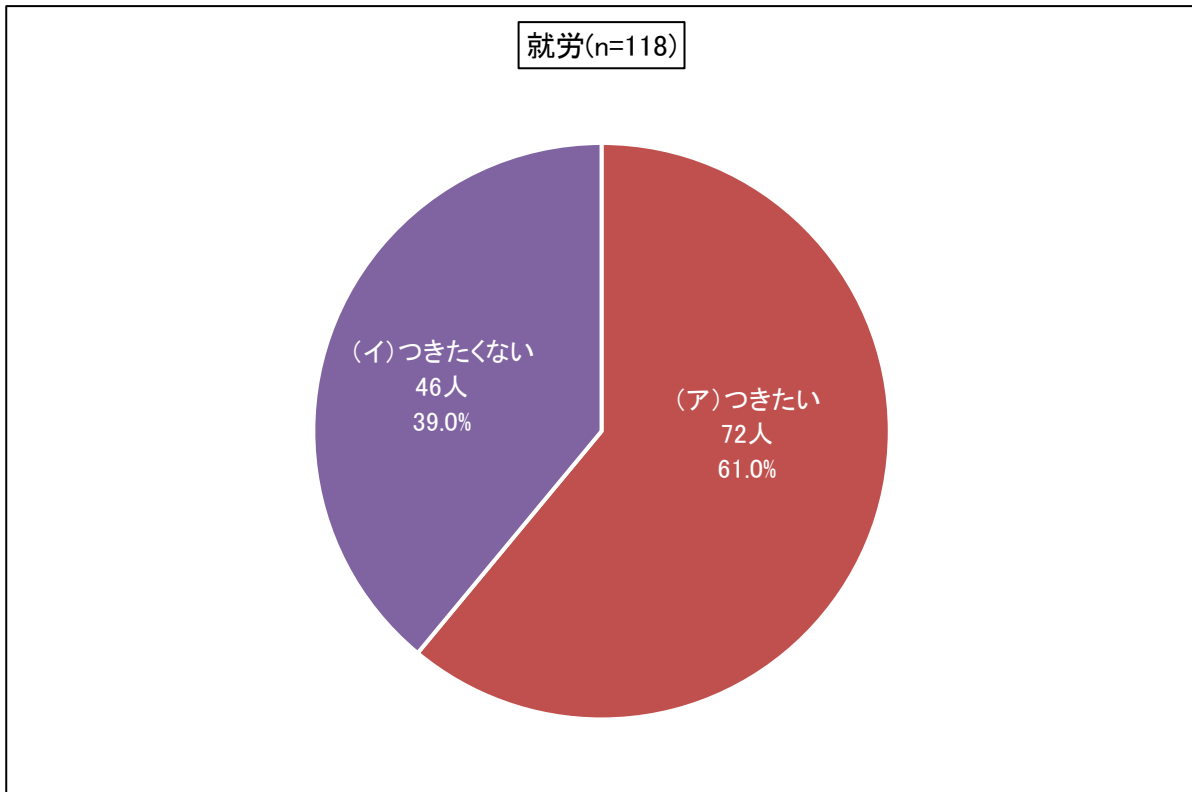
(2) (1) で「(ア) 企業等 (自営業を含む) で就労」を選択していない方のみ、お答えください。

あなたは、仕事につきたいですか。

次の (ア)・(イ) のうちどちらかに○をしてください。

(ア) つきたい

(イ) つきたくない

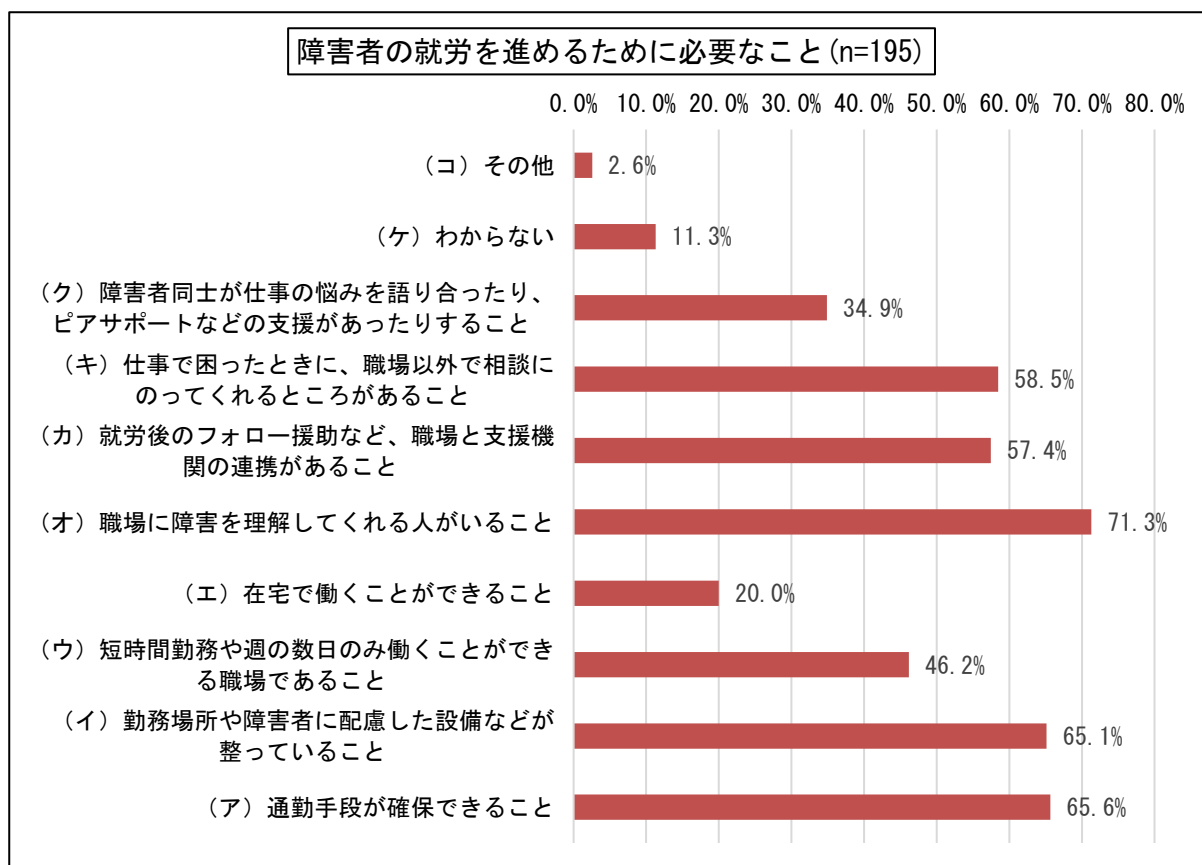


回答者のうち企業等 (自営業を含む) で就労」を選択していない人について、仕事に就きたいか尋ねたところ、「つきたい」61.0% (72人)、「つきたくない」39.0% (46人) となっている。

(3) 障害者の就労を進めるために、どんなことが必要だと思いますか。【全員回答】

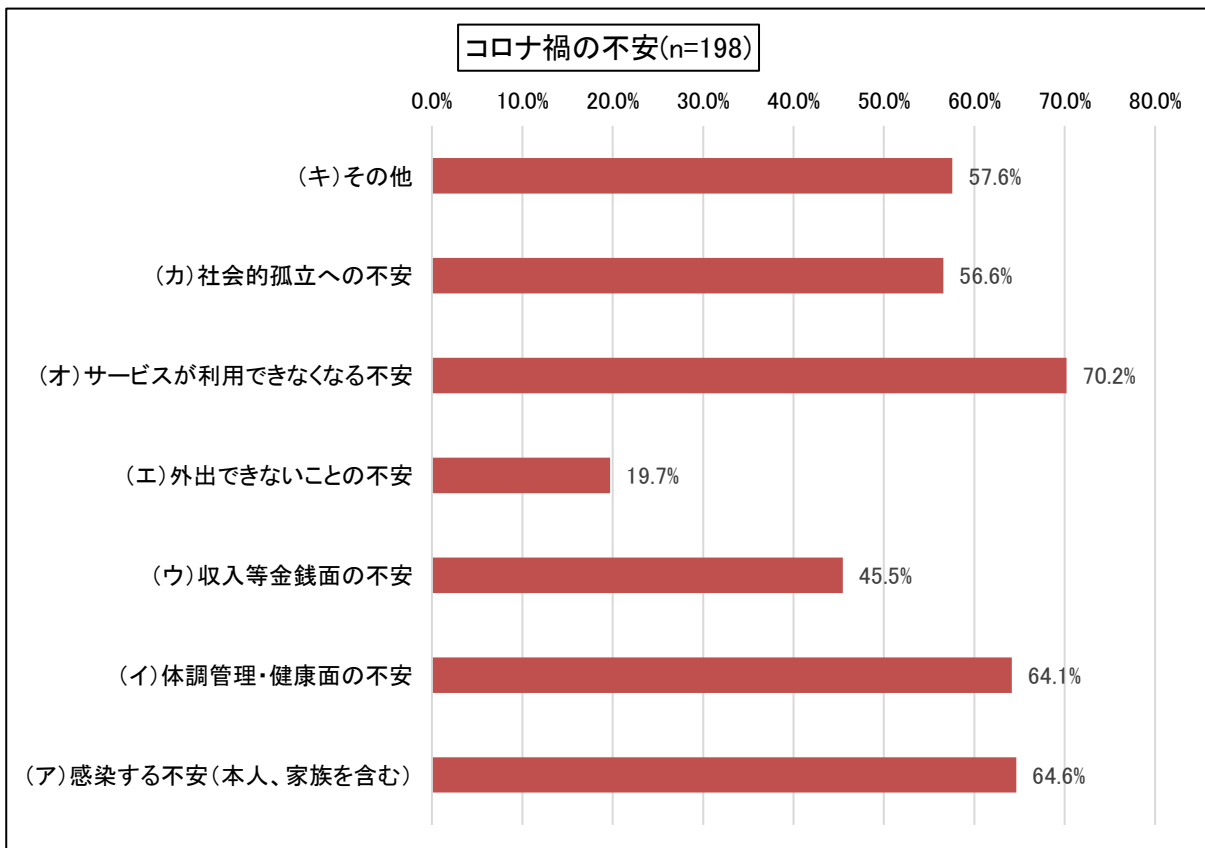
次の(ア)～(コ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 通勤手段が確保できること
- (イ) 勤務場所や障害者に配慮した設備などが整っていること
- (ウ) 短時間勤務や週の数日のみ働くことができる職場であること
- (エ) 在宅で働くことができること
- (オ) 職場に障害を理解してくれる人がいること
- (カ) 就労後のフォロー援助など、職場と支援機関の連携があること
- (キ) 仕事で困ったときに、職場以外で相談にのってくれるところがあること
- (ク) 障害者同士が仕事の悩みを語り合ったり、ピアサポートなどの支援があったりすること
- (ケ) わからない
- (コ) その他〔具体的に記入： 〕



回答者に障害者の就労を進めるために必要なことを尋ねたところ、「(オ) 職場に障害を理解してくれる人がいること」と答えた人の割合が71.3%と最も多く、次いで「(ア) 通勤手段が確保できること」(65.6%)、「(イ) 勤務場所や障害者に配慮した設備などが整っていること」(65.1%)、の順となっている。

- (4) あなたはコロナ禍においてどのようなことを不安に感じましたか。【全員回答】 次の(ア)～(キ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。
- (ア) 感染する不安(本人、家族を含む)
  - (イ) 体調管理・健康面の不安
  - (ウ) 収入等金銭面の不安
  - (エ) 外出できないことの不安
  - (オ) サービスが利用できなくなる不安
  - (カ) 社会的孤立への不安
  - (キ) その他 [具体的に記 : ]

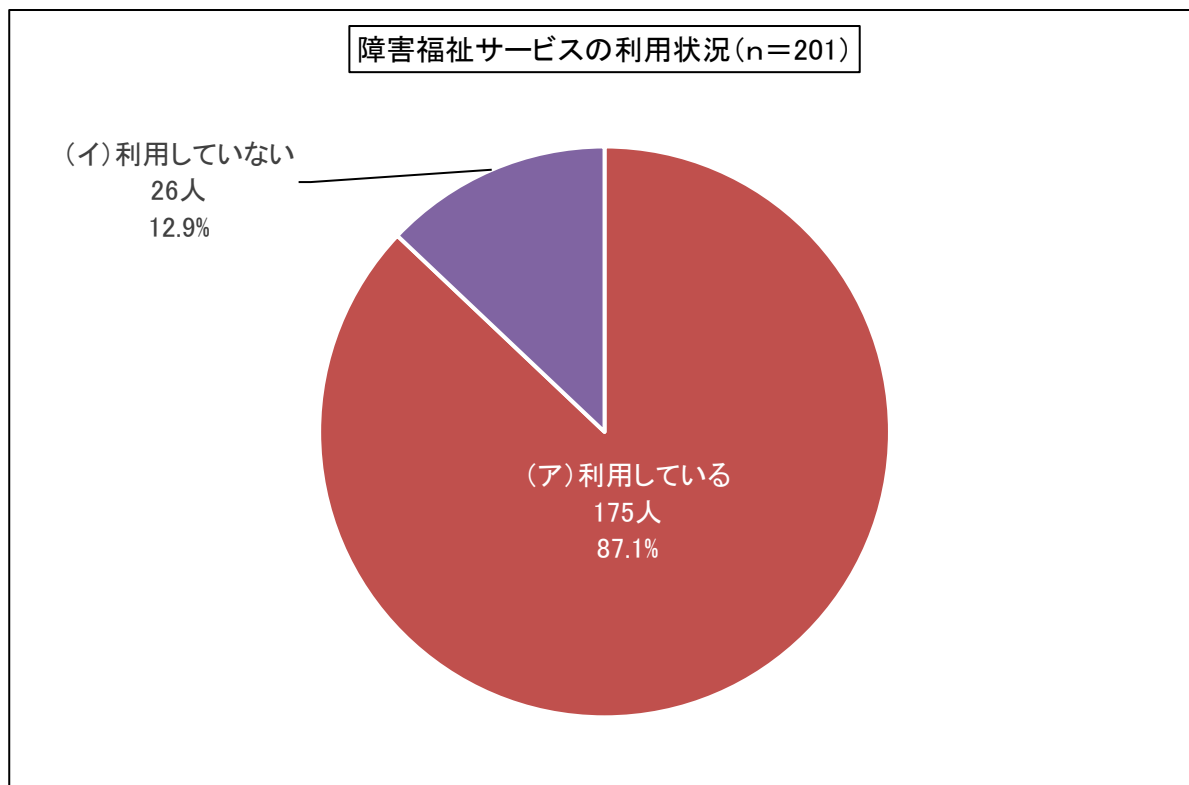


回答者にコロナ禍の不安を尋ねたところ、「(オ) サービスが利用できなくなる不安」と答えた人の割合が70.2%と最も多く、次いで「(ア) 感染する不安(本人、家族を含む)」(64.6%)、「(イ) 体調管理・健康面の不安」(64.1%)、の順となっている。

2 あなたは、現在、障害福祉サービスを利用していますか。【全員回答】

(ア) 利用している → (1) 及び (2) へ進む

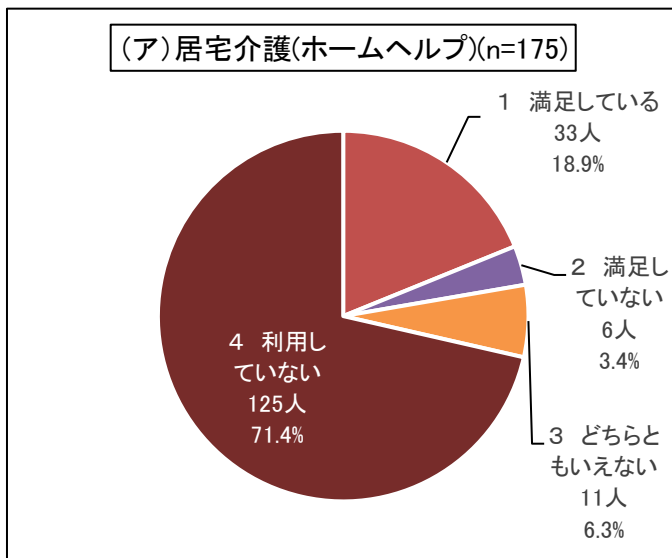
(イ) 利用していない → (2) へ進む



回答者に現在の障害福祉サービスを利用状況について尋ねたところ、「利用している」87.1% (175人)、「利用していない」12.9% (26人) となっている。

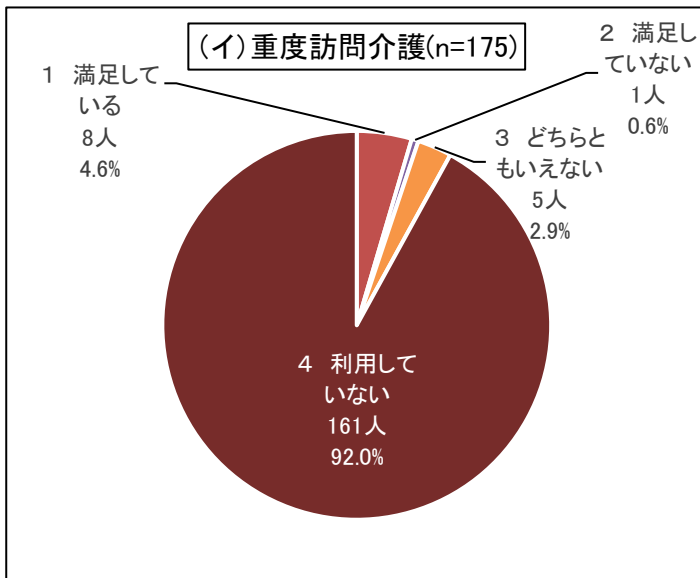
(1) サービスの種類毎に利用の有無や満足度について、当てはまる番号に○をつけてください。

	1 満足している	2 満足していない	3 どちらともいえない	4 利用していない
(ア) 居宅介護(ホームヘルプ)	1	2	3	4
(イ) 重度訪問介護	1	2	3	4
(ウ) 行動援護	1	2	3	4
(エ) 同行援護	1	2	3	4
(オ) 重度障害者等包括支援	1	2	3	4
(カ) 短期入所(ショートステイ)	1	2	3	4
(キ) 療養介護	1	2	3	4
(ク) 生活介護	1	2	3	4
(ケ) 自立訓練(機能訓練・生活訓練)	1	2	3	4
(コ) 就労移行支援	1	2	3	4
(サ) 就労継続支援	1	2	3	4
(シ) 就労定着支援	1	2	3	4
(ス) 児童発達支援	1	2	3	4
(セ) 放課後等デイサービス	1	2	3	4
(ソ) 居宅訪問型児童発達支援	1	2	3	4
(タ) 保育所等訪問支援	1	2	3	4
(チ) 施設入所支援	1	2	3	4
(ツ) 共同生活援助(グループホーム)	1	2	3	4
(テ) 自立生活援助	1	2	3	4
(ト) 地域移行支援	1	2	3	4
(ナ) 地域定着支援	1	2	3	4
(ニ) 計画相談支援	1	2	3	4
(ヌ) 障害児相談支援	1	2	3	4
(ネ) その他[具体的に記入:]	1	2	3	4

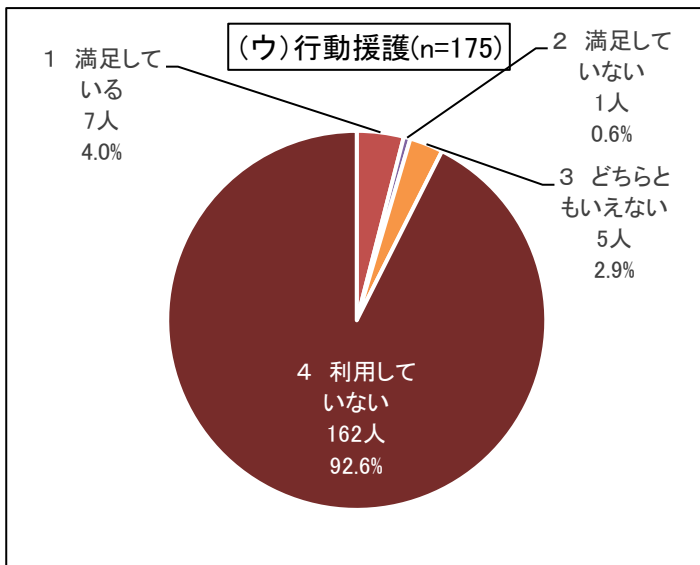


回答者の居宅介護(ホームヘルプ)の利用の有無について、50人が利用しており、そのうち33人が「満足している」となっている。

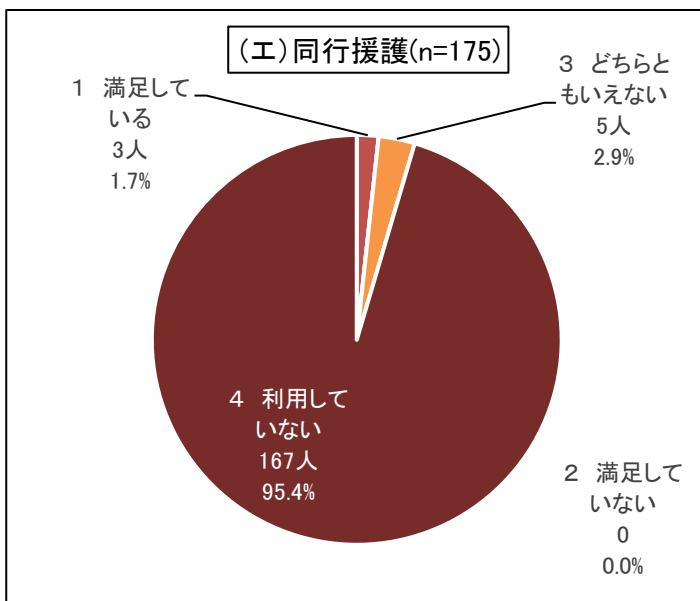




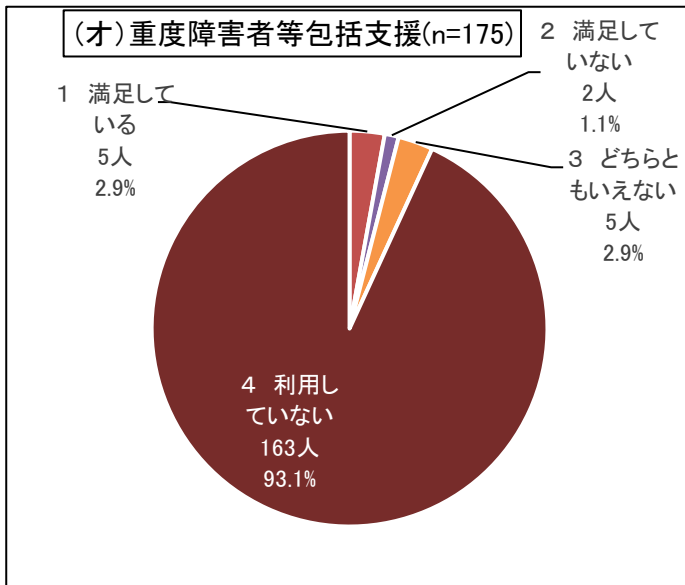
回答者の重度訪問介護の利用の有無について、14人が利用しており、そのうち8人が「満足している」となっている。



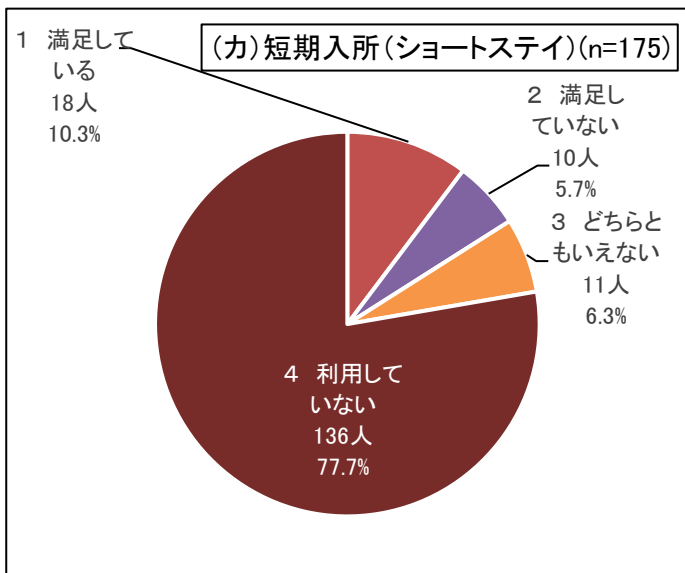
回答者の行動援護の利用の有無について、13人が利用しており、そのうち7人が「満足している」となっている。



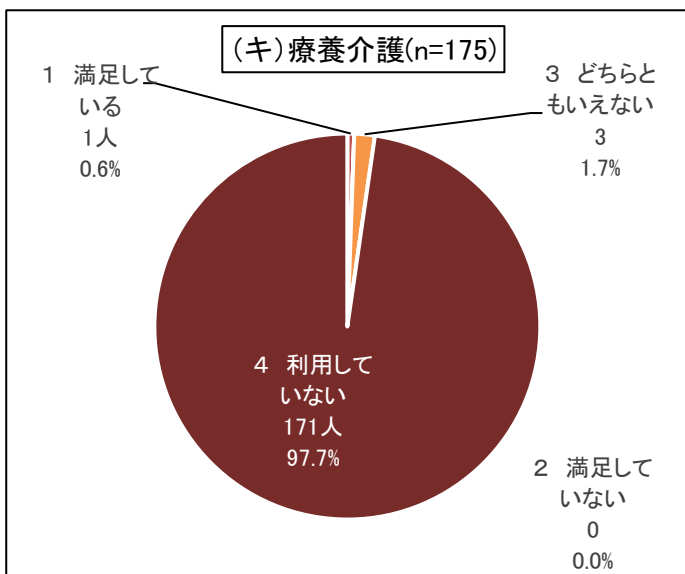
回答者の同行援護の利用の有無について、8人が利用しており、そのうち3人が「満足している」となっている。



回答者の重度障害者等包括支援の利用の有無について、12人が利用しており、そのうち5人が「満足している」となっている。

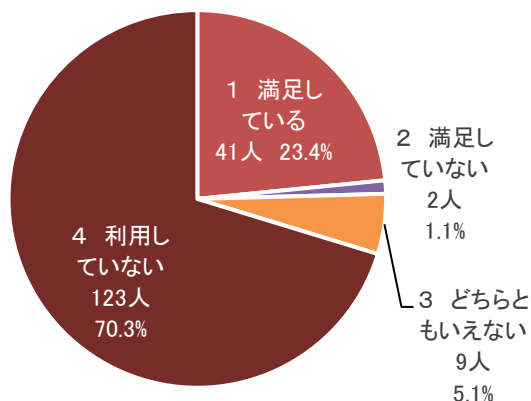


回答者の短期入所（ショートステイ）の利用の有無について、39人が利用しており、そのうち18人が「満足している」となっている。



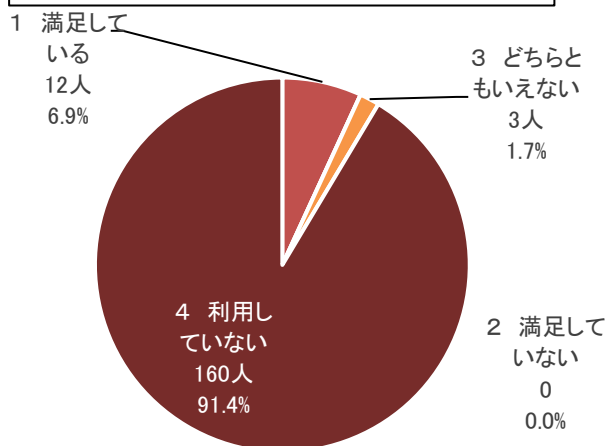
回答者の療養介護の利用の有無について、4人が利用しており、そのうち1人が「満足している」となっている。

(ク)生活介護(n=175)



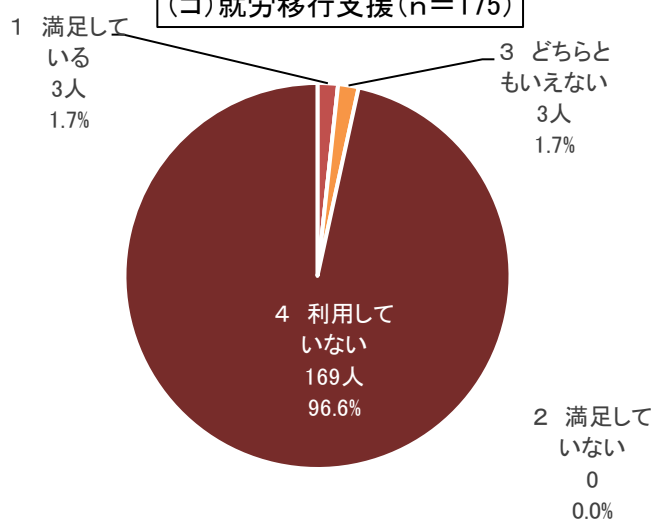
回答者の生活介護の利用の有無について、52人が利用しており、そのうち41人が「満足している」となっている。

(ケ)自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=175)



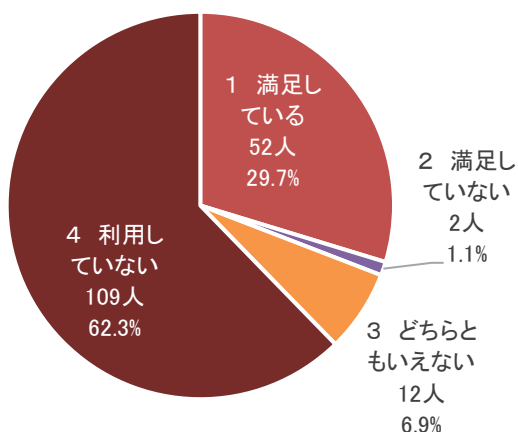
回答者の自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用の有無について、15人が利用しており、そのうち12人が「満足している」となっている。

(コ)就労移行支援(n=175)



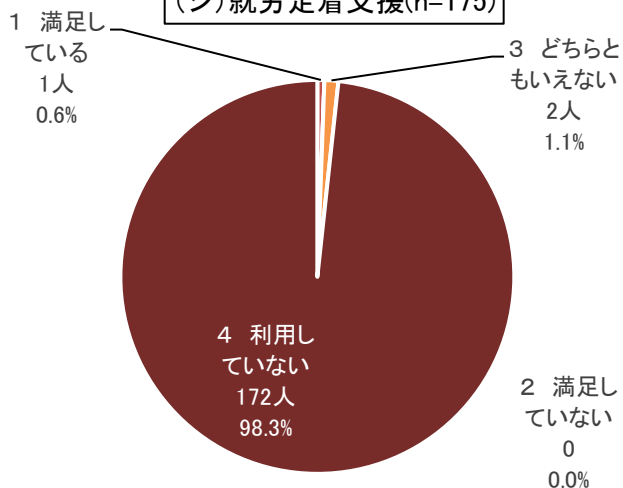
回答者の就労移行支援の利用の有無について、6人が利用しており、そのうち3人が「満足している」となっている。

(サ) 就労継続支援(n=175)



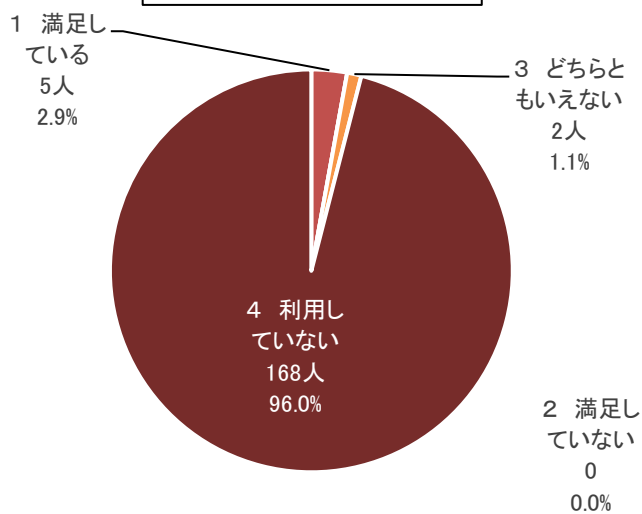
回答者の就労継続支援の利用の有無について、66人が利用しており、そのうち52人が「満足している」となっている。

(シ) 就労定着支援(n=175)

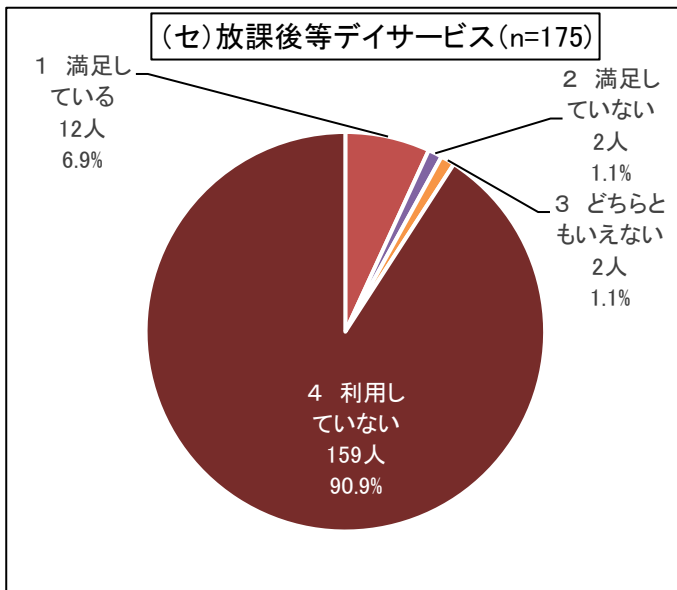


回答者の就労定着支援の利用の有無について、3人が利用しており、そのうち1人が「満足している」となっている。

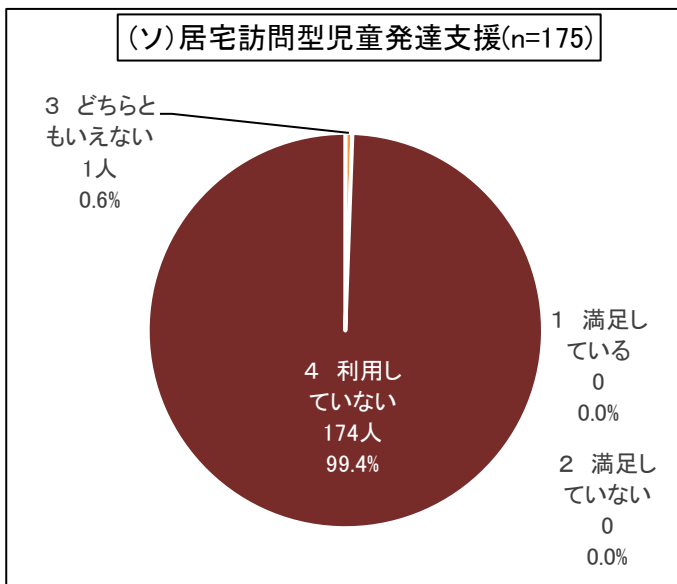
(ス) 児童発達支援(n=175)



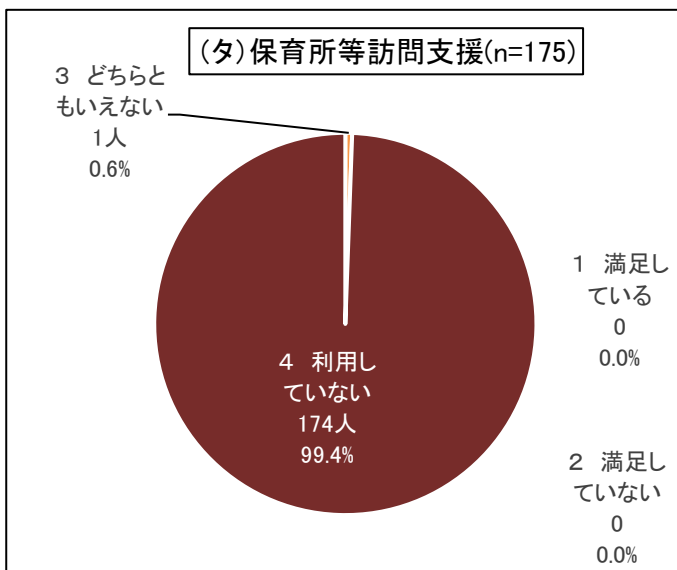
回答者の児童発達支援の利用の有無について、7人が利用しており、そのうち5人が「満足している」となっている。



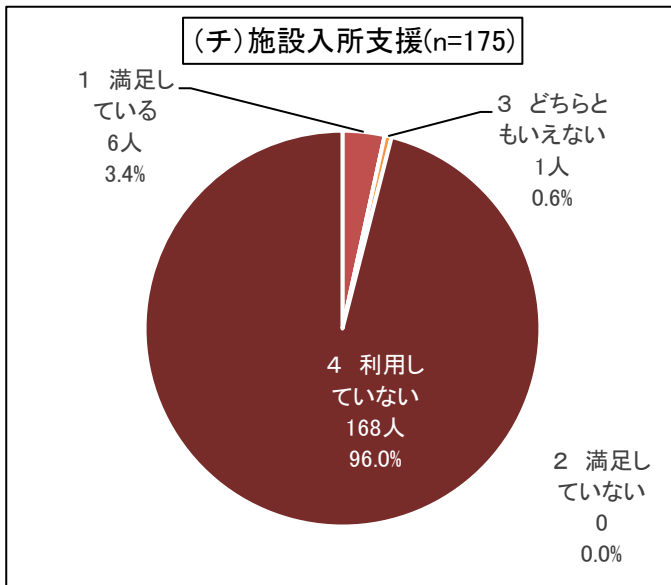
回答者の放課後等デイサービスの利用の有無について、16人が利用しており、そのうち12人が「満足している」となっている。



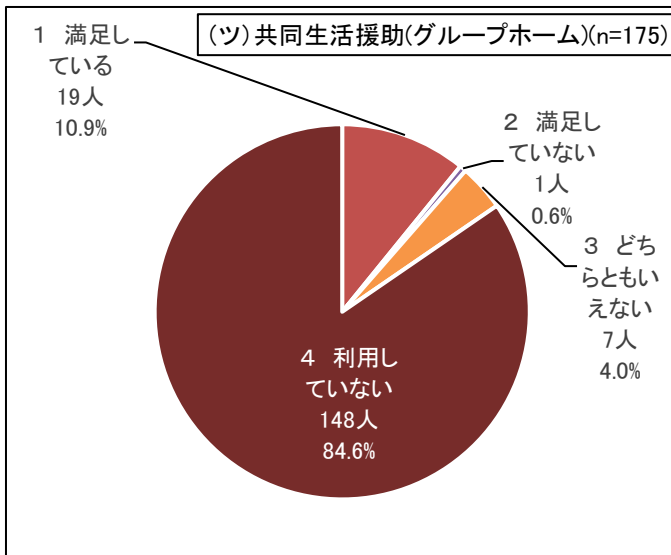
回答者の居宅訪問型児童発達支援の利用の有無について、1人が利用しており、「どちらともいえない」となっている。



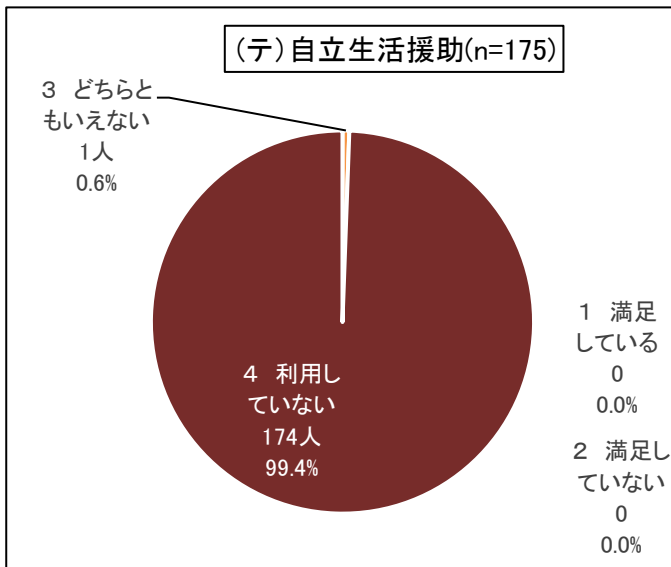
回答者の保育所等訪問支援の利用の有無について、1人が利用しており、その満足度は「どちらともいえない」となっている。



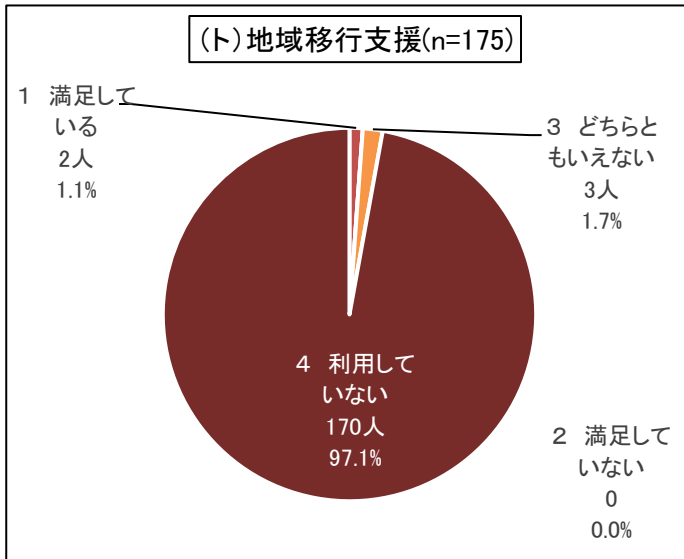
回答者の施設入所支援の利用の有無について、7人が利用しており、そのうち6人が「満足している」となっている。



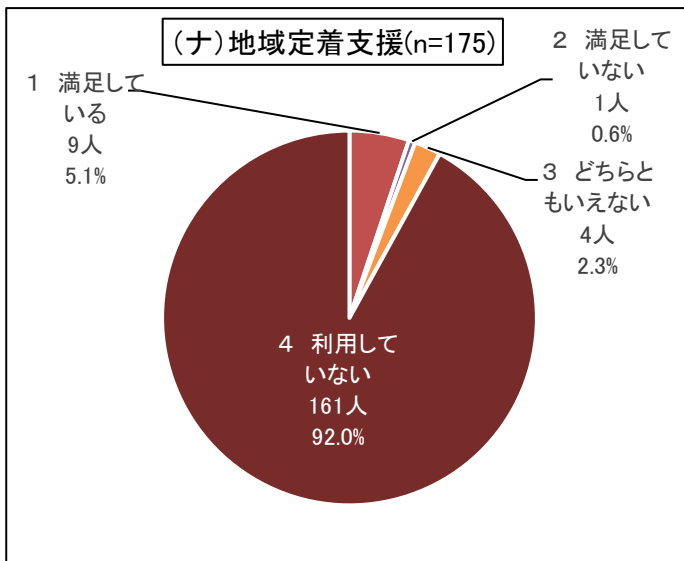
回答者の共同生活援助（グループホーム）の利用の有無について、27人が利用しており、そのうち19人が「満足している」となっている。



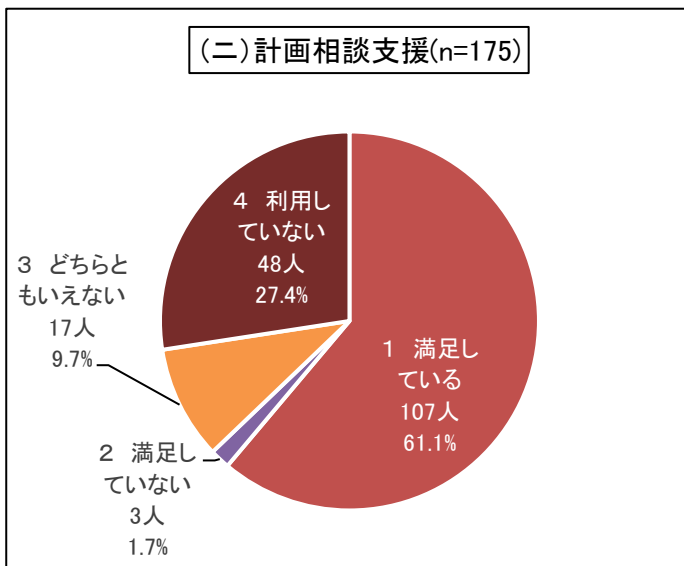
回答者の自立生活援助の利用の有無について、1人が利用しており、「どちらともいえない」となっている。



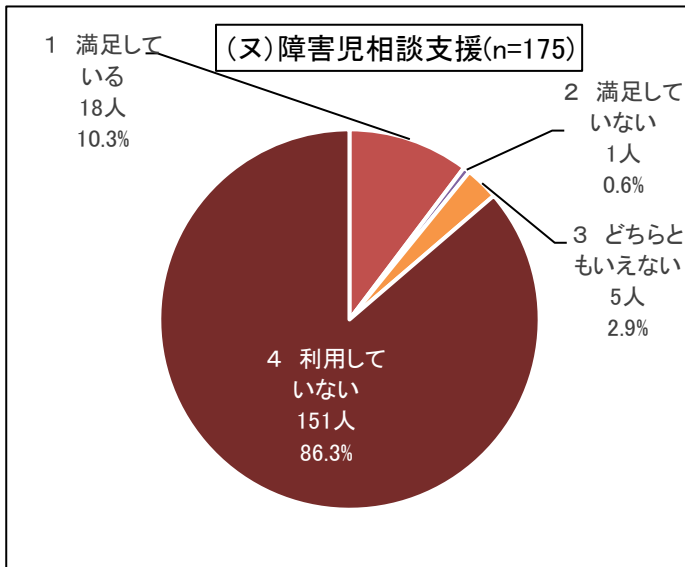
回答者の地域移行支援の利用の有無について、5人が利用しており、そのうち2人が「満足している」となっている。



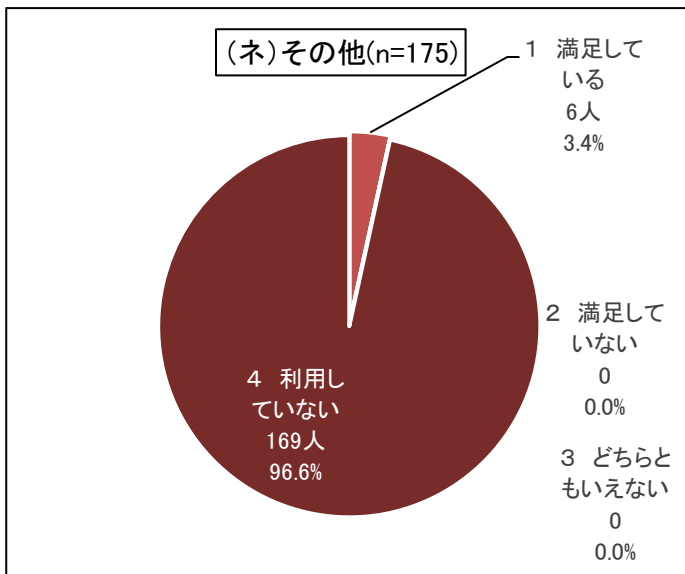
回答者の地域定着支援の利用の有無について、14人が利用しており、そのうち9人が「満足している」となっている。



回答者の計画相談支援の利用の有無について、127人が利用しており、そのうち107人が「満足している」となっている。



回答者の障害児相談支援の利用の有無について、24人が利用しており、そのうち18人が「満足している」となっている。

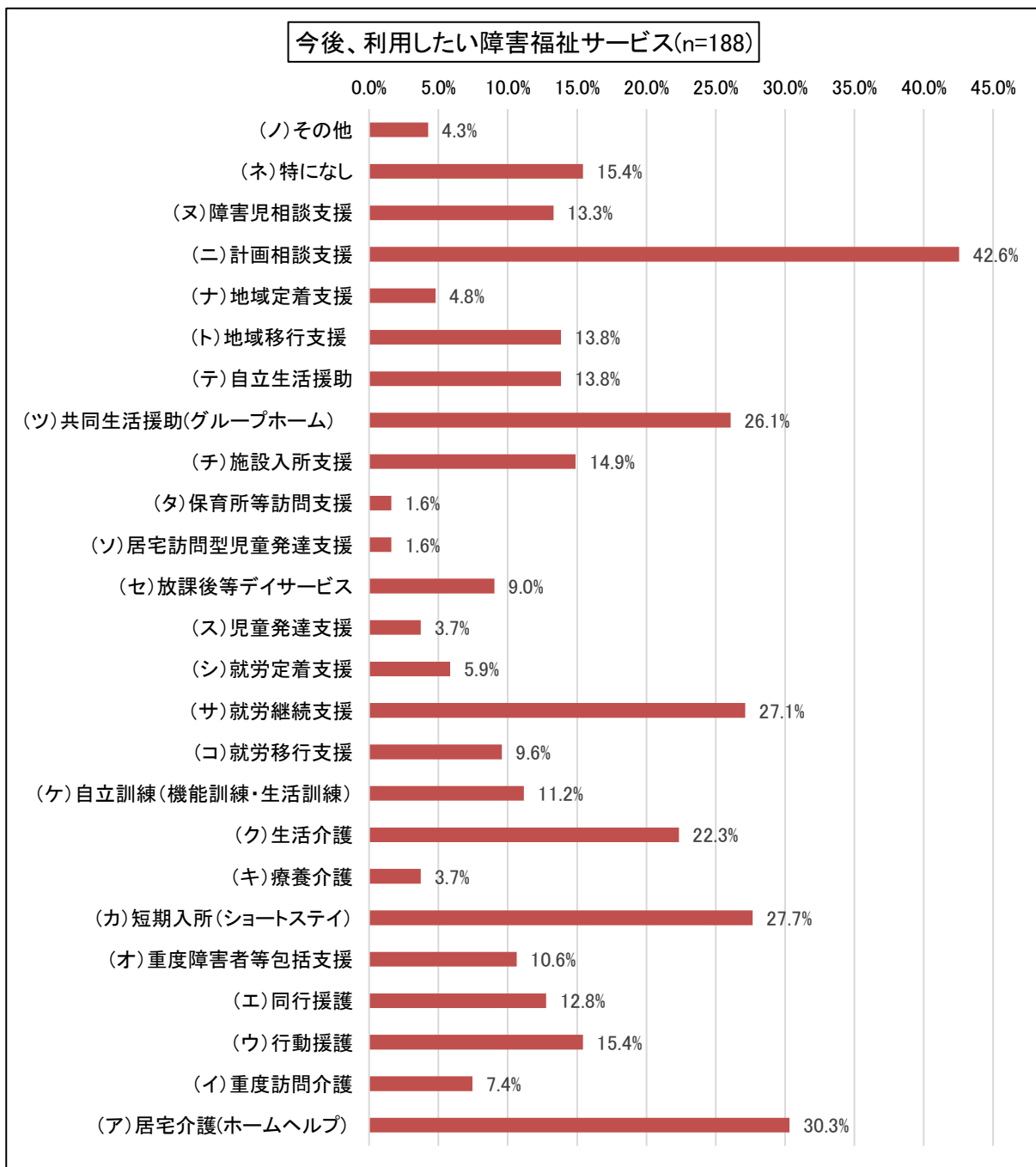




(2) あなたは、今後、どのような障害福祉サービスを利用したいですか。【全員回答】

次の(ア)～(ノ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 居宅介護(ホームヘルプ)
- (イ) 重度訪問介護
- (ウ) 行動援護
- (エ) 同行援護
- (オ) 重度障害者等包括支援
- (カ) 短期入所(ショートステイ)
- (キ) 療養介護
- (ク) 生活介護
- (ケ) 自立訓練(機能訓練・生活訓練)
- (コ) 就労移行支援
- (サ) 就労継続支援
- (シ) 就労定着支援
- (ス) 児童発達支援
- (セ) 放課後等デイサービス
- (ソ) 居宅訪問型児童発達支援
- (タ) 保育所等訪問支援
- (チ) 施設入所支援
- (ツ) 共同生活援助(グループホーム)
- (テ) 自立生活援助
- (ト) 地域移行支援
- (ナ) 地域定着支援
- (ニ) 計画相談支援
- (ヌ) 障害児相談支援
- (ネ) 特になし
- (ノ) その他 [具体的に記入 : ]

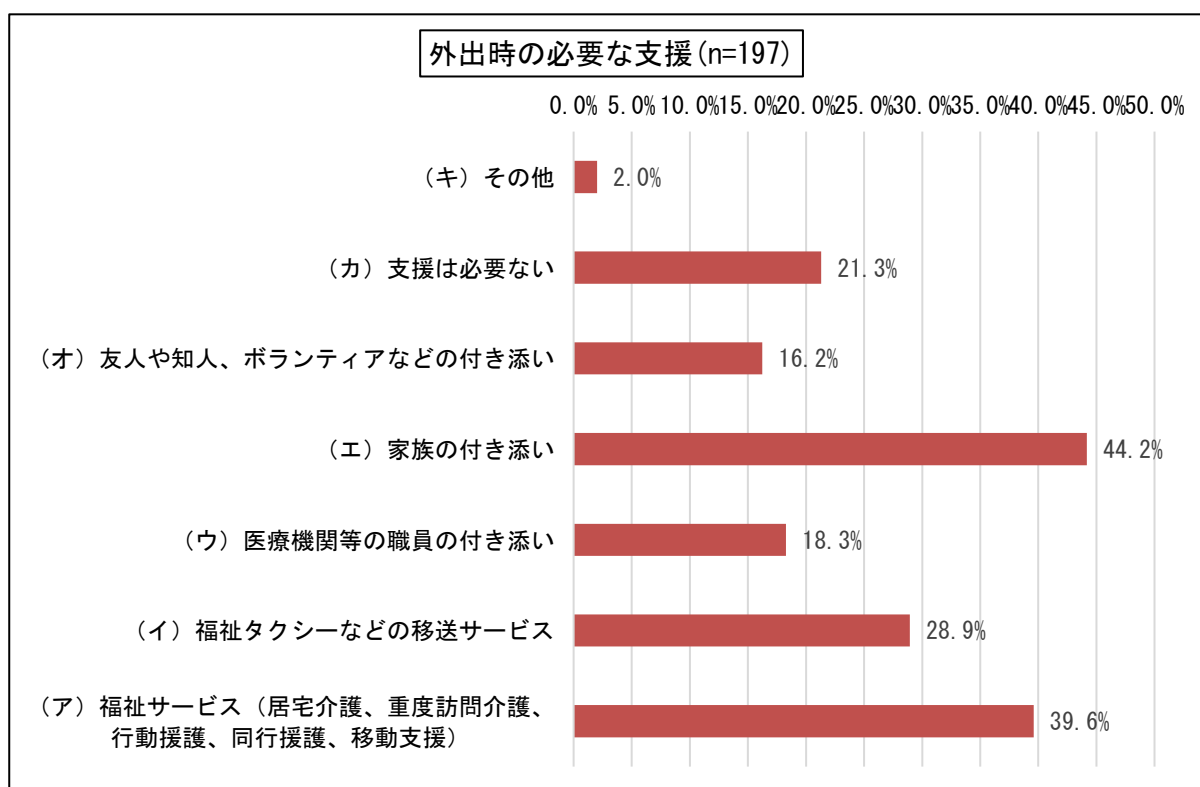


回答者に今後、利用したい障害福祉サービスについて尋ねたところ、「(ニ) 計画相談支援」と答えた人の割合が42.6%と最も多く、次いで「(ア) 居宅介護(ホームヘルプ)」(30.3%)、「(カ) 短期入所(ショートステイ)」(27.7%)、の順となっている。

3 あなたが外出する場合、どのような支援が必要ですか。【全員回答】

次の（ア）～（キ）のうちから3つまで○をしてください。

- （ア）福祉サービス（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援）
- （イ）福祉タクシーなどの移送サービス
- （ウ）医療機関等の職員の付き添い
- （エ）家族の付き添い
- （オ）友人や知人、ボランティアなどの付き添い
- （カ）支援は必要ない
- （キ）その他 [具体的に記入： ]



回答者に外出時に必要な支援について尋ねたところ、「(エ) 家族の付き添い」と答えた人の割合が44.2%と最も多く、次いで「(ア) 福祉サービス (居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援)」(39.6%)、(イ) 福祉タクシーなどの移送サービス (28.9%)、の順となっている。

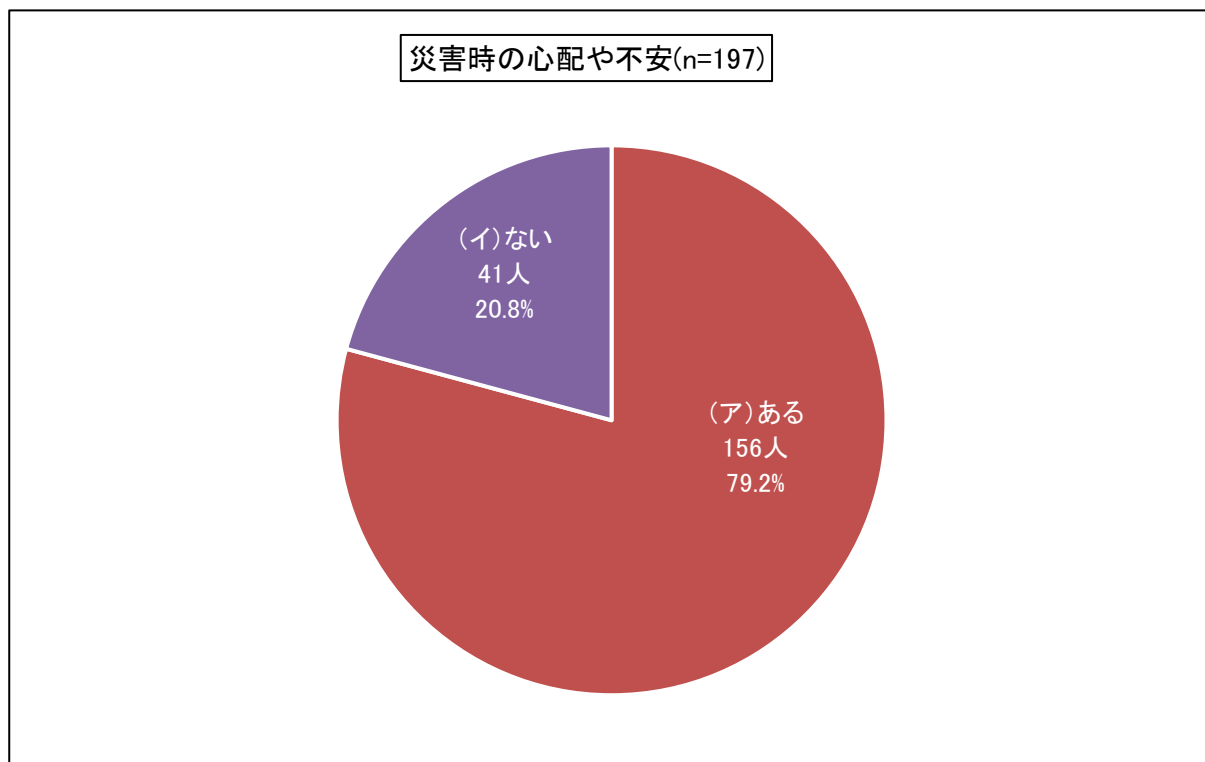
#### 問4 防災対策への不安

1 あなたは、地震や台風などの災害が起きた場合、心配や不安なことがありますか。【全員回答】

次の（ア）・（イ）のうちどちらかに○をしてください。

（ア）ある →2へ進む

（イ）ない →3へ進む

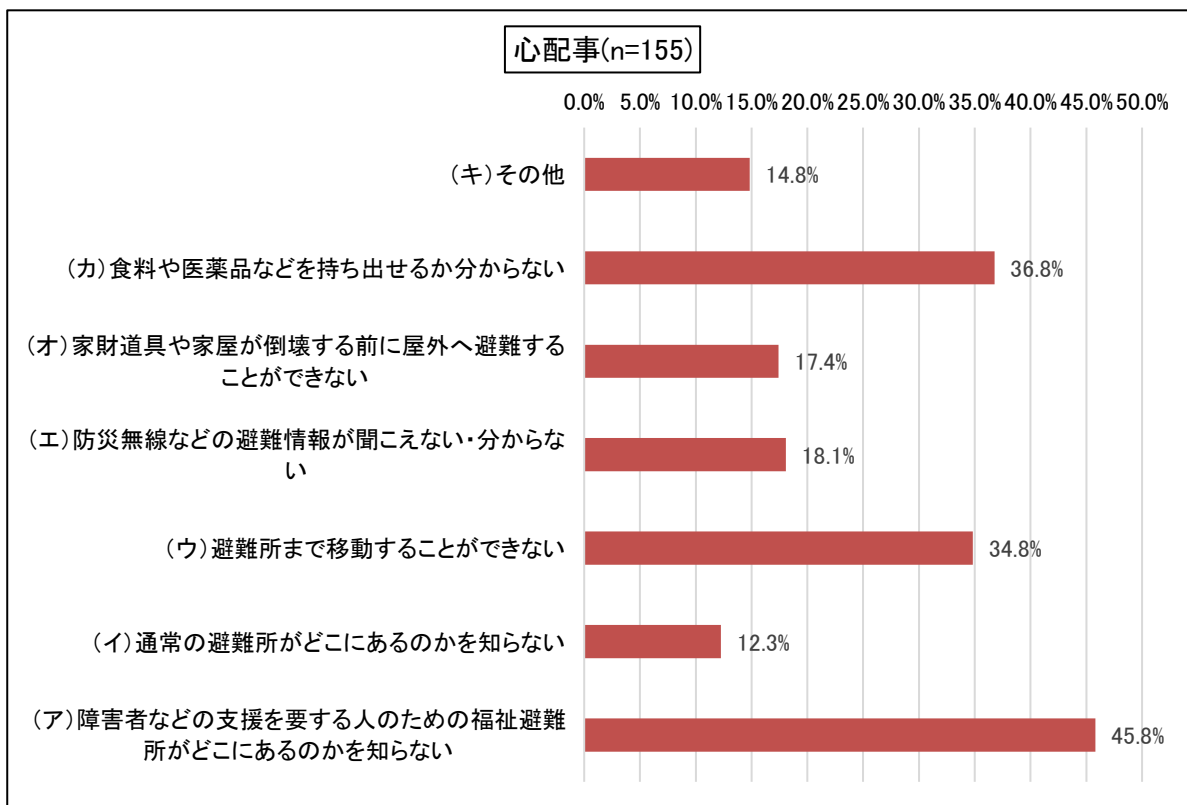


回答者に地震や台風などの災害が起きた場合、心配や不安なことについて尋ねたところ、「ある」79.2%（156人）、「ない」20.8%（41人）となっている。

2 1で「(ア) ある」と答えた方に伺います。どんな心配事がありますか。

次の(ア)～(キ)のうちから2つまで○をしてください。

- (ア) 障害者などの支援を要する人のための福祉避難所がどこにあるのかわからない
- (イ) 通常の避難所がどこにあるのかわからない
- (ウ) 避難所まで移動することができない
- (エ) 防災無線などの避難情報が聞こえない・分からない
- (オ) 家財道具や家屋が倒壊する前に屋外へ避難することができない
- (カ) 食料や医薬品などを持ち出せるかわからない
- (キ) その他 [具体的に記入 : ]

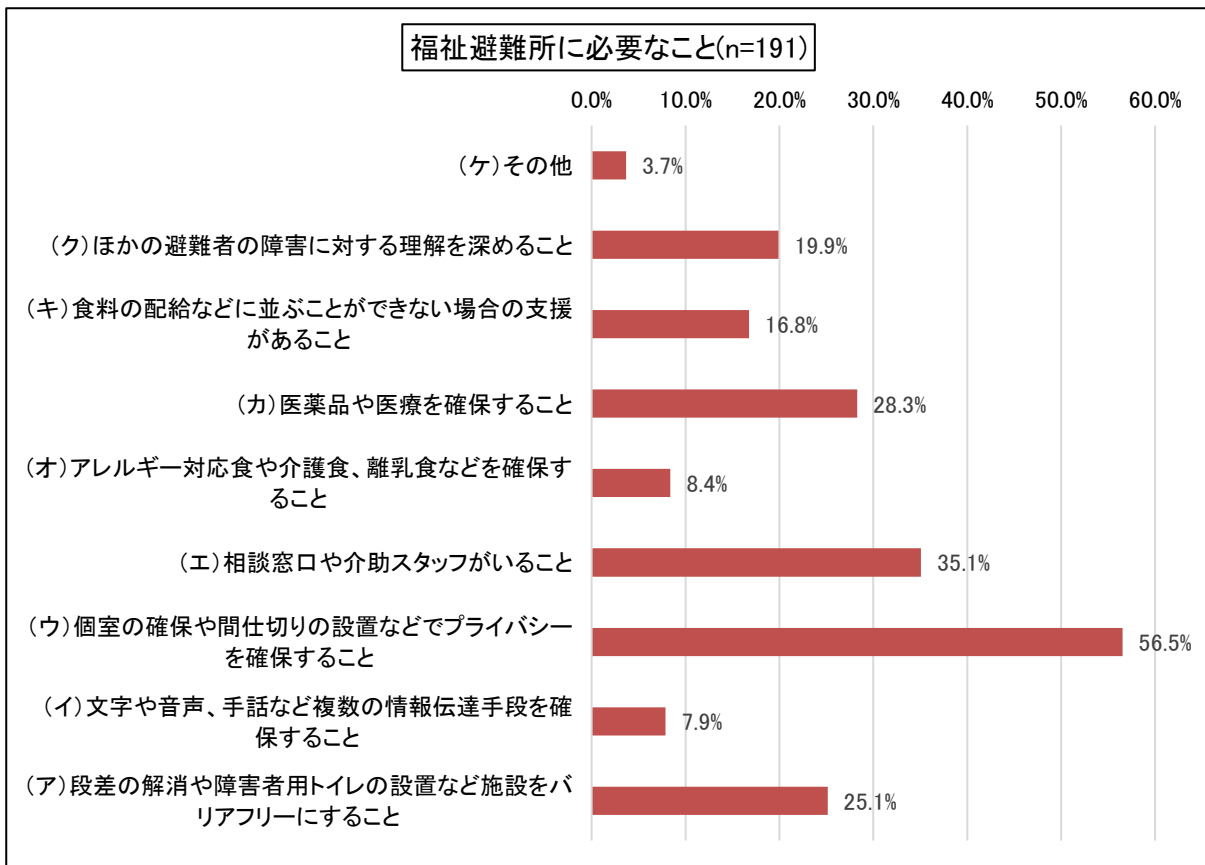


回答者に地震や台風などの災害が起きた場合、心配や不安なことが「ある」と答えた人に心配事について尋ねたところ、「(ア) 障害者などの支援を要する人のための福祉避難所がどこにあるのかわからない」と答えた人の割合が45.8%と最も多く、次いで「(カ) 食料や医薬品などを持ち出せるかわからない」(36.8%)、「(ウ) 避難所まで移動することができない」(34.8%)、の順となっている。

3 障害者など特別な支援を必要とする人を受け入れる福祉避難所には、どのようなことが必要だと思いますか。【全員回答】

次の（ア）～（ケ）のうちから2つまで○をしてください。

- （ア）段差の解消や障害者用トイレの設置など施設をバリアフリーにすること
- （イ）文字や音声、手話など複数の情報伝達手段を確保すること
- （ウ）個室の確保や間仕切りの設置などでプライバシーを確保すること
- （エ）相談窓口や介助スタッフがいること
- （オ）アレルギー対応食や介護食、離乳食などを確保すること
- （カ）医薬品や医療を確保すること
- （キ）食料の配給などに並ぶことができない場合の支援があること
- （ク）ほかの避難者の障害に対する理解を深めること
- （ケ）その他〔具体的に記入： ]



回答者に福祉避難所に必要なことについて尋ねたところ、「(ウ) 個室の確保や間仕切りの設置などでプライバシーを確保すること」と答えた人の割合が56.5%と最も多く、次いで「(エ) 相談窓口や介助スタッフがいること」(35.1%)、「(カ) 医薬品や医療を確保すること」(28.3%)、の順となっている。

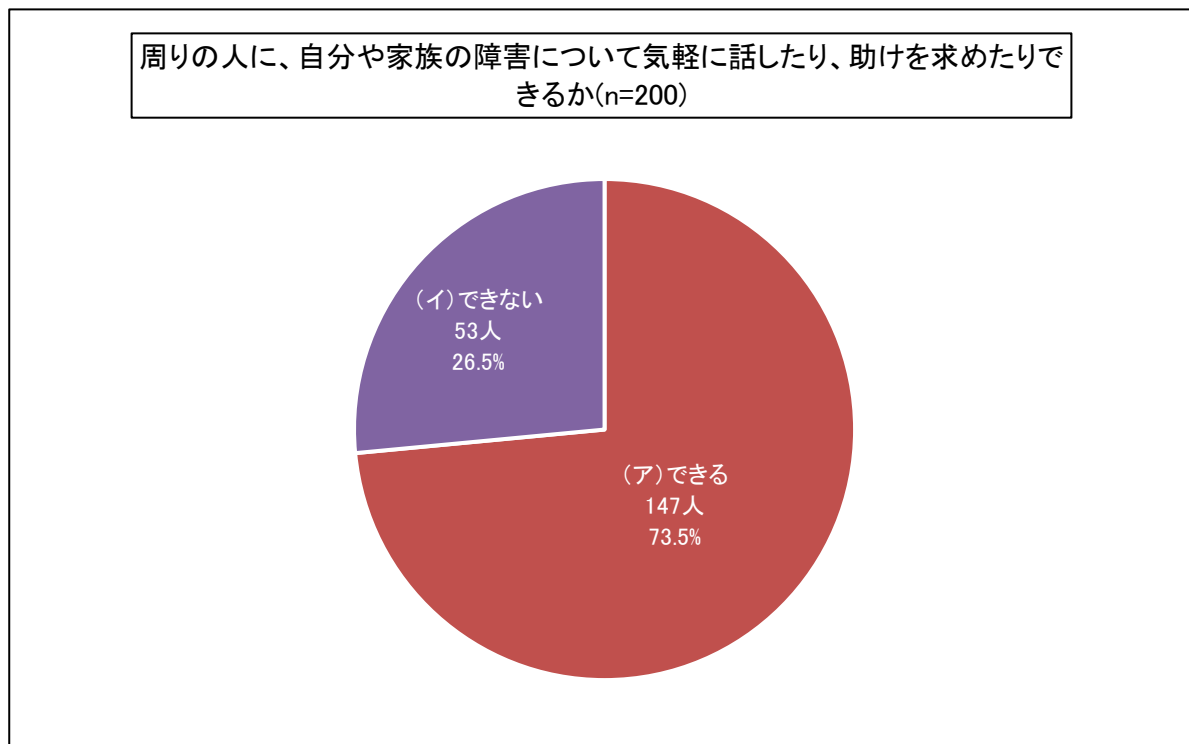
問5 人権や権利擁護等

1 あなたは周りの人に、自分や家族の障害について気軽に話したり、助けを求めたりできますか。

次の（ア）・（イ）のうちどちらかに○をしてください。【全員回答】

（ア）できる →3へ進む

（イ）できない →2へ進む



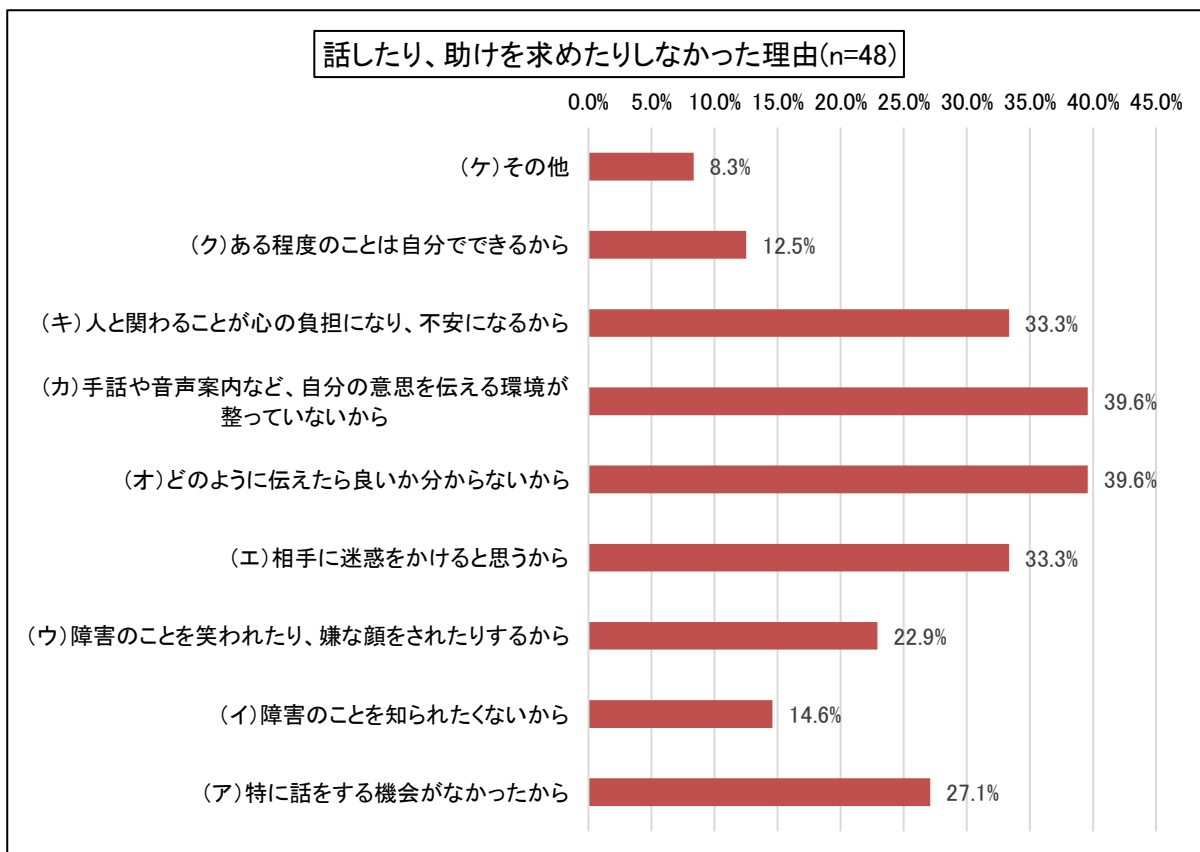
回答者に周りの人に、自分や家族の障害について気軽に話したり、助けを求めたりできるか尋ねたところ、「(ア)できる」73.5% (147人)、「(イ)できない」26.5% (53人)となっている。

2 1で「(イ)できない」を選択した方のみ、お答えください。

話したり、助けを求めたりしなかったのはなぜですか。

次の(ア)～(ケ)のうちから3つまで○をしてください。

- (ア) 特に話をする機会がなかったから
- (イ) 障害のことを知られたくないから
- (ウ) 障害のことを笑われたり、嫌な顔をされたりするから
- (エ) 相手に迷惑をかけると思うから
- (オ) どのように伝えたら良いか分からないから
- (カ) 手話や音声案内など、自分の意思を伝える環境が整っていないから
- (キ) 人と関わることが心の負担になり、不安になるから
- (ク) ある程度のことは自分でできるから
- (ケ) その他 [具体的に記入 : ]

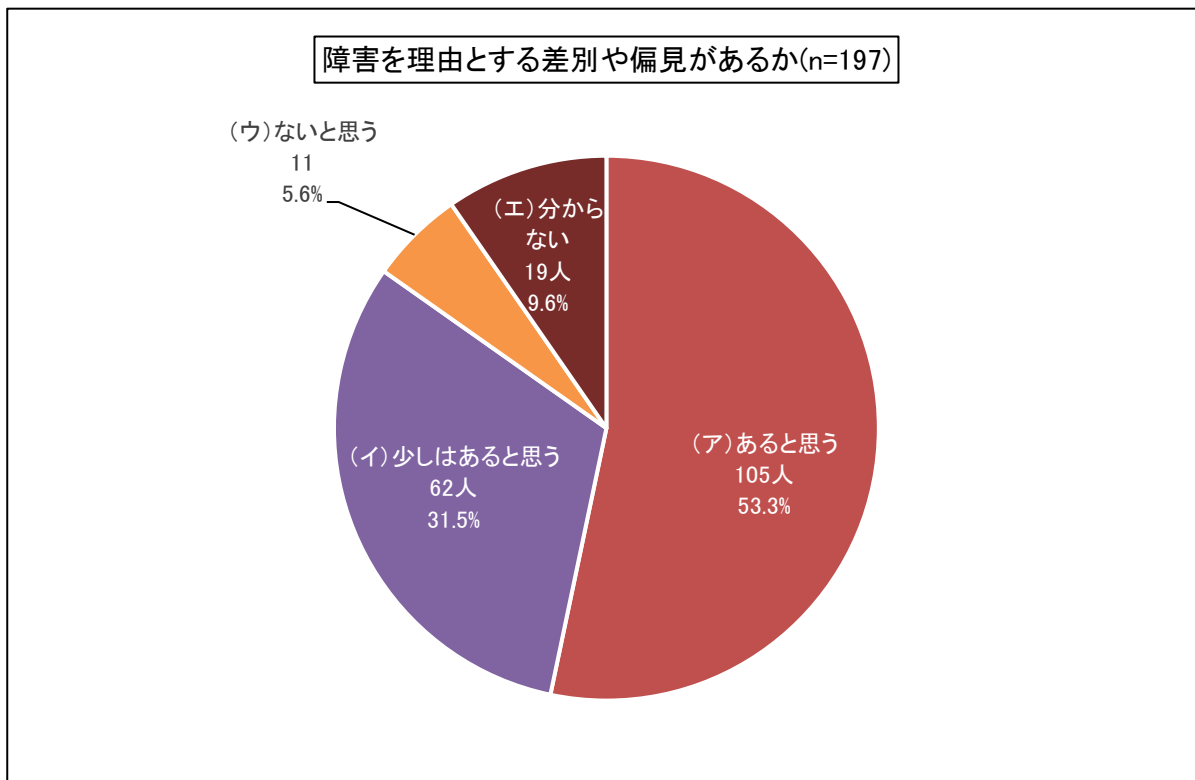


回答者に周りの人に、自分や家族の障害について気軽に話したり、助けを求めたり「できない」と答えた者にその理由を尋ねたところ、「(オ) どのように伝えたら良いか分からないから」、「(カ) 手話や音声案内など、自分の意思を伝える環境が整っていないから」と答えた人の割合が39.6%と最も多く、次いで「(エ) 相手に迷惑をかけると思うから」、「(キ) 人と関わることが心の負担になり、不安になるから」(33.3%)、の順となっている。



3 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。  
次の（ア）～（エ）のうちから1つに○をしてください。【全員回答】

- （ア）あると思う →4へ進む
- （イ）少しはあると思う →4へ進む
- （ウ）ないと思う →5へ進む
- （エ）分からない →5へ進む



回答者に世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思うかを尋ねたところ、「（ア）あると思う」53.3%（105人）と、「（イ）少しはあると思う」31.5%（62人）で全体の8割以上を占めている。

4 3で「(ア) あると思う」または「(イ) 少しはあると思う」を選択した方はお答えください。

(1) あなたは、どんな時に、差別や偏見があると思いますか。

次の(ア)～(チ)のうちから3つまで○をしてください。

(ア) 仕事や収入

(イ) 学校や職場での人間関係

(ウ) 教育の機会

(エ) 近所づきあい

(オ) まちなかでの人の視線

(カ) 冠婚葬祭

(キ) スポーツや趣味の活動

(ク) 地域の行事や集まり

(ケ) 店員の対応や態度

(コ) 行政職員等の対応や態度

(サ) 病院など医療機関での診察

(シ) 交通機関や建築物、道路等の構造

(ス) テレビやラジオ、新聞などの情報提供

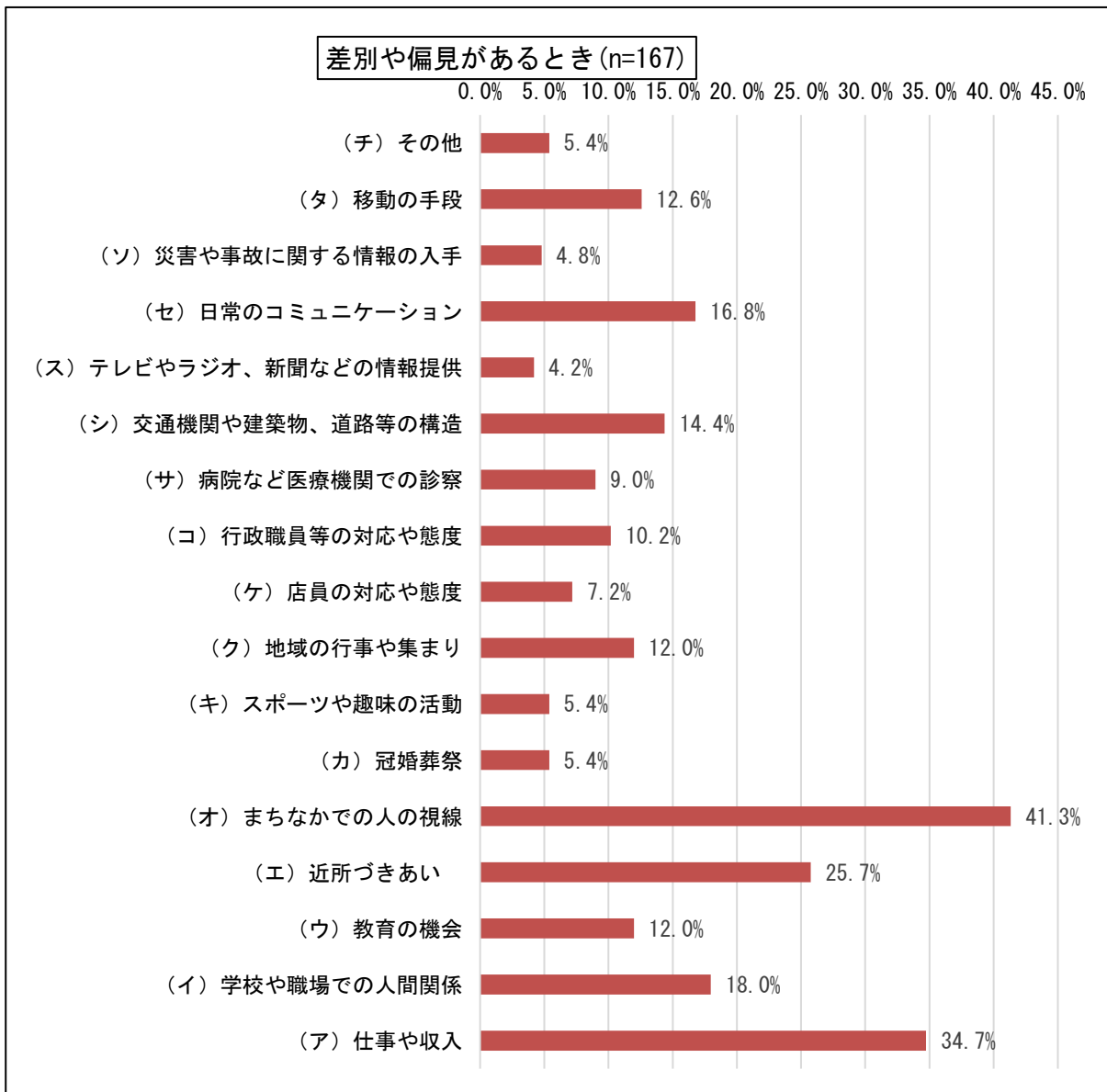
(セ) 日常のコミュニケーション

(ソ) 災害や事故に関する情報の入手

(タ) 移動の手段

(チ) その他 [具体的に記入 :

]



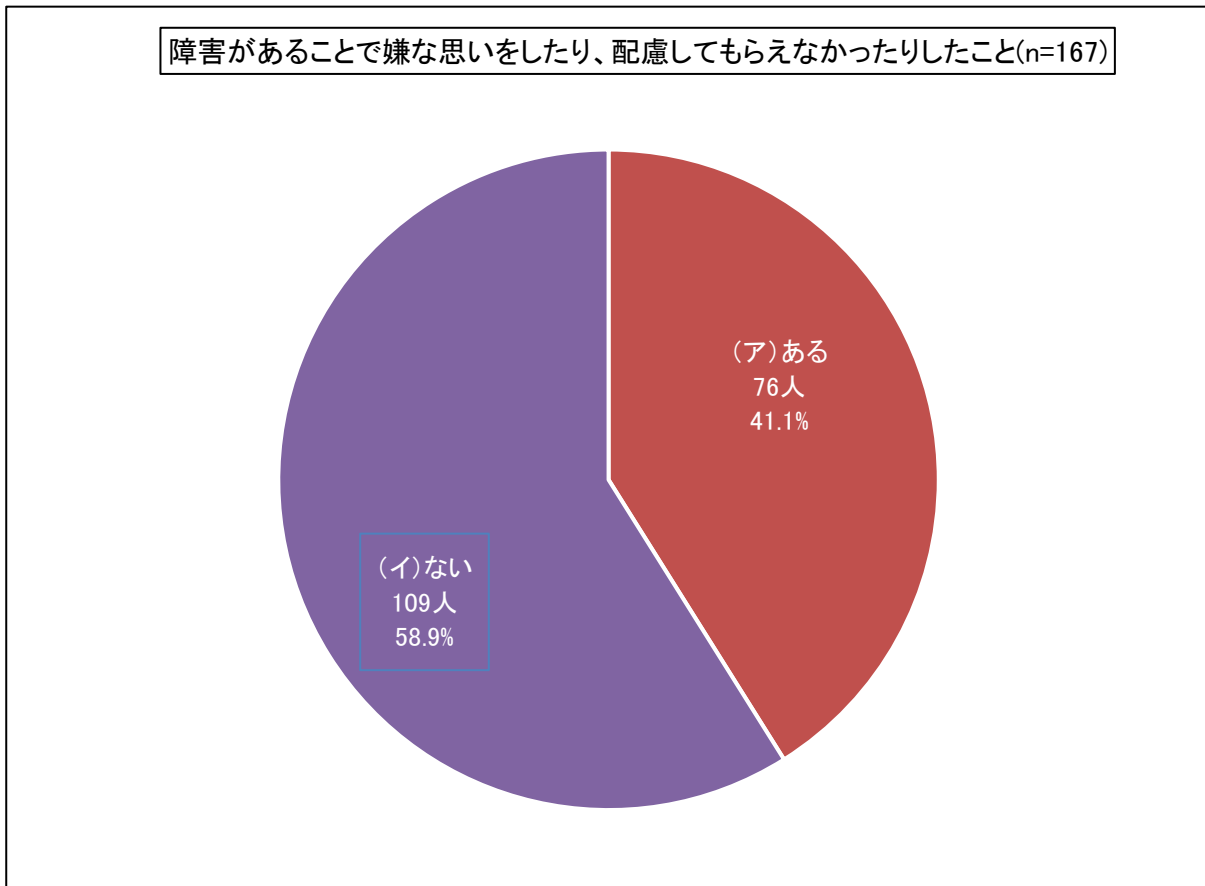
回答者に世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見が「あると思う」または「少しはあると思う」と答えた人について、どんな時に、差別や偏見があると思うか尋ねたところ、「(オ) まちなかでの人の視線」と答えた人の割合が41.3%と最も多く、次いで「(ア) 仕事や収入」(34.7%)、「(エ) 近所づきあい」(25.7%)、の順となっている。

(2) あなたがこれまでに、障害があることで嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったりしたことがありますか。

次の(ア)・(イ)のうちどちらかに○をしてください。

(ア) ある → (3)へ進む

(イ) ない → 5へ進む



回答者に世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見が「あると思う」または「少しはあると思う」と答えた人について、これまでに、障害があることで嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったりしたことがあるか、尋ねたところ、「(ア)ある」41.1% (76人)、「(イ)ない」58.9% (109人)となっている。

(3) (2) で「(ア) ある」と回答された方におたずねします。

① 嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったりしたのは、どのような場所でしたか。

次の(ア)～(サ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

(ア) 通所先又は入所先

(イ) 学校・幼稚園・保育園

(ウ) 職場

(エ) 家庭

(オ) 病院

(カ) 交通機関

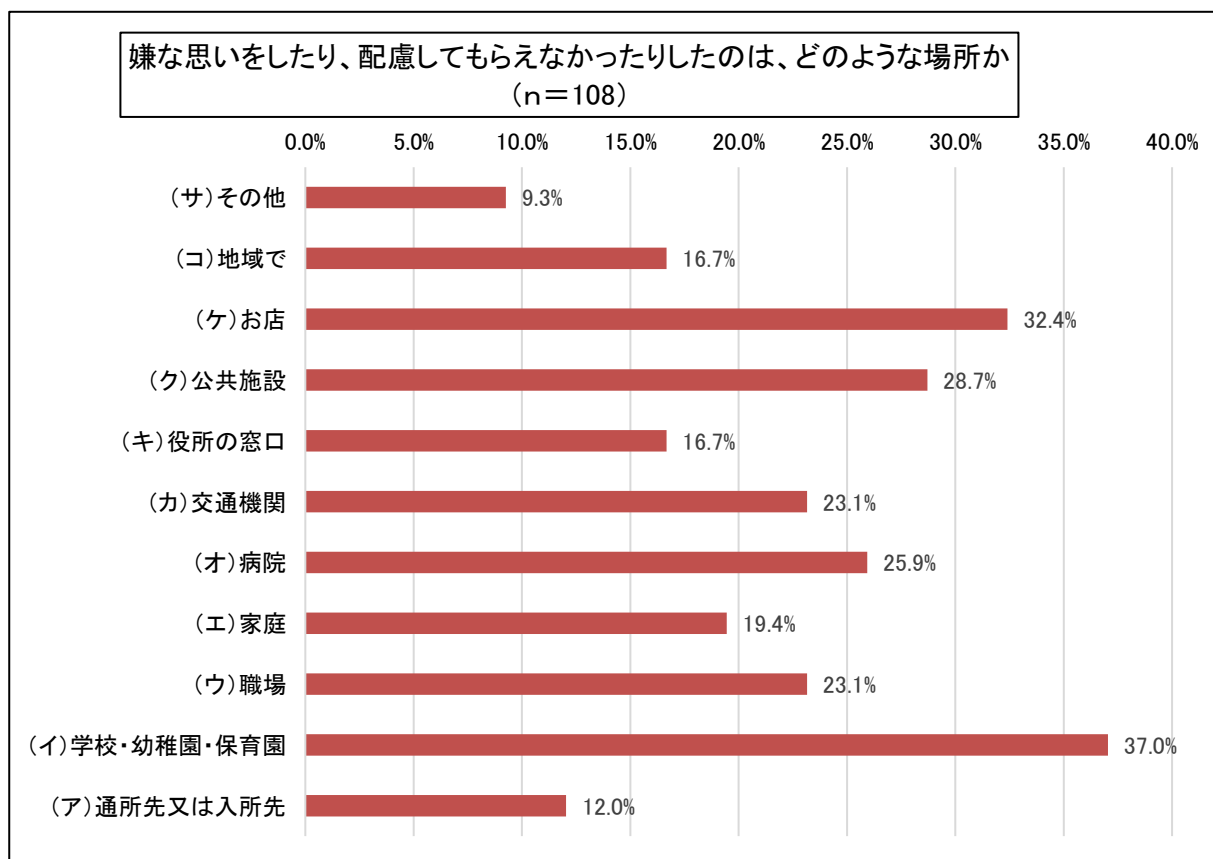
(キ) 役所の窓口

(ク) 公共施設

(ケ) お店

(コ) 地域で

(サ) その他 [具体的に記入： ]



回答者に世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見が「ある」と答えた人について、嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったりしたのは、どのような場所か、尋ねたところ、「(イ) 学校・幼稚園・保育園」と答えた人の割合が37.0%と最も多く、次いで「(ケ) お店」(32.4%)、「(ク) 公共施設」(28.7%)の順となっている。

② それは、どのような内容でしたか。

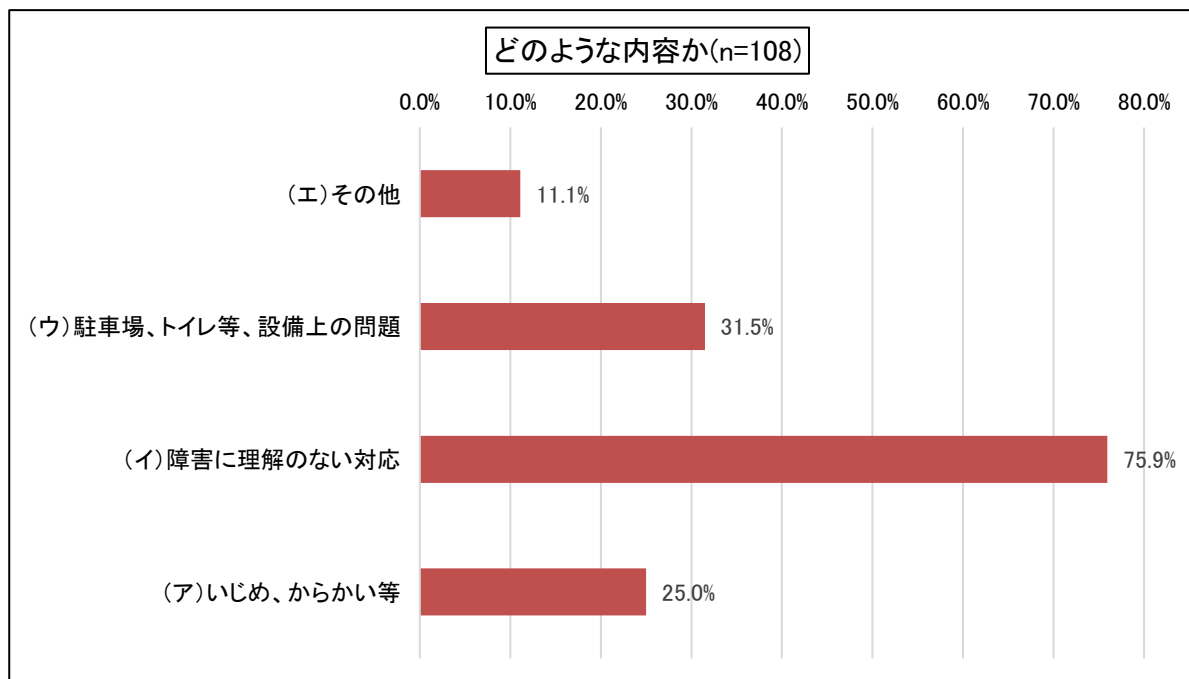
次の（ア）～（エ）のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

（ア）いじめ、からかい等

（イ）障害に理解のない対応

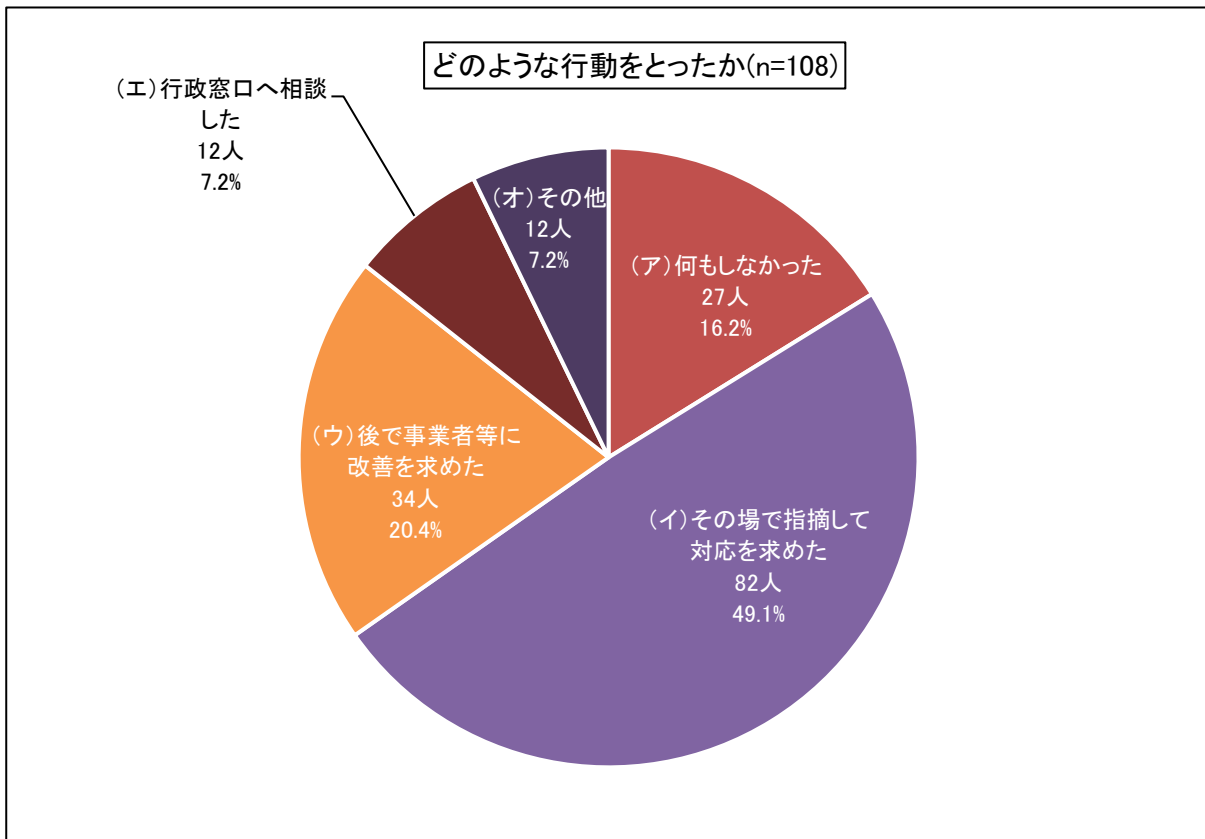
（ウ）駐車場、トイレ等、設備上の問題

（エ）その他 [具体的に記入： ]



回答者に世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見が「ある」と答えた人について、嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったりしたのは、どのような内容であったか、尋ねたところ、「(イ) 障害に理解のない対応」と答えた人の割合が75.9%と最も多く、次いで「(ウ) 駐車場、トイレ等、設備上の問題」(31.5%)、「(ア) いじめ、からかい等」(25.0%)、の順となっている。

- ③ 嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったと感じた時、どのような行動をとりましたか。  
 次の（ア）～（オ）のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。
- （ア）何もしなかった
  - （イ）その場で指摘して対応を求めた
  - （ウ）後で事業者等に改善を求めた
  - （エ）行政窓口へ相談した
  - （オ）その他〔具体的に記入： 〕

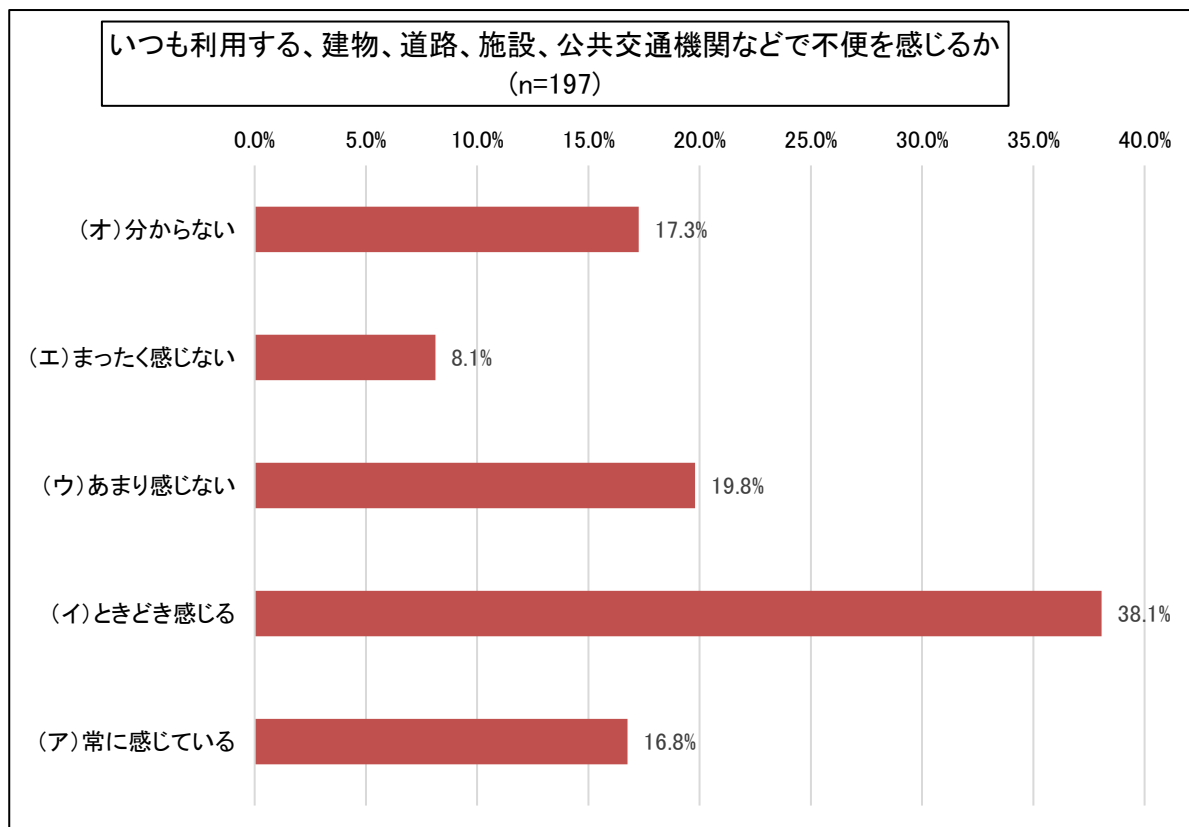


回答者に嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったと感じた時、どのような行動をとったか尋ねたところ、「(イ) その場で指摘して対応を求めた」と答えた人の割合が49.1%と最も多く、次いで「(ウ) 後で事業者等に改善を求めた」(20.4%)、「(ア) 何もしなかった」(16.2%)、の順となっている。

5 いつも利用する、学校や病院、百貨店やホテルなどの建物や、道路や公園などの施設、公共交通機関などで不便を感じていますか。【全員回答】

次の（ア）～（オ）のうちから1つに○をしてください。

- （ア）常に感じている
- （イ）ときどき感じる
- （ウ）あまり感じない
- （エ）まったく感じない
- （オ）分からない

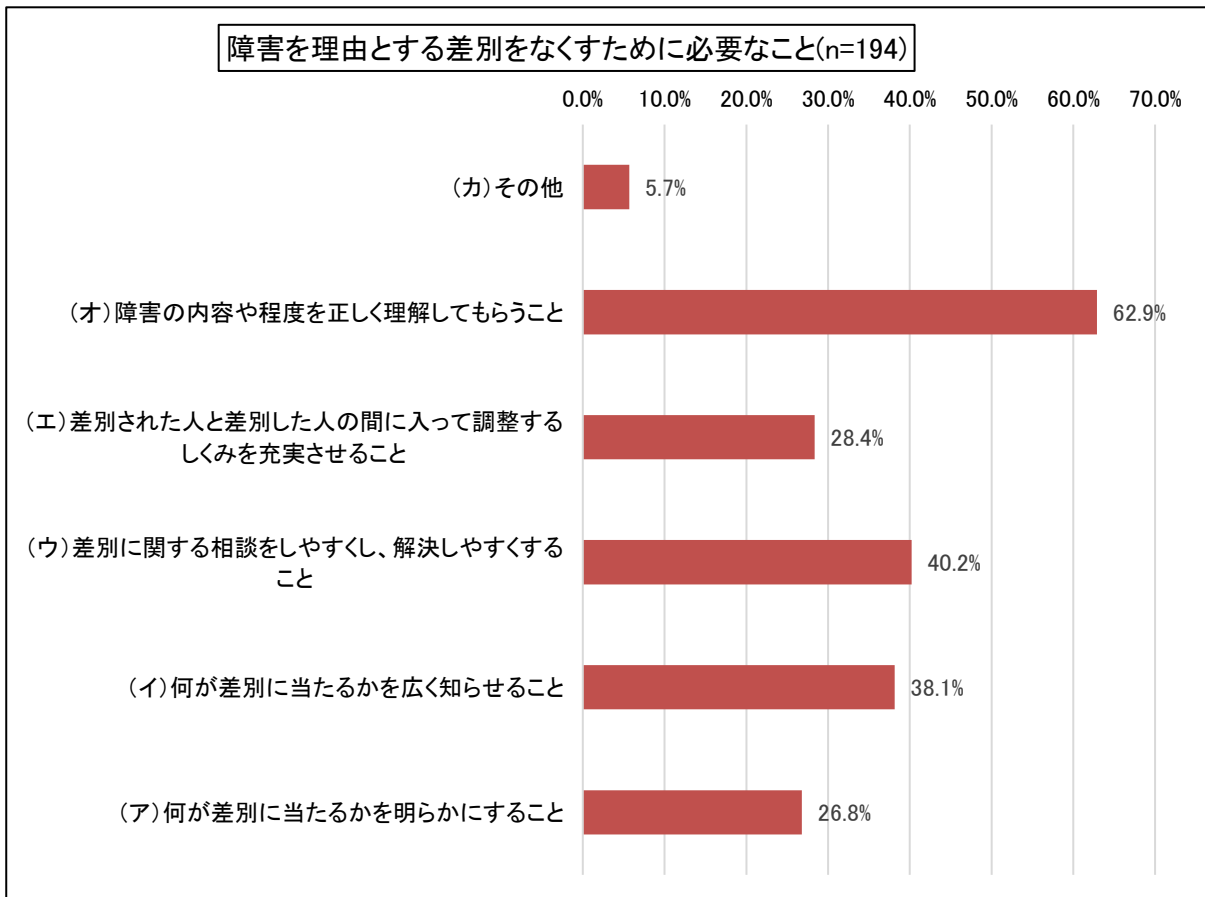


回答者にいつも利用する、学校や病院、百貨店やホテルなどの建物や、道路や公園などの施設、公共交通機関などで不便を感じているか、尋ねたところ、「（イ）ときどき感じる」と答えた人の割合が38.1%と最も多く、「（ア）常に感じている」（16.8%）と合わせて、半数を超えている。



6 障害を理由とする差別をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。【全員回答】  
次の（ア）～（カ）のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- （ア）何が差別に当たるかを明らかにすること
- （イ）何が差別に当たるかを広く知らせること
- （ウ）差別に関する相談をしやすくし、解決しやすくすること
- （エ）差別された人と差別した人の中に入って調整するしきみを充実させること
- （オ）障害の内容や程度を正しく理解してもらうこと
- （カ）その他 [具体的に記入： ]



回答者に障害を理由とする差別をなくすために必要なことについて、尋ねたところ、「(オ) 障害の内容や程度を正しく理解してもらうこと」と答えた人の割合が 62.9%と最も多く、次いで「(ウ) 差別に関する相談をしやすくし、解決しやすくすること」(40.2%)、「(イ) 何が差別に当たるかを広く知らせること」(38.1%)、の順となっている。

7 障害を理解してもらうためには、どのような方法が効果的だと思いますか。【全員回答】  
次の（ア）～（カ）のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

（ア）学校での教育

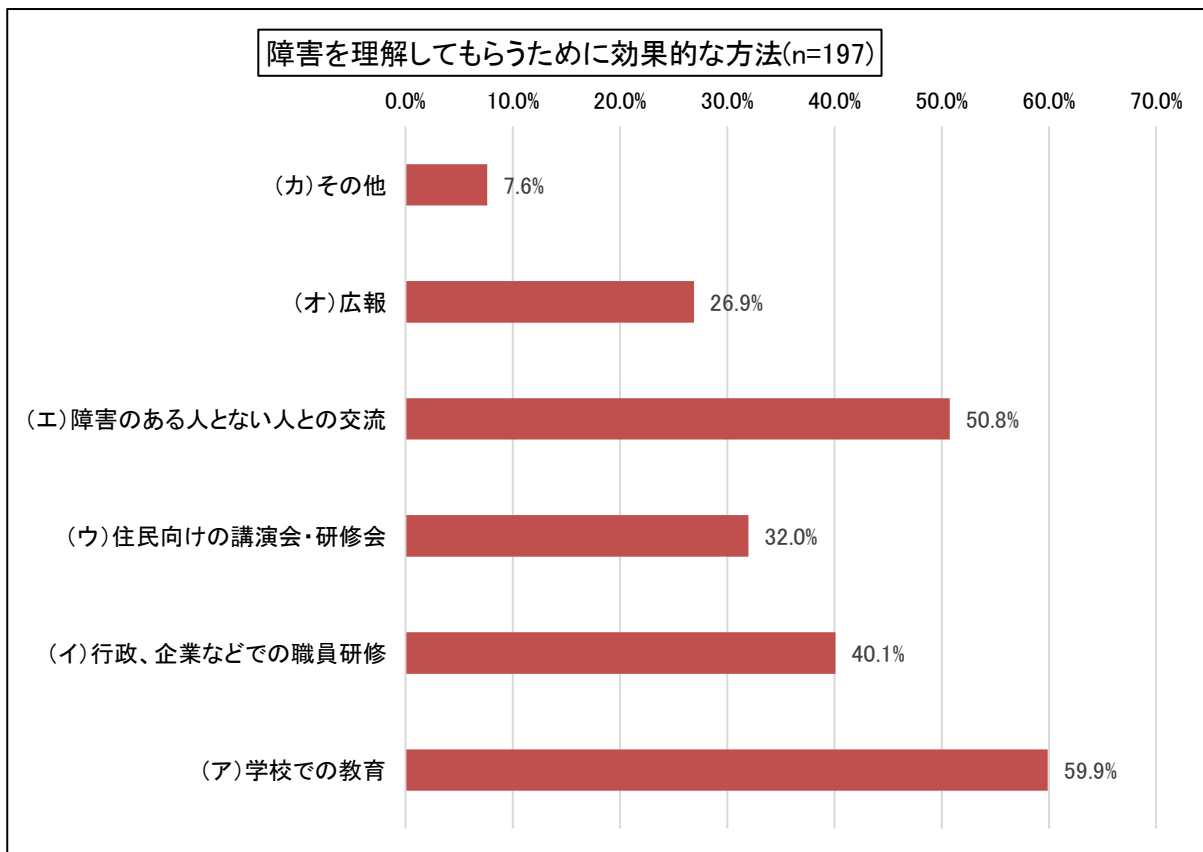
（イ）行政、企業などでの職員研修

（ウ）住民向けの講演会・研修会

（エ）障害のある人とない人との交流

（オ）広報

（カ）その他 [具体的に記入： ]



回答者に障害を理解してもらうために効果的な方法について、尋ねたところ、「(ア) 学校での教育」と答えた人の割合が59.9%と最も多く、次いで「(エ) 障害のある人とない人との交流」(50.8%)、「(イ) 行政、企業などでの職員研修」(40.1%)の順となっている。

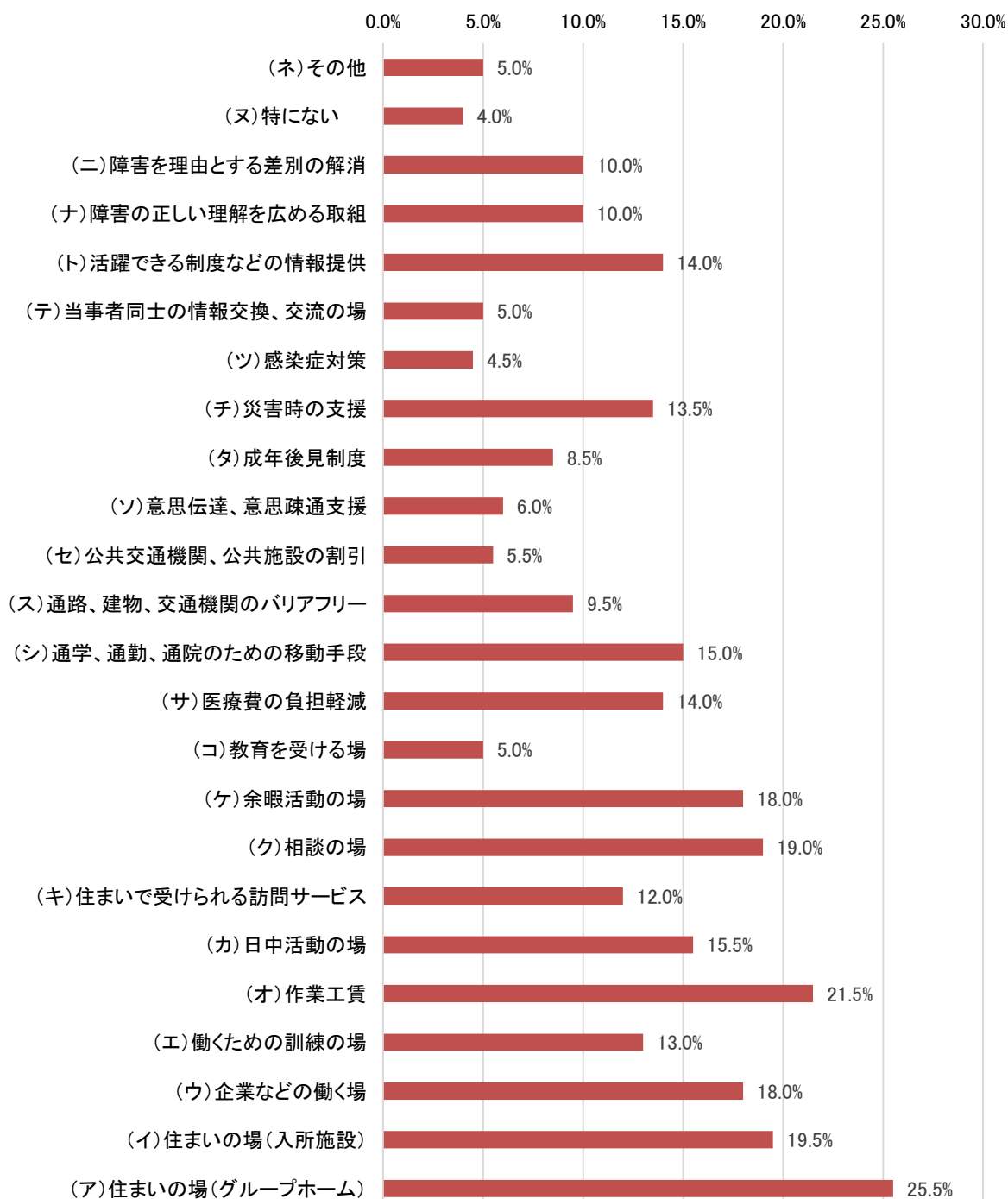
問6 障害のある方への取組

1 あなたが今後生活する上で、充実させてほしいと思うことは何ですか。【全員回答】

次の（ア）～（ネ）のうちから3つまで○をしてください。

- （ア）住まいの場（グループホーム）
- （イ）住まいの場（入所施設）
- （ウ）企業などの働く場
- （エ）働くための訓練の場
- （オ）作業工賃
- （カ）日中活動の場
- （キ）住まいで受けられる訪問サービス
- （ク）相談の場
- （ケ）余暇活動の場
- （コ）教育を受ける場
- （サ）医療費の負担軽減
- （シ）通学、通勤、通院のための移動手段
- （ス）通路、建物、交通機関のバリアフリー
- （セ）公共交通機関、公共施設の割引
- （ソ）意思伝達、意思疎通支援
- （タ）成年後見制度
- （チ）災害時の支援
- （ツ）感染症対策
- （テ）当事者同士の情報交換、交流の場
- （ト）活躍できる制度などの情報提供
- （ナ）障害の正しい理解を広める取組
- （ニ）障害を理由とする差別の解消
- （ヌ）特にない
- （ネ）その他〔具体的に記入： 〕 ※

あなたが今後生活する上で、充実させてほしいと思うこと(n=200)

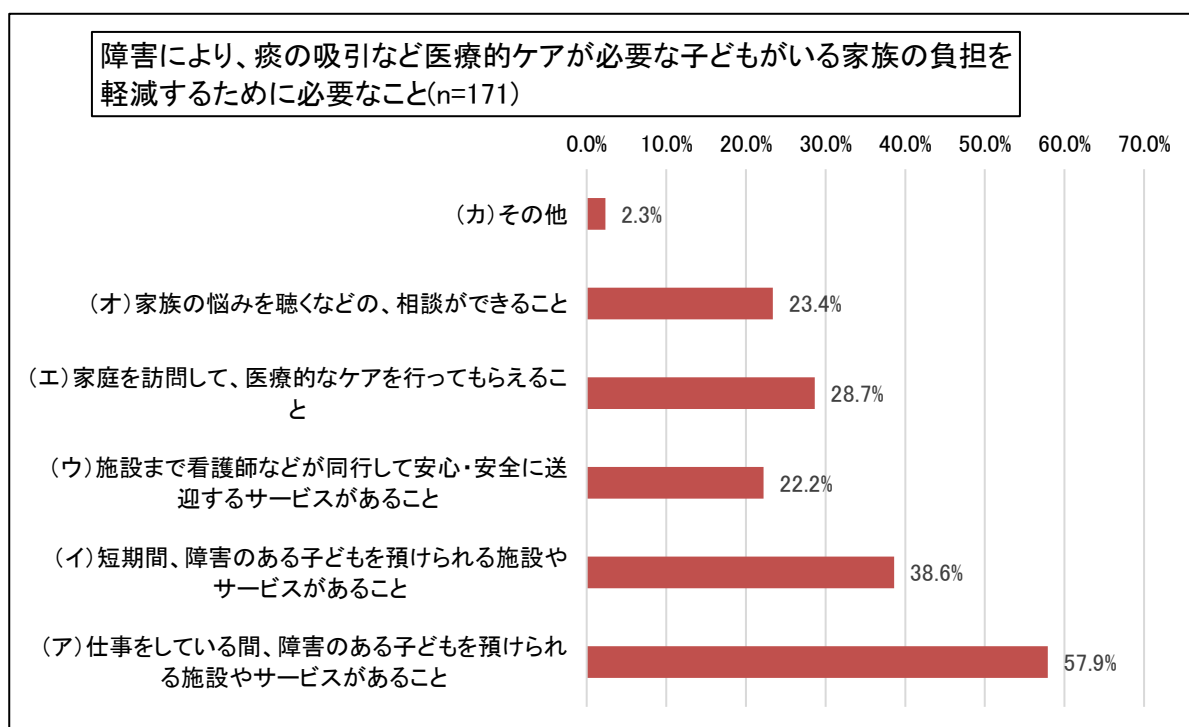


回答者にあなたが今後生活する上で、充実させてほしいと思うことについて、尋ねたところ、「(ア) 住まいの場 (グループホーム)」と答えた人の割合が 25.5%と最も多く、次いで「(オ) 作業工賃」(21.5%)、「(イ) 住まいの場 (入所施設)」(19.5%)の順となっている。

2 障害により、痰(たん)の吸引など医療的ケアが必要な子どもがいる家族の負担を軽減するためにはどのようなことが必要だと思いますか。【全員回答】

次の(ア)～(カ)のうちからあなたの考えに近いものに2つまで○をしてください。

- (ア) 仕事をしている間、障害のある子どもを預けられる施設やサービスがあること
- (イ) 短期間、障害のある子どもを預けられる施設やサービスがあること
- (ウ) 施設まで看護師などが同行して安心・安全に送迎するサービスがあること
- (エ) 家庭を訪問して、医療的なケアを行ってもらえること
- (オ) 家族の悩みを聴くなどの、相談ができること
- (カ) その他 [具体的に記入： ]



回答者に障害により、痰(たん)の吸引など医療的ケアが必要な子どもがいる家族の負担を軽減するために必要なことについて、尋ねたところ、「(ア) 仕事をしている間、障害のある子どもを預けられる施設やサービスがあること」と答えた人の割合が57.9%と最も多く、次いで「(イ) 短期間、障害のある子どもを預けられる施設やサービスがあること」(38.6%)、「(エ) 家庭を訪問して、医療的なケアを行ってもらえること」(28.7%)、の順となっている。

7 そのほか、ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

以下、主な意見の要旨

**【共生社会の実現】**

- 親亡き後も満足な生活ができるのか、親などの強力な支援者がいなくても障害者本人が満足する生活が送れるような共生社会の実現を目指して欲しい。
- 障害者の方も、安心して、「幸せ」と感じられる社会を目指してほしい。どんな方も差別のない社会になるよう、学校教育や社会教育を徹底してほしい。
- 障害に対して理解し差別なく日々楽しく過ごし、笑顔でおくることができる世の中になってほしい。

**【周囲の理解】**

- 相模原障害者施設殺傷事件を受け、いろいろな不安があるので、事件を犯した犯人と同じ意見をもつ人間と会わないように、障害者の味方に囲まれたくない。
- 軽度知的障害な為、周囲から普通の人と思われ、仕事の面接に行き、障害がある事を伝えると「見た目はわからないね」とか「人手不足だからお願い」と言われる。また、仕事をしていくうちに、「バカ」「遅い」など言われる。
- 統合失調症で、常に何かしら心配事が多く、周りの人に迷惑がかかっていないかと思う。それは家族や職場などいろいろだが、そういったことを相談できる人が、今ではとても多くなり助かっている。
- 最近、マスコミやメディアの報道で障害者というワードを強調する影響で、全体的なイメージの低下や障害者＝犯罪者みたいな捉え方があるが、やめてほしい。
- 障害を理解してほしい。

**【環境の整備】**

- 「みんなのトイレ（障害者用トイレ）」に、子ども連れのお父さんが入っていて、使えないことが度々ある。「みんな」だからいいのだが、男女トイレ内に子連れ用があっても、障害者用を使うのはなぜか。高齢、障害などで家族介護の場合、異性介助になるので、ジェンダーレストイレの考え方が広まって、トイレの仕組みそのものが変わると外出しやすい。

**【サービス】**

福祉の人材確保・人材育成

- 多くの福祉施設において人材不足が問題になっているので、国や県において問題解消に人力をいただき各事業所の人材確保に協力をお願いしたい。
- 在宅介護をしていく中でヘルパーの不足や質の低下を感じる。ヘルパーの待遇改善を図り、在宅介護の支え手を増やしてほしい。
- 福祉施設で働くのが未経験の場合、就労前に必ず研修をやって障害者への理解を深めてから従事してほしい。
- 施設内におけるコンプライアンスをしっかりとしてほしい。職員の質の向上に向けた取組をしてほしい。また虐待など問題があった場合の相談窓口が欲しい。

## 施設の充実

- デイサービスやショートステイの受入施設が少ない。サテライトの形で小規模の施設をつくってほしい。誰もが利用したいときに利用でき、送迎サービスも充実させてほしい。一人暮らしや小規模なグループホームで安心・安全、手厚い介護ができる場所が必要。それぞれの地域に医療的ケアのある方々の受入ができ、一人ひとりの個別性に対応した施設が必要。たとえ障害があっても制度さえ充実していれば、当事者や家族は救われる。
- グループホームについて、建物はできても運営する事業者がいなければダメ。
- 肢体不自由児及び重症心身障害児・者にも対応できる入所施設を東部へ設置してほしい。
- 入所施設では、夜間に手のかかる（なかなか寝ない、大声を出す、何度も起きる、早起き、服を脱ぐ）子の入所は難しい。どうしたら……助けてほしい。東部地域に手のかかる障害者も利用できる入所施設ができればよい。
- あけぼの医療センターで、医ケア以外の子（手のかかる障害者）も入所できるようになるとよい。
- ショートステイを利用して、親から離れて生活することが、自立への一歩なので、ショートステイの日数を増やしてほしい。
- 郡内地域には児童発達支援センターやショートステイ、医療センターがなく、長期休暇等見てもらえる場所が全くない。そういった場合どうすればいいのか。いざというときにすぐに対応してもらえる施設がほしい。

## その他

- 障害者は資源や福祉サービスが地域にない、または少ないからと、希望しない福祉サービスを選択しなければならないのか。最近ようやくこの地域にも重度訪問介護の事業所が国中から参入し、本来の支援が提供されはじめたが、福祉サービスの有無でこれだけ生活が激変してしまうのが非常にありがたい面、サービスの有無がその人の生活状況や人生設計をも変えてしまうことに、正直戸惑っていてもいる。
- 県営団地のバリアフリー化している1階部分を障害者が居住でき、2階以上の方々が、安価な家賃の条件として、障害者の困り事やヘルパー業務ではできない隙間の支援をし、相互の交流や助け合いを目指すことを提案する。また、団地の公民館を利用して、高齢者や子ども、障害者を含めた交流スペース等の居場所をつくり、福祉や地域住民相互の交流の場の拠点として機能していくことを目指すことを提案する。
- 学校のバスに看護師が乗ってほしい。
- 地域に預けられる場所が欲しい。
- 通勤・通学のみ使えるサービス（介護タクシーではなく）。
- いろいろなサービスや、皆様の御理解、御協力のもと、子どもの生活は成り立っており感謝している。
- 昔に比べサービスが充実していると感じる。将来のことは今考えていない。（考えられない。）
- 支援者である親の高齢化に伴い、障害を持っている子供との生活が困難になっているケースがある。障害者本人だけでなく、その親等にも包括的に支援する仕組みがあればと思う。（例）子供とグループホームや福祉施設に入居。送迎や入浴サービス等の利用
- 重度障害者ほど、施設の支援を受けたいのに、重度のせいで「ムリ」と断られる。なんのため



の障害者施設なのか。

- 働くことを相談できる人が増えると良い。障害者就業・生活支援センターの対応が良くなれば良い。圏域を狭くしてもらいたい（市単位）
- 山梨県内同じサービスが受けられること
- グループホームができたが、重度の方は夜寝ないので見られないといわれた。重度で行動面など厳しい方も入れるようにしてほしい。親亡き後の心配がなく暮らせる社会になってほしい。
- 出産を予定している。その際助けていただけるヘルパー（児対応がない峡東に）
- 現在、移動には両親が運転や医ケアのヘルプをしているが、高齢になり今後外出の機会が減少するのではないかと不安。入所出来るグループホームがあるのか不安。

#### 【移動手段・駐車場】

- 医療現場の移動交通の充実が必要
- 病院、お店（ショッピングセンターなど）障害児者が利用したい時駐車場（車イス用マーク）が少ない
- 移動支援の充実
- 現在透析を週3日している。施設から病院まで家族が送迎してくれているが、両親の負担を軽くするために無料で送迎してくれるサービスがあればいい。
- 東部地域は他の地域に比べて利用できる福祉サービス、事業所の数が少なく選択肢があまりないため不安がある。地域柄車がないと外出することは難しいと思うので、当事者が必要な時（通勤・通学）にも利用できる移動支援のようなサービスがあれば本人の自立にもつながり助かると思う。

#### 【災害等】

- 災害が起きたとき薬（のみ薬ぬり薬など）を日数分だけもらっているもので、なくなった場合困る。
- 災害時の支援について、本当に支援を必要とする障害者の個別の支援方針（計画）を早急にお願いたい。

#### 【各種支給補助・経済的負担等】

- ガソリン代の負担及び税金等の負担が大きい。特に療育手帳の判定がB-1のため、Aと違い免税の対象にならないところが残念である。
- 親の収入額により、特別扶養手当通所給付費増額等、支援が受けられないことの改善を求めたい。
- 中古車購入をするときの補助（車いす使用）。車イス使用車の修理補助。
- 毎月おむつ代が1万円かかるので無料になる方法を考えてほしい。
- 年金を増やして欲しい。

#### 【医療】

- リモート診断ができるときは診断してほしい。
- 診断書発行に時間がかかるので、もう少し早くしてもらえたら助かる。
- 山梨県の重度医療費受給者証、子ども医療費受給者証が県外でも使えるようになってほしい。
- 医療行為を家族以外ができること（家族が家族に針を刺すのは勇気がいる）
- 山間地域の医療体制の充実



○自殺防止のホットラインに電話をしても一度もつながった事がない。精神病院は看護師や助手が怖いので絶対入院したくない。

#### 【アンケート】

○役所の書類やアンケートは、一緒にやってもらえれば回答もできると思った。

○市町村からも、このようなアンケートが来て毎回書いているが、どこに活かされているのか、全く実感が無い。

○それぞれの障害や医療ケア児の程度も様々で、生活のあり方や、家族のあり方も様々なので、ぜひ家庭に足を踏み入れ家族と共に考え実践する場の提供をお願いしたい。

○毎年アンケートがあるような気がして、ズルズルと同じ事ばかりを書いている。どこかでアンケート結果を知りたい。そして、どんどん良い方向に進んでもらいたい。

#### 【その他】

○親はいずれなくなり、子どもだけになったとき、一人ぼっちではなく楽しく暮らしていける場があるといいなと思うが、人間らしく豊かに最後まで生きられることを望む。

# 【調査票】

次期障害児・障害者プランに係るアンケート調査

問1 回答者の状況

1 あなたのお住まいの地域はどこですか。【全員回答】

次の(ア)～(エ)のうちから1つに○をしてください。

- (ア) 中北
- (イ) 峡東
- (ウ) 峡南
- (エ) 富士東部

2 あなたの年齢についてお答えください。【全員回答】

次の(ア)～(キ)のうちから1つに○をしてください。

- (ア) 0歳～18歳
- (イ) 19歳～29歳
- (ウ) 30歳～39歳
- (エ) 40歳～49歳
- (オ) 50歳～59歳
- (カ) 60歳～64歳
- (キ) 65歳以上

3 あなたがお持ちの障害者手帳や障害の診断などについてお答えください。【全員回答】

次の(ア)～(ク)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 身体障害者手帳を持っている
- (イ) 療育手帳を持っている
- (ウ) 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- (エ) 発達障害と診断されている
- (オ) 高次脳機能障害と診断されている
- (カ) 指定難病・小児慢性特定疾患の医療費助成の受給者証を持っている
- (キ) 医療費助成の受給者証を持っていないが障害者総合支援法の対象の難病と診断されている
- (ク) その他 [具体的に記入： ]

4 身体障害者手帳をお持ちの方はお答えください。

(1) 総合の等級は次のうちどれですか。

次の(ア)～(カ)のうちから1つに○をしてください。

- (ア) 1級
- (イ) 2級
- (ウ) 3級
- (エ) 4級
- (オ) 5級
- (カ) 6級

(2) 障害の種類は次のうちどれですか。

次の(ア)～(キ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 視覚障害
- (イ) 聴覚障害
- (ウ) 言語障害（音声）・そしゃく機能障害
- (エ) 肢体不自由
- (オ) 平衡機能障害
- (カ) 内部機能障害
- (キ) その他 [具体的に記入： ]

5 療育手帳をお持ちの方は障害程度についてお答えください。

次の（ア）～（カ）のうちから1つに○をしてください。

- (ア) A-1
- (イ) A-2a
- (ウ) A-2b
- (エ) A-3
- (オ) B-1
- (カ) B-2

6 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は等級についてお答えください。

次の（ア）～（ウ）のうちから1つに○をしてください。

- (ア) 1級
- (イ) 2級
- (ウ) 3級

7 あなたは、日常的に痰<sup>たん</sup>の吸引や胃ろうなどの医療的ケアを必要としていますか。【全員回答】

次の（ア）・（イ）のうちどちらかに○をしてください。

- (ア) はい → 8へ進む
- (イ) いいえ → 「問2」1へ進む

8 7で「(ア) はい」を選択した方のみ、お答えください。

あなたの必要としている医療的ケアはどのようなものですか。次の（ア）～（ソ）のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ソ) 人工呼吸器（肺痰補助装置）
- (タ) 気管切開の管理
- (チ) 鼻咽頭エアウェイの管理
- (ツ) 酸素療法
- (テ) 吸引
- (ト) ネブライザー／吸入の管理
- (ナ) 経管栄養
- (ニ) 中心静脈カテーテル
- (ヌ) 皮下注射

- (ネ) 血糖管理
- (ノ) 継続的な透析
- (ハ) 自己導尿
- (ヒ) 排便管理（ストマ、浣腸など）
- (フ) 痙攣時の対応
- (ソ) その他〔具体的に記入： 〕

## 問2 お住まい

### 1 あなたは、現在どのように暮らしていますか。【全員回答】

次の（ア）～（キ）のうちから1つに○をしてください。

- (ア) ひとり暮らし
- (イ) 家族等と同居
- (ウ) グループホームに入居
- (エ) 障害者（児）が入所する施設に入所
- (オ) 高齢者のための施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設など）に入所
- (カ) 病院に入院
- (キ) その他〔具体的に記入： 〕

### 2 将来どのように暮らしたいですか。【全員回答】

次の（ア）～（キ）のうちから1つに○をしてください。

- (ア) ひとり暮らし
- (イ) 家族等と同居
- (ウ) グループホームに入居
- (エ) 障害者（児）が入所する施設に入所
- (オ) 高齢者のための施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設など）に入所
- (カ) 病院に入院
- (キ) その他〔具体的に記入： 〕

### 3 在宅生活を続けるためにどんな支援が必要だと思いますか。【全員回答】

次の（ア）～（ク）のうちから3つまで○をしてください。

- (ア) 在宅医療
- (イ) 住居確保
- (ウ) 在宅サービス
- (エ) 生活訓練
- (オ) 経済負担
- (カ) 相談体制
- (キ) 地域住民の理解
- (ク) わからない
- (ケ) その他〔具体的に記入： 〕

問3 日常生活

1 日中の過ごし方についてお答えください。

(1) あなたはこの1カ月の平日の日中(昼間)、主にどのようにお過ごしですか。【全員回答】

次の(ア)～(シ)のうちから1つに○をしてください。

- (ア) 企業等(自営業を含む)で就労
- (イ) 専業主婦(主夫)
- (ウ) 通所施設(就労継続施設A型・B型を含む)での就労
- (エ) 通所施設などを利用(介護、障害のサービスを受けている)
- (オ) 病院のデイケアなど
- (カ) 自宅で過ごしている
- (キ) 大学、専門学校、職業訓練校などに通学
- (ク) 特別支援学校(小、中、高等部)に通学
- (ケ) 一般の高校、小中学校に通学
- (コ) 保育所、幼稚園、児童発達支援センター(事業所)などに通う
- (サ) 入所している施設、病院などで過ごしている
- (シ) その他[具体的に記入： ]

(2) (1)で「(ア)企業等(自営業を含む)で就労」を選択していない方のみ、お答えください。

あなたは、仕事につきたいですか。

次の(ア)・(イ)のうちどちらかに○をしてください。

- (ア) つきたい
- (イ) つきたくない

(3) 障害者の就労を進めるために、どんなことが必要だと思いますか。【全員回答】

次の(ア)～(コ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 通勤手段が確保できること
- (イ) 勤務場所や障害者に配慮した設備などが整っていること
- (ウ) 短時間勤務や週の数日のみ働くことができる職場であること
- (エ) 在宅で働くことができること
- (オ) 職場に障害を理解してくれる人がいること
- (カ) 就労後のフォロー援助など、職場と支援機関の連携があること
- (キ) 仕事で困ったときに、職場以外で相談にのってくれるところがあること
- (ク) 障害者同士が仕事の悩みを語り合ったり、ピアサポートなどの支援があつたりすること
- (ケ) わからない
- (コ) その他[具体的に記入： ]

(4) あなたはコロナ禍においてどのようなことを不安に感じましたか。【全員回答】

次の(ア)～(キ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 感染する不安（本人、家族を含む）
- (イ) 体調管理・健康面の不安
- (ウ) 収入等金銭面の不安
- (エ) 外出できないことの不安
- (オ) サービスが利用できなくなる不安
- (カ) 社会的孤立への不安
- (キ) その他 [具体的に記入： \_\_\_\_\_ ]

**2 あなたは、現在、障害福祉サービスを利用していますか。【全員回答】**

- (ア) 利用している → (1) 及び (2) へ進む
- (イ) 利用していない → (2) へ進む

**(1) サービスの種類毎に利用の有無や満足度について、当てはまる番号に○をつけてください。**

1 満足している 2 満足していない 3 どちらともいえない 4 利用していない

- |                          |   |   |   |   |
|--------------------------|---|---|---|---|
| (ア) 居宅介護(ホームヘルプ)         | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (イ) 重度訪問介護               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ウ) 行動援護                 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (エ) 同行援護                 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (オ) 重度障害者等包括支援           | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (カ) 短期入所(ショートステイ)        | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (キ) 療養介護                 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ク) 生活介護                 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ケ) 自立訓練(機能訓練・生活訓練)      | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (コ) 就労移行支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (サ) 就労継続支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (シ) 就労定着支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ス) 児童発達支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (セ) 放課後等デイサービス           | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ソ) 居宅訪問型児童発達支援          | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (タ) 保育所等訪問支援             | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (チ) 施設入所支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ツ) 共同生活援助(グループホーム)      | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (テ) 自立生活援助               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ト) 地域移行支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ナ) 地域定着支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ニ) 計画相談支援               | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ヌ) 障害児相談支援              | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ネ) その他 [具体的に記入： _____ ] |   |   |   |   |

1 2 3 4

**(2) あなたは、今後、どのような障害福祉サービスを利用したいですか。【全員回答】**

次の（ア）～（ノ）のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- （ア） 居宅介護（ホームヘルプ）
- （イ） 重度訪問介護
- （ウ） 行動援護
- （エ） 同行援護
- （オ） 重度障害者等包括支援
- （カ） 短期入所（ショートステイ）
- （キ） 療養介護
- （ク） 生活介護
- （ケ） 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- （コ） 就労移行支援
- （サ） 就労継続支援
- （シ） 就労定着支援
- （ス） 児童発達支援
- （セ） 放課後等デイサービス
- （ソ） 居宅訪問型児童発達支援
- （タ） 保育所等訪問支援
- （チ） 施設入所支援
- （ツ） 共同生活援助（グループホーム）
- （テ） 自立生活援助
- （ト） 地域移行支援
- （ナ） 地域定着支援
- （ニ） 計画相談支援
- （ヌ） 障害児相談支援
- （ネ） 特になし
- （ノ） その他〔具体的に記入： ]

**3 あなたが外出する場合、どのような支援が必要ですか。【全員回答】**

次の（ア）～（キ）のうちから3つまで○をしてください。

- （ア） 福祉サービス（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援）
- （イ） 福祉タクシーなどの移送サービス
- （ウ） 医療機関等の職員の付き添い
- （エ） 家族の付き添い
- （オ） 友人や知人、ボランティアなどの付き添い
- （カ） 支援は必要ない
- （キ） その他〔具体的に記入： ]

**問4 防災対策への不安**

**1 あなたは、地震や台風などの災害が起きた場合、心配や不安なことがありますか。【全員回答】**

次の（ア）・（イ）のうちどちらかに○をしてください。



- (ア) ある →2へ進む  
(イ) ない →3へ進む

2 1で「(ア) ある」と答えた方に伺います。どんな心配事がありますか。

次の(ア)～(キ)のうちから2つまで○をしてください。

- (ア) 障害者などの支援を要する人のための福祉避難所がどこにあるのかわからない  
(イ) 通常の避難所がどこにあるのかわからない  
(ウ) 避難所まで移動することができない  
(エ) 防災無線などの避難情報が聞こえない・分からない  
(オ) 家財道具や家屋が倒壊する前に屋外へ避難することができない  
(カ) 食料や医薬品などを持ち出せるかわからない  
(キ) その他 [具体的に記入： ]

3 障害者など特別な支援を必要とする人を受け入れる福祉避難所には、どのようなことが必要だと思いますか。【全員回答】

次の(ア)～(ケ)のうちから2つまで○をしてください。

- (ア) 段差の解消や障害者用トイレの設置など施設をバリアフリーにすること  
(イ) 文字や音声、手話など複数の情報伝達手段を確保すること  
(ウ) 個室の確保や間仕切りの設置などでプライバシーを確保すること  
(エ) 相談窓口や介助スタッフがいること  
(オ) アレルギー対応食や介護食、離乳食などを確保すること  
(カ) 医薬品や医療を確保すること  
(キ) 食料の配給などに並ぶことができない場合の支援があること  
(ク) ほかの避難者の障害に対する理解を深めること  
(ケ) その他 [具体的に記入： ]

問5 人権や権利擁護等

1 あなたは周りの人に、自分や家族の障害について気軽に話したり、助けを求めたりできますか。

次の(ア)・(イ)のうちどちらかに○をしてください。【全員回答】

- (ア) できる →3へ進む  
(イ) できない →2へ進む

2 1で「(イ) できない」を選択した方のみ、お答えください。

話したり、助けを求めたりしなかったのはなぜですか。

次の(ア)～(エ)のうちから3つまで○をしてください。

- (ア) 特に話をする機会がなかったから  
(イ) 障害のことを知られたくないから  
(ウ) 障害のことを笑われたり、嫌な顔をされたりするから  
(エ) 相手に迷惑をかけると思うから

- (オ) どのように伝えたら良いか分からないから
- (カ) 手話や音声案内など、自分の意思を伝える環境が整っていないから
- (キ) 人と関わることが心の負担になり、不安になるから
- (ク) ある程度のことは自分でできるから
- (ケ) その他 [具体的に記入： \_\_\_\_\_ ]

3 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

次の(ア)～(エ)のうちから1つに○をしてください。【全員回答】

- (ア) あると思う → 4へ進む
- (イ) 少しはあると思う → 4へ進む
- (ウ) ないと思う → 5へ進む
- (エ) 分からない → 5へ進む

4 3で「(ア) あると思う」または「(イ) 少しはあると思う」を選択した方はお答えください。

(1) あなたは、どんな時に、差別や偏見があると思いますか。

次の(ア)～(チ)のうちから3つまで○をしてください。

- (ア) 仕事や収入
- (イ) 学校や職場での人間関係
- (ウ) 教育の機会
- (エ) 近所づきあい
- (オ) まちなかでの人の視線
- (カ) 冠婚葬祭
- (キ) スポーツや趣味の活動
- (ク) 地域の行事や集まり
- (ケ) 店員の対応や態度
- (コ) 行政職員等の対応や態度
- (サ) 病院など医療機関での診察
- (シ) 交通機関や建築物、道路等の構造
- (ス) テレビやラジオ、新聞などの情報提供
- (セ) 日常のコミュニケーション
- (ソ) 災害や事故に関する情報の入手
- (タ) 移動の手段
- (チ) その他 [具体的に記入： \_\_\_\_\_ ]

(2) あなたがこれまでに、障害があることで嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったりしたことがありますか。【全員回答】

次の(ア)・(イ)のうちどちらかに○をしてください。

- (ア) ある → (3)へ進む
- (イ) ない → 5へ進む

(3) (2) で「(ア) ある」と回答された方におたずねします。

① 嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったりしたのは、どのような場所でしたか。

次の(ア)～(サ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

(ア) 通所先又は入所先

(イ) 学校・幼稚園・保育園

(ウ) 職場

(エ) 家庭

(オ) 病院

(カ) 交通機関

(キ) 役所の窓口

(ク) 公共施設

(ケ) お店

(コ) 地域で

(サ) その他〔具体的に記入： 〕

② それは、どのような内容でしたか。

次の(ア)～(エ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

(ア) いじめ、からかい等

(イ) 障害に理解のない対応

(ウ) 駐車場、トイレ等、設備上の問題

(エ) その他〔具体的に記入： 〕

③ 嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったと感じた時、どのような行動をとりましたか。

次の(ア)～(オ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

(ア) 何もしなかった

(イ) その場で指摘して対応を求めた

(ウ) 後で事業者等に改善を求めた

(エ) 行政窓口へ相談した

(オ) その他〔具体的に記入： 〕

5 いつも利用する、学校や病院、百貨店やホテルなどの建物や、道路や公園などの施設、公共交通機関などで不便を感じていますか。【全員回答】

次の(ア)～(オ)のうちから1つに○をしてください。

(ア) 常を感じている

(イ) ときどき感じる

(ウ) あまり感じない

(エ) まったく感じない

(オ) 分からない

6 障害を理由とする差別をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。【全員回答】

次の(ア)～(カ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

(ア) 何が差別に当たるかを明らかにすること

- (イ) 何が差別に当たるかを広く知らせること
- (ウ) 差別に関する相談をしやすくし、解決しやすくすること
- (エ) 差別された人と差別した人の間に入って調整するしくみを充実させること
- (オ) 障害の内容や程度を正しく理解してもらうこと
- (カ) その他〔具体的に記入： 〕

7 障害を理解してもらうためには、どのような方法が効果的だと思いますか。【全員回答】  
次の(ア)～(カ)のうちからあてはまるもの全てに○をしてください。

- (ア) 学校での教育
- (イ) 行政、企業などでの職員研修
- (ウ) 住民向けの講演会・研修会
- (エ) 障害のある人とない人との交流
- (オ) 広報
- (カ) その他〔具体的に記入： 〕

#### 問6 障害のある方への取組

1 あなたが今後生活する上で、充実させてほしいと思うことは何ですか。【全員回答】  
次の(ア)～(ネ)のうちから3つまで○をしてください。

- (ア) 住まいの場（グループホーム）
- (イ) 住まいの場（入所施設）
- (ウ) 企業などの働く場
- (エ) 働くための訓練の場
- (オ) 作業工賃
- (カ) 日中活動の場
- (キ) 住まいで受けられる訪問サービス
- (ク) 相談の場
- (ケ) 余暇活動の場
- (コ) 教育を受ける場
- (サ) 医療費の負担軽減
- (シ) 通学、通勤、通院のための移動手段
- (ス) 通路、建物、交通機関のバリアフリー
- (セ) 公共交通機関、公共施設の割引
- (ソ) 意思伝達、意思疎通支援
- (タ) 成年後見制度
- (チ) 災害時の支援
- (ツ) 感染症対策
- (テ) 当事者同士の情報交換、交流の場
- (ト) 活躍できる制度などの情報提供
- (ナ) 障害の正しい理解を広める取組
- (ニ) 障害を理由とする差別の解消

(ヌ) 特にない

(ネ) その他 [具体的に記入： ]

2 障害により、<sup>たん</sup>痰の吸引など医療的ケアが必要な子どもがいる家族の負担を軽減するために

はどのようなことが必要だと思えますか。【全員回答】

次の（ア）～（カ）のうちからあなたの考えに近いものに2つまで○をしてください。

(ア) 仕事をしている間、障害のある子どもを預けられる施設やサービスがあること

(イ) 短期間、障害のある子どもを預けられる施設やサービスがあること

(ウ) 施設まで看護師などが同行して安心・安全に送迎するサービスがあること

(エ) 家庭を訪問して、医療的なケアを行ってもらえること

(オ) 家族の悩みを聴くなどの、相談ができること

(カ) その他 [具体的に記入： ]

問7 そのほか、ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。